

令和6年度
福祉施設・事業所職員就労意識調査
報告書

令和7年3月

社会福祉法人 福島県社会福祉協議会
福島県福祉人材センター

目 次

I 調査概要.....	1
II 調査結果	
問1 性別	4
問2 年齢	4
問3 現在勤務している福祉施設・事業所の種別 <兼務している場合は主たる業務>	5
問4 現在勤務している福祉施設・事業所の所在地域.....	5
問5 現在の雇用形態.....	6
問6 現在の職種 <兼務している場合は主たる業務>	10
問7 月平均の残業時間	11
問8 有給休暇（代休以外）の取りやすさ	15
問9 福祉分野での業務経験年数 <現在の勤務先以外も合わせる>	19
問10 福祉の仕事を目指そうと思った時期	23
問11 福祉の職場に就職した理由	28
問12 現在勤務している福祉施設・事業所でやりがいを感じる事	35
問13 福祉の仕事をする上で、能力・適性として必要と思われること.....	39
問14 福祉の仕事の良い点と思われること	43
問15 現在勤務している福祉施設・事業所（または社会福祉法人）で働きたいか.....	50
問15-1 働きたい理由.....	54
問15-2 転職先として考える分野.....	60
問16 過去に福祉施設・事業所を辞めたことがあるか.....	64
問16-1 辞めた理由.....	68
問17 現在勤務している福祉施設・事業所（または社会福祉法人）への要望.....	76
III 巻末資料.....	84

I 調査概要

1. 調査目的

県内の福祉施設・事業所で働く職員の就労に関する考え方や意見・意向、仕事の魅力、就業継続の要件等を把握し、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策の資料とすることを目的に実施する。

2. 実施主体

社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター（福島県委託事業）

3. 調査対象

県内の社会福祉法人が運営する福祉施設・事業所に勤務し、日常的に利用者の支援に直接にあたっている職員（以下「直接処遇職員」という）。
※「派遣職員」を除く「正規職員」と「非正規職員」。

4. 調査期間

令和6年11月1日（金）～16日（土）

5. 調査基準日

令和6年11月1日現在

6. 調査方法

(1) 福島県社会福祉協議会（以下、県社協という）が、調査票を福祉施設・事業所に郵送し、福祉施設・事業所が調査票を職員に配布、Google フォームにて職員が回答する調査方法。

(2) 直接処遇職員の中から1つの福祉施設・事業所あたり5名を抽出に回答いただく。

なお、職員の選考基準は次のとおりとする。（無記名で回答）

- | | |
|--------------------------|-------|
| ①経験年数が2年未満の直接処遇職員 | ・・・1名 |
| ②経験年数が2年以上～5年未満の直接処遇職員 | ・・・1名 |
| ③経験年数が5年以上～10年未満の直接処遇職員 | ・・・1名 |
| ④経験年数が10年以上～15年未満の直接処遇職員 | ・・・1名 |
| ⑤経験年数が15年以上の直接処遇職員 | ・・・1名 |

(3) 福祉施設・事業所では上記「調査票」を調査対象に該当する職員へ配付し、職員は調査票を確認しながら Google フォームに回答を入力する。

7. 調査内容

別紙調査票のとおり。

8. 回収結果

調査票回収率 47.9%、配布数 4,950、回収数 2,372

→詳細は「Ⅱ. 調査結果」(P5～)

施設分野	配付数	回収数	回収率
高齢者関係	3,060	1,311	42.8%
障がい者関係	795	608	76.5%
児童関係	1,060	402	37.9%
その他	60	51	85.0%
合 計	4,975	2,372	47.7%

9. 調査結果の概要

(1) 回答者の基本属性

今回の調査の回答者は、女性が76.9%と多く、年代は30～50代を合わせると69.5%となっている。

現在勤務している福祉施設・事業所の種別は、高齢者関係が55.3%、障がい児・者関係が25.6%、児童関係が16.9%である。雇用形態は「正規職員」が76.4%、常勤・非常勤を合わせた「非正規職員」が23.6%である。

(2) 勤務状況

月平均の残業時間は「0～10時間未満」の割合が80.8%と最も高い。有給休暇の取りやすさについては「取れている」が48.5%と最も高く、「取ろうとすれば取れる」は41.1%である。

福祉分野での業務経験年数については、福祉施設・事業所において、回答者の経験年数に偏りがないように調査を依頼したため、各年数が平均的に20%～30%台となっている。

回答者が福祉の仕事を目指そうと思った時期は、合計では「福祉系以外に就職後」が31.2%と最も高いが、児童関係の職員では「高等学校」や「専門学校・短大・大学」が高い。福祉の職場に就職した理由では、「人とかかわる仕事をしたかったから」が高い。

(3) 福祉の仕事の魅力

現在勤務している福祉施設・事業所でのやりがいについては、51.3%が「利用者の援助・支援や生活改善に繋がる」と回答している。また、10代の回答者では「利用者やその家族に感謝される」が最も高い。

福祉の仕事に必要な能力・適性では、「コミュニケーション能力」の割合が60.8%と最も高く、次に「やる気・向上心等の意欲」が34.9%と高い。一方で、「介護福祉士・看護師などの資格」や「業務経験」は2割程度の回答となった。

福祉の仕事の良い点では、「人や社会に役立つ仕事である」「やりがいのある仕事である」「これからの時代に必要な仕事である」の割合がそれぞれ高くなっている。

(4) 福祉の仕事続ける理由・辞める理由

現在勤務している福祉施設・事業所で「ずっと働きたい」の割合が38.4%と最も高く、その理由としては「やりがいがあるから」(56.3%)、「生計維持のため」(53.2%)が高い。

一方で、転職を検討している割合は25.9%であるが、転職を検討している割合は20代で約4割、30代で3割以上である。転職先としては、「同じ分野(福祉関係)での転職を検討」が48.9%、「他分野(一般企業等)への転職を検討」が51.1%である。40代、50代は「同じ分野(福祉関係)での転職を検討」が高い。

過去に福祉施設・事業所を辞めた経験がある人は39.6%。年代では40代が51.4%と最も高く、施設・事業所別では訪問介護が5割以上と高い。辞めた理由は、「自分・家庭の事情(結婚・出産・転勤等)」が28.0%と最も高く、次いで「労働環境に不満(労働時間・休憩時間・夜勤・有給休暇等)」、「上司・同僚との人間関係」がともに27.1%となっている。20代、50代、60代では「上司・同僚との人間関係」、30代、70代以上では自分・家庭の事情(結婚・出産・転勤等)、40代では「労働環境に不満(労働時間・休憩時間・夜勤・有給休暇等)」が最も高い。

(5) よりよい職場とするために

現在勤務している福祉施設・事業所(または社会福祉法人)への要望としては、合計では「給与・賃金の改善」が54.3%と最も高く、次いで「職場内の人間関係や仕事上のコミュニケーションの改善」が20.7%で高い。

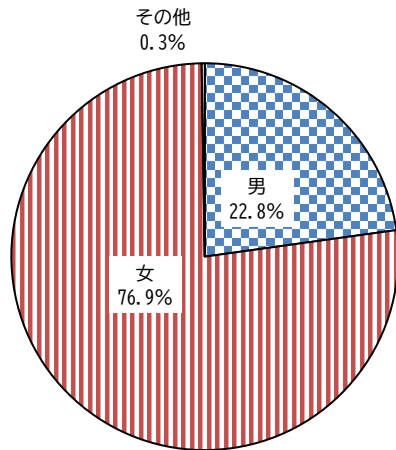
Ⅱ 調査結果

問1 性別

回答者の性別は、「女性」が76.9%、「男性」が22.8%である。

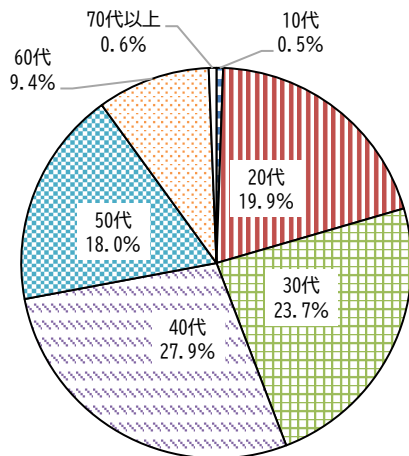
年齢は「40代」が27.9%で割合が最も高く、次いで「30代」(23.7%)、「20代」(19.9%)、「50代」(18.0%)と続いている。

<単純集計図表>



(単回答)		
	回答数	構成比
男	541	22.8%
女	1,825	76.9%
その他	6	0.3%

問2 年齢

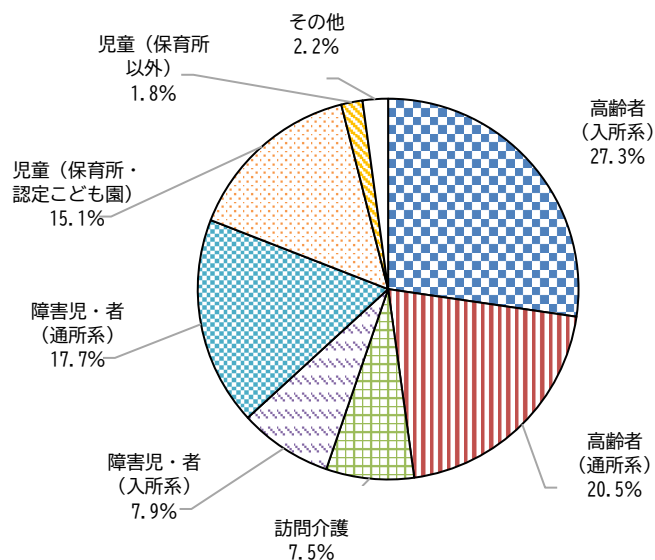


(単回答)		
	回答数	構成比
10代	13	0.5%
20代	473	19.9%
30代	562	23.7%
40代	661	27.9%
50代	426	18.0%
60代	222	9.4%
70代以上	15	0.6%

問3 現在勤務している福祉施設・事業所の種別 <兼務している場合は主たる業務>

現在勤務している福祉施設・事業所の種別は、高齢者（入所系・通所系）、訪問介護を合わせた高齢者関係が 55.3%、入所系と通所系を合わせた障害児・者関係が 25.6%、保育所・認定こども園と保育所以外を合わせた児童関係が 16.9%となっている。

<単純集計図表>



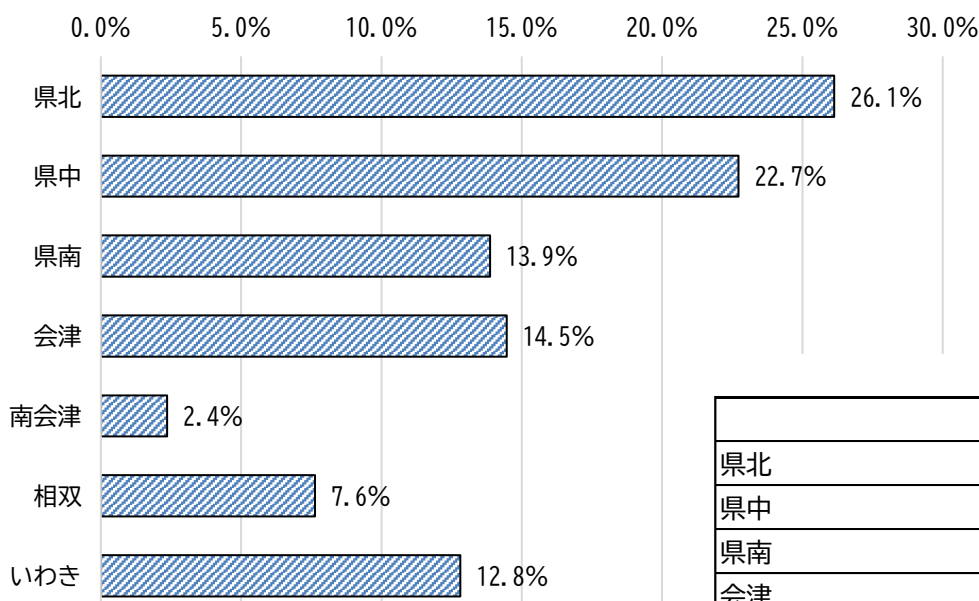
(単回答)

	回答数	構成比
高齢者（入所系）	648	27.3%
高齢者（通所系）	486	20.5%
訪問介護	177	7.5%
障害児・者（入所系）	188	7.9%
障害児・者（通所系）	420	17.7%
児童（保育所・認定こども園）	359	15.1%
児童（保育所以外）	43	1.8%
その他	51	2.2%

問4 現在勤務している福祉施設・事業所の所在地域

現在勤務している福祉施設・事業所の所在地域は、「県北」が 26.1%、「県中」が 22.7%、「会津」が 14.5%、「県南」が 13.9%、「いわき」が 12.8%、「相双」が 7.6%、「南会津」が 2.4%である。

<単純集計図表>



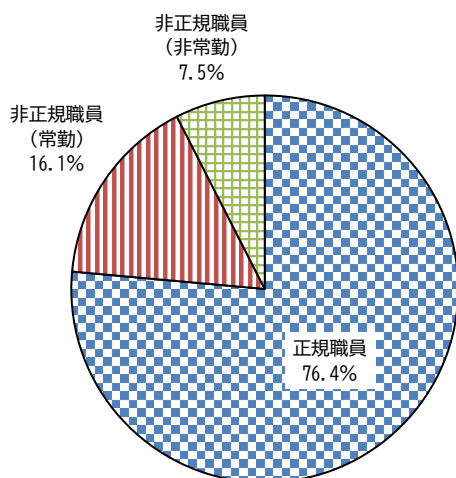
(単回答)

	回答数	構成比
県北	620	26.1%
県中	539	22.7%
県南	329	13.9%
会津	343	14.5%
南会津	56	2.4%
相双	181	7.6%
いわき	304	12.8%

問5 現在の雇用形態

現在の雇用形態は、「正規職員」が76.4%、「非正規職員（常勤）」が16.1%、「非正規職員（非常勤）」が7.5%である。

<単純集計図表>



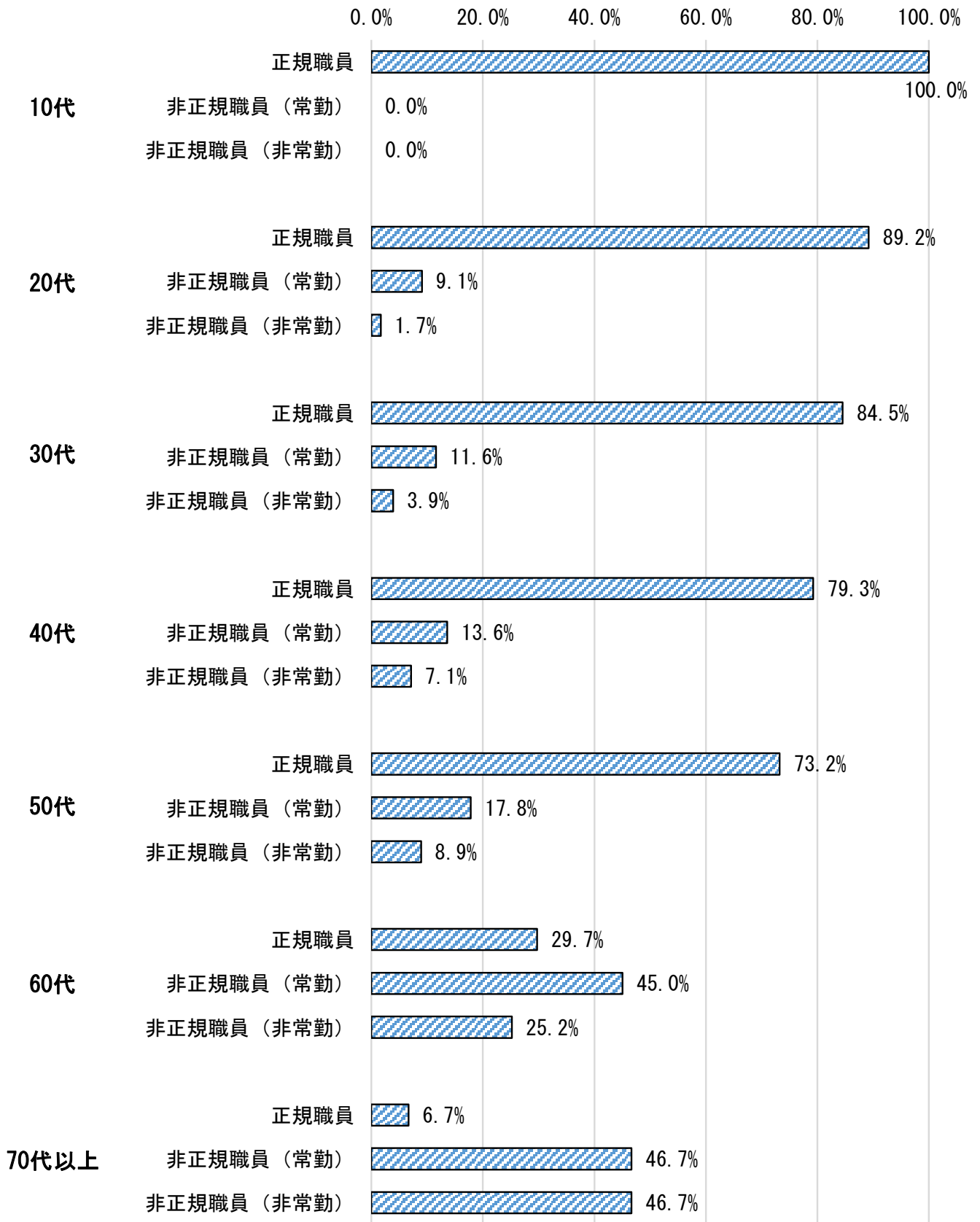
	回答数	構成比
正規職員	1,813	76.4%
非正規職員（常勤）	381	16.1%
非正規職員（非常勤）	178	7.5%

年代別では、10代から50代までは「正規職員」の割合が最も高いが、60代以上になると、「非正規職員」の割合が最も高くなっている。

<年代別集計図表>

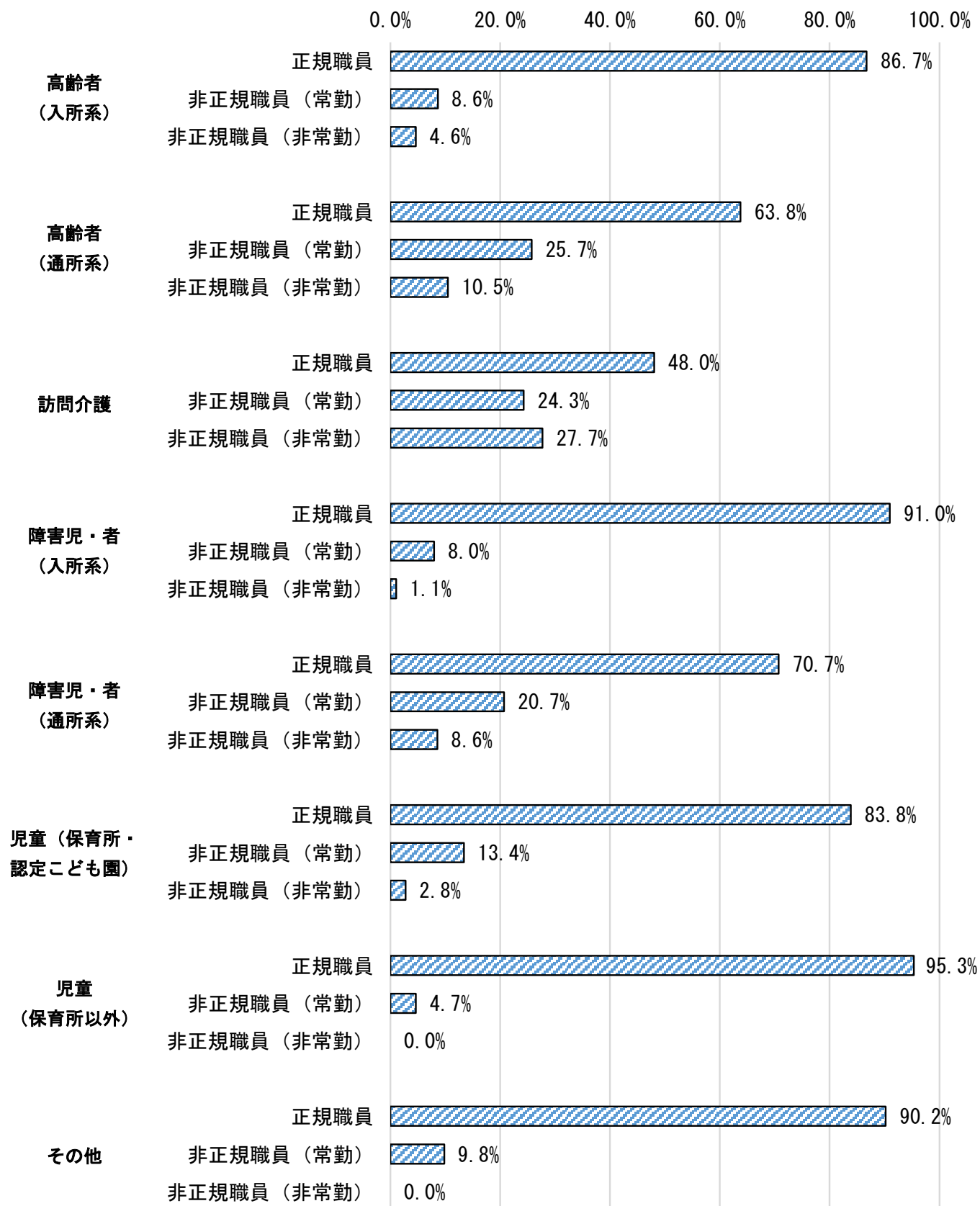
(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	正規職員	非正規職員 （常勤）	非正規職員 （非常勤）
全体	2,372 100.0%	1,813 76.4%	381 16.1%	178 7.5%
10代	13 100.0%	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	473 100.0%	422 89.2%	43 9.1%	8 1.7%
30代	562 100.0%	475 84.5%	65 11.6%	22 3.9%
40代	661 100.0%	524 79.3%	90 13.6%	47 7.1%
50代	426 100.0%	312 73.2%	76 17.8%	38 8.9%
60代	222 100.0%	66 29.7%	100 45.0%	56 25.2%
70代以上	15 100.0%	1 6.7%	7 46.7%	7 46.7%



福祉施設・事業所別では、すべての福祉施設・事業所で「正規職員」の割合が最も高い。

<福祉施設・事業所別集計図表>



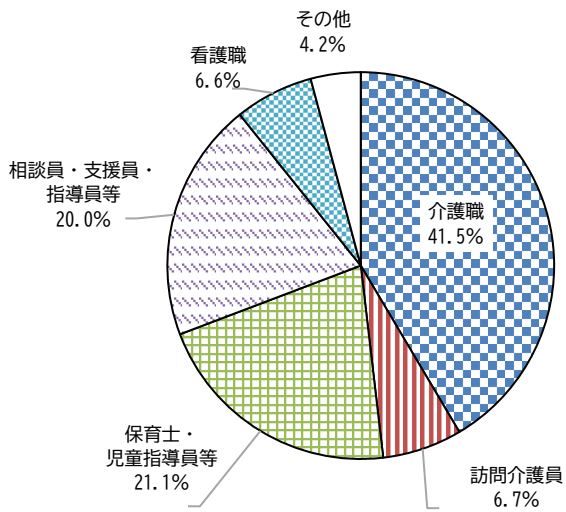
(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	正規職員	非正規職員 (常勤)	非正規職員 (非常勤)
全体	2,372 100.0%	1,813 76.4%	381 16.1%	178 7.5%
高齢者（入所系）	648 100.0%	562 86.7%	56 8.6%	30 4.6%
高齢者（通所系）	486 100.0%	310 63.8%	125 25.7%	51 10.5%
訪問介護	177 100.0%	85 48.0%	43 24.3%	49 27.7%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	171 91.0%	15 8.0%	2 1.1%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	297 70.7%	87 20.7%	36 8.6%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	301 83.8%	48 13.4%	10 2.8%
児童（保育所以外）	43 100.0%	41 95.3%	2 4.7%	0 0.0%
その他	51 100.0%	46 90.2%	5 9.8%	0 0.0%

問6 現在の職種 <兼務している場合は主たる業務>

現在の職種は、「介護職」が41.5%で割合が最も高く、「保育士・児童指導員等」が21.1%、「相談員・支援員・指導員等」が20.0%、「訪問介護員」が6.7%、「看護職」が6.6%である。

<単純集計図表>

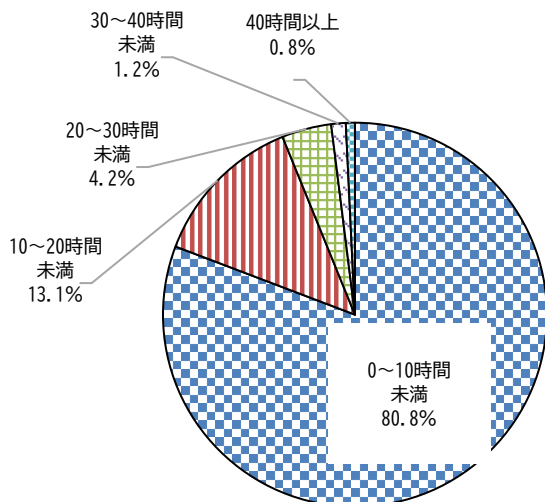


	回答数	構成比
介護職	984	41.5%
訪問介護員	158	6.7%
保育士・児童指導員等	500	21.1%
相談員・支援員・指導員等	475	20.0%
看護職	156	6.6%
その他	99	4.2%

問7 月平均の残業時間

月平均の残業時間は、「0～10時間未満」が80.8%で割合が最も高い。

<単純集計図表>



(単回答)

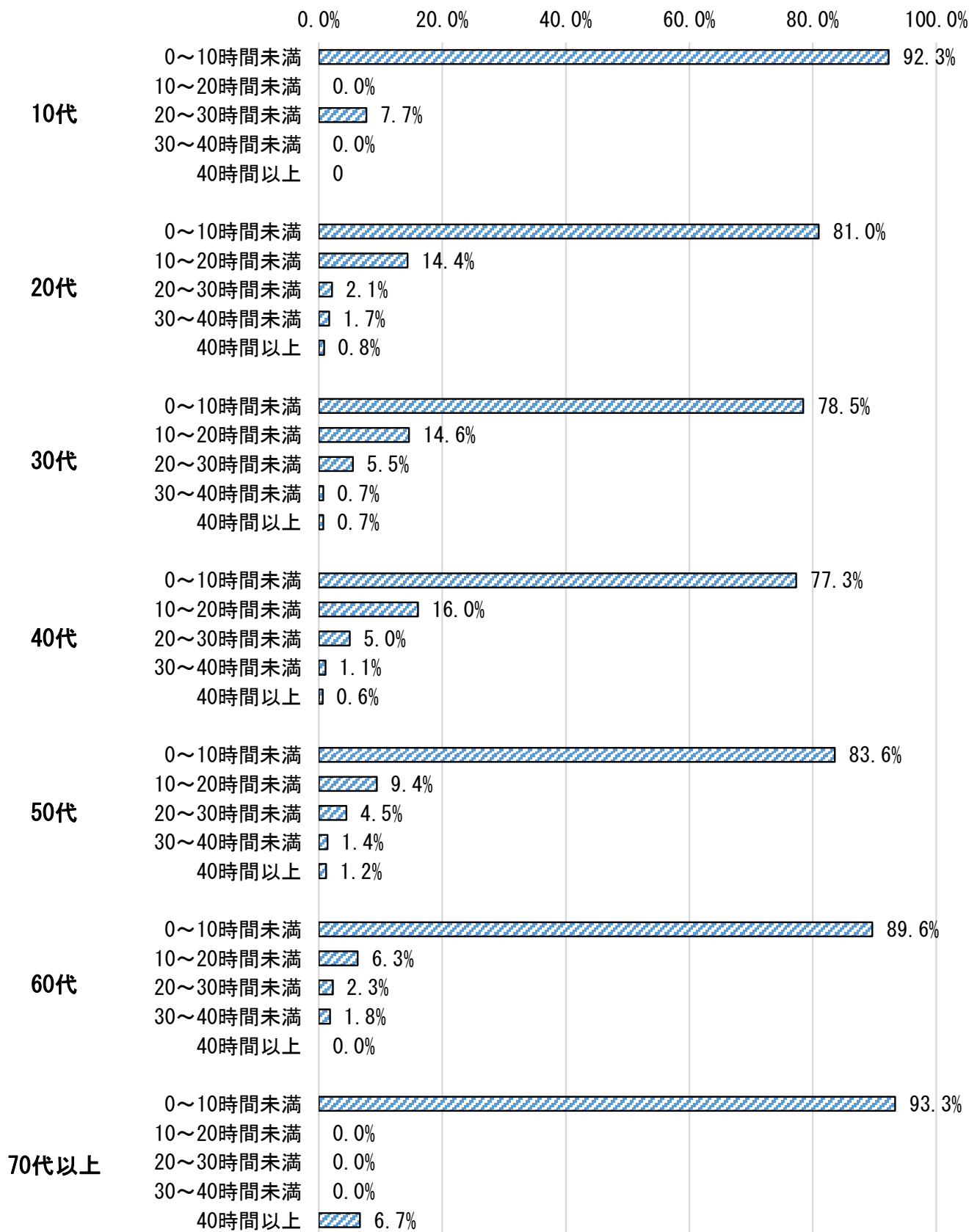
	回答数	構成比
0～10時間未満	1,916	80.8%
10～20時間未満	310	13.1%
20～30時間未満	99	4.2%
30～40時間未満	29	1.2%
40時間以上	18	0.8%

年代別では、すべての年代で「0～10時間未満」の割合が最も高い。

<年代別集計図表>

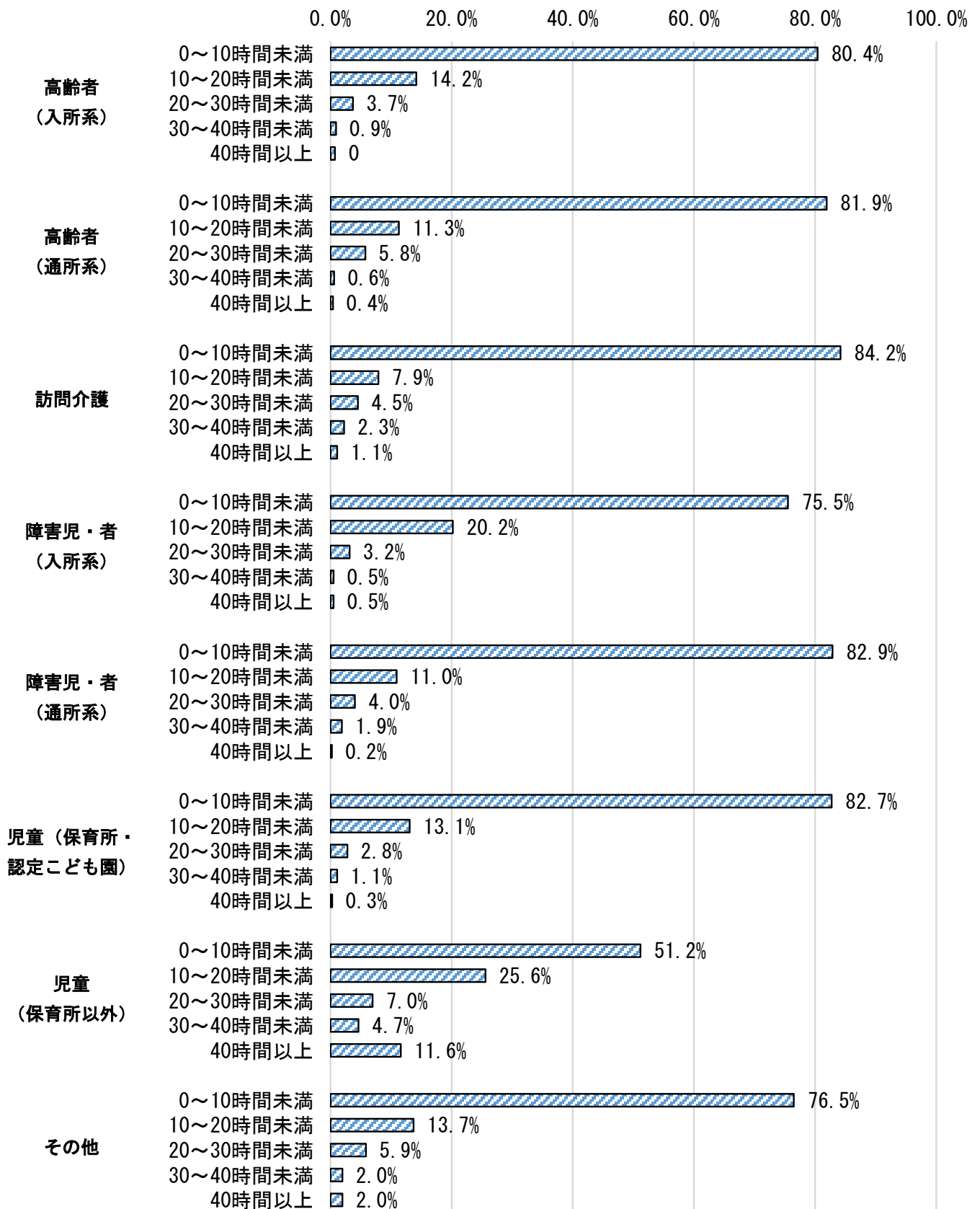
(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	0～10時間 未満	10～20時間 未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40時間以上
全体	2,372 100.0%	1,916 80.8%	310 13.1%	99 4.2%	29 1.2%	18 0.8%
10代	13 100.0%	12 92.3%	0 0.0%	1 7.7%	0 0.0%	0 0.0%
20代	473 100.0%	383 81.0%	68 14.4%	10 2.1%	8 1.7%	4 0.8%
30代	562 100.0%	441 78.5%	82 14.6%	31 5.5%	4 0.7%	4 0.7%
40代	661 100.0%	511 77.3%	106 16.0%	33 5.0%	7 1.1%	4 0.6%
50代	426 100.0%	356 83.6%	40 9.4%	19 4.5%	6 1.4%	5 1.2%
60代	222 100.0%	199 89.6%	14 6.3%	5 2.3%	4 1.8%	0 0.0%
70代以上	15 100.0%	14 93.3%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 6.7%



福祉施設・事業所別では、すべての福祉施設・事業所で「0～10時間未満」の割合が最も高い。児童（保育所以外）では、10時間以上の割合が、他と比較して高くなっている。

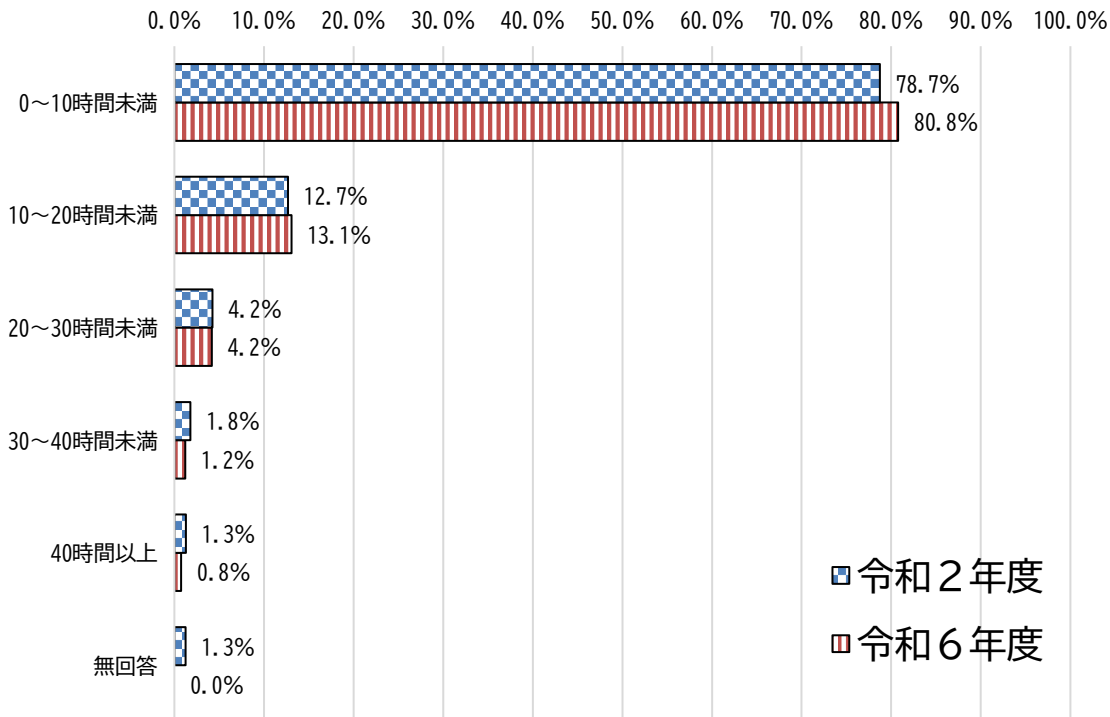
<福祉施設・事業所別集計図表>



(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	0～10時間 未満	10～20時間 未満	20～30時間 未満	30～40時間 未満	40時間以上
全体	2,372 100.0%	1,916 80.8%	310 13.1%	99 4.2%	29 1.2%	18 0.8%
高齢者（入所系）	648 100.0%	521 80.4%	92 14.2%	24 3.7%	6 0.9%	5 0.8%
高齢者（通所系）	486 100.0%	398 81.9%	55 11.3%	28 5.8%	3 0.6%	2 0.4%
訪問介護	177 100.0%	149 84.2%	14 7.9%	8 4.5%	4 2.3%	2 1.1%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	142 75.5%	38 20.2%	6 3.2%	1 0.5%	1 0.5%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	348 82.9%	46 11.0%	17 4.0%	8 1.9%	1 0.2%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	297 82.7%	47 13.1%	10 2.8%	4 1.1%	1 0.3%
児童（保育所以外）	43 100.0%	22 51.2%	11 25.6%	3 7.0%	2 4.7%	5 11.6%
その他	51 100.0%	39 76.5%	7 13.7%	3 5.9%	1 2.0%	1 2.0%

◆ 令和2年度との比較

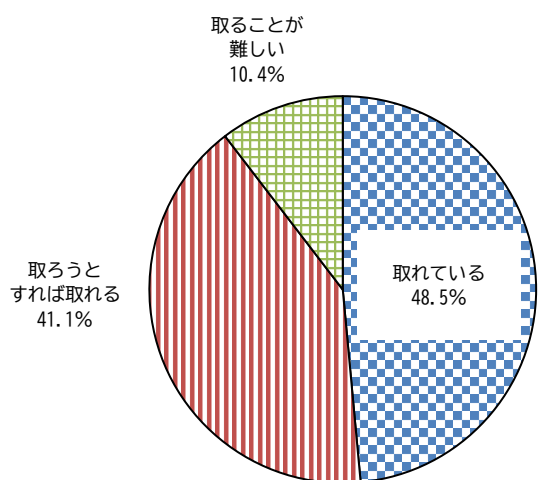


令和2年度の調査結果と比較して、「0～10時間未満」と答えた割合が2.1ポイント増加した。

問8 有給休暇（代休以外）の取りやすさ

有給休暇（代休以外）の取りやすさは、「取れている」が48.5%で割合が最も高く、「取ろうとすれば取れる」が41.1%、「取ることが難しい」が10.4%である。

<単純集計図表>

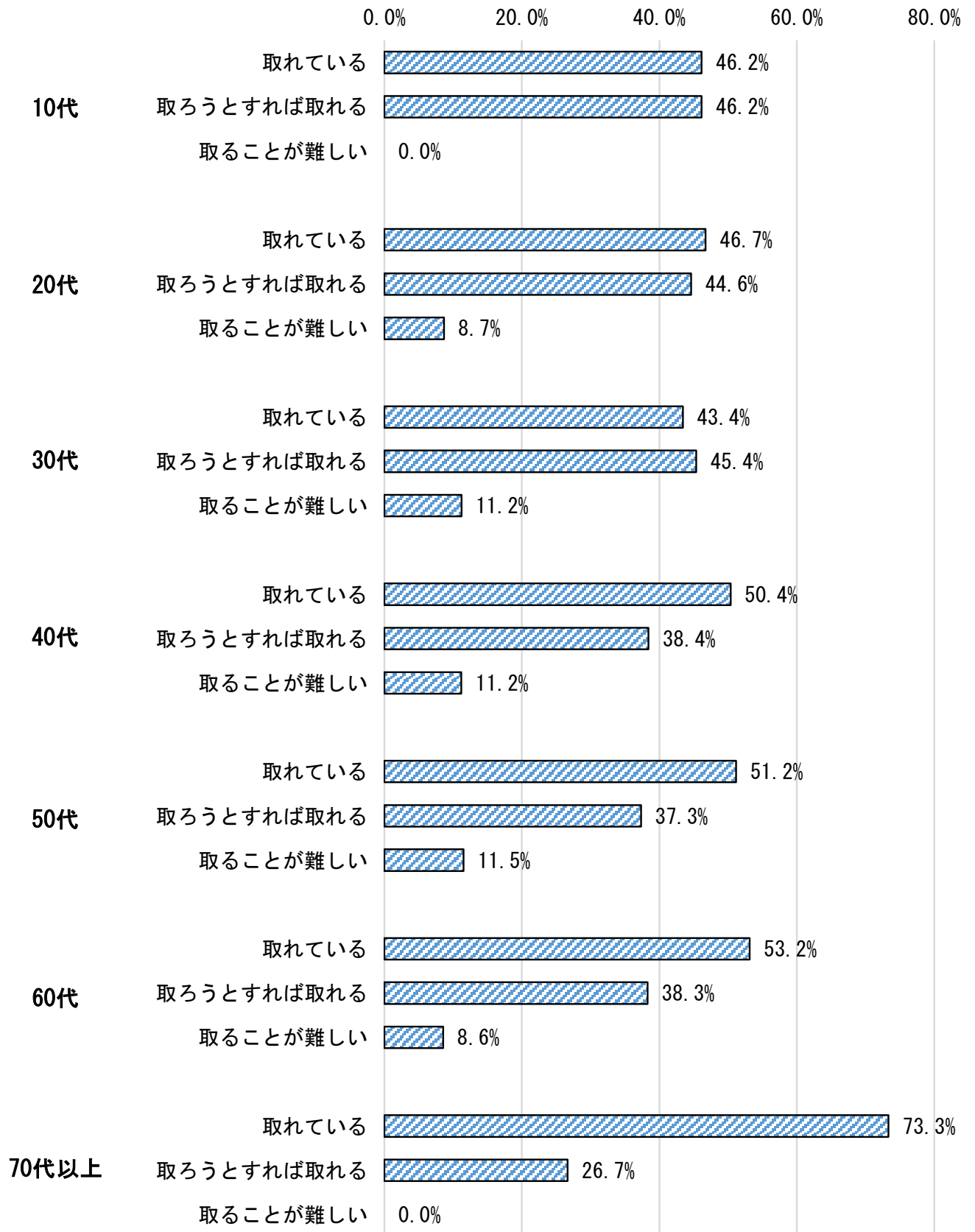


(単回答)		
	回答数	構成比
取れている	1,151	48.5%
取ろうとすれば取れる	974	41.1%
取ることが難しい	247	10.4%

年代別では、10代、30代を除くすべての年代で「取れている」の割合が最も高い。10代は「取れている」と「取ろうとすれば取れる」が同じ割合となっており、30代は「取ろうとすればとれる」の割合が最も高い。

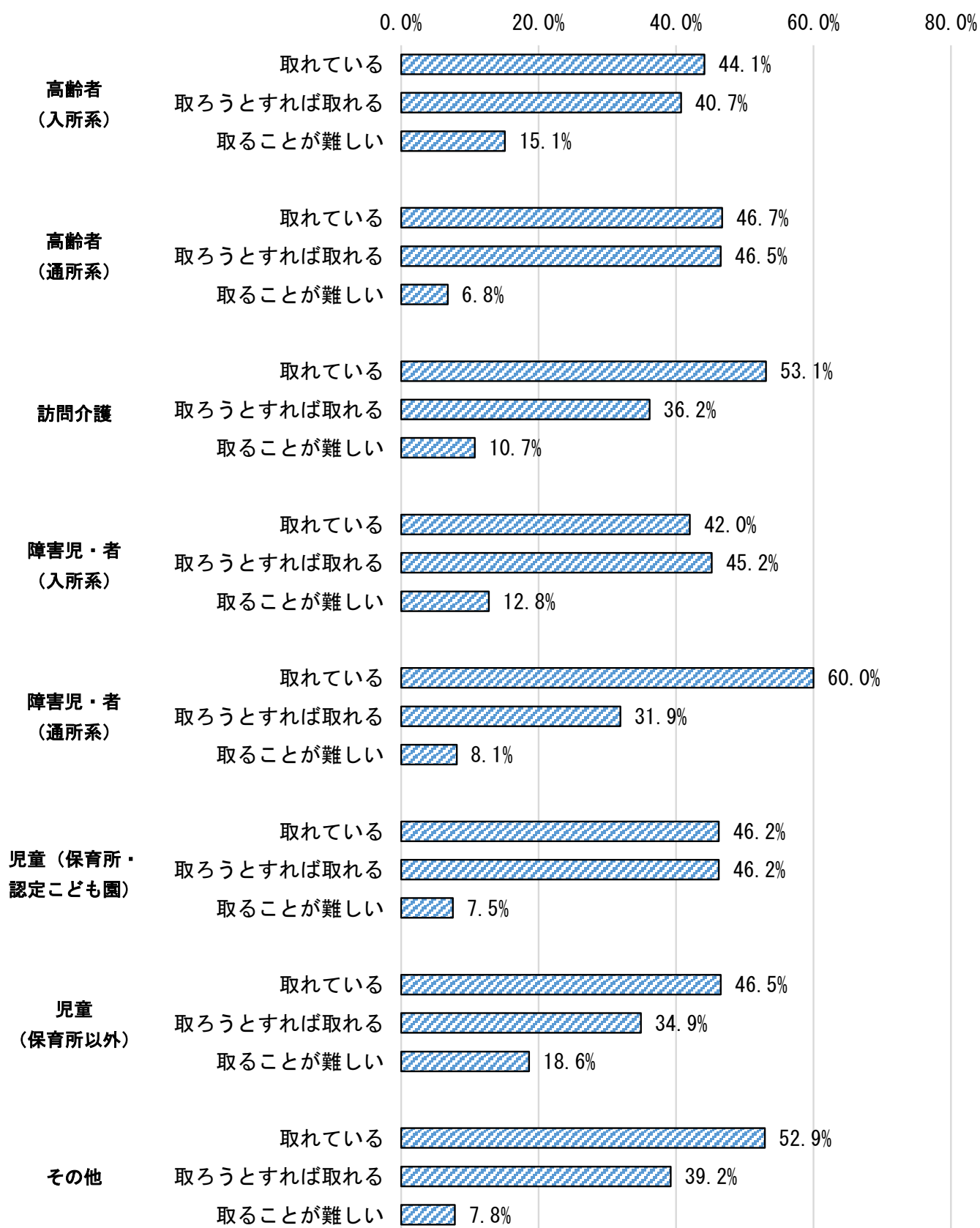
<年代別集計図表>

(単回答)				
上段：回答数 下段：構成比	合計	取れている	取ろうとすれば取れる	取ることが難しい
全体	2,372 100.0%	1,151 48.5%	974 41.1%	247 10.4%
10代	13 100.0%	6 46.2%	6 46.2%	1 7.7%
20代	473 100.0%	221 46.7%	211 44.6%	41 8.7%
30代	562 100.0%	244 43.4%	255 45.4%	63 11.2%
40代	661 100.0%	333 50.4%	254 38.4%	74 11.2%
50代	426 100.0%	218 51.2%	159 37.3%	49 11.5%
60代	222 100.0%	118 53.2%	85 38.3%	19 8.6%
70代以上	15 100.0%	11 73.3%	4 26.7%	0 0.0%



福祉施設・事業所別では、障がい児・者（入所系）と児童（保育所・認定こども園）を除くすべての施設・事業所で「取れている」の割合が最も高い。障がい児・者（入所系）は「取ろうとすれば取れる」の割合が最も高く、児童（保育所・認定こども園）は「取れている」と「取ろうとすれば取れる」が同じ割合となっている。

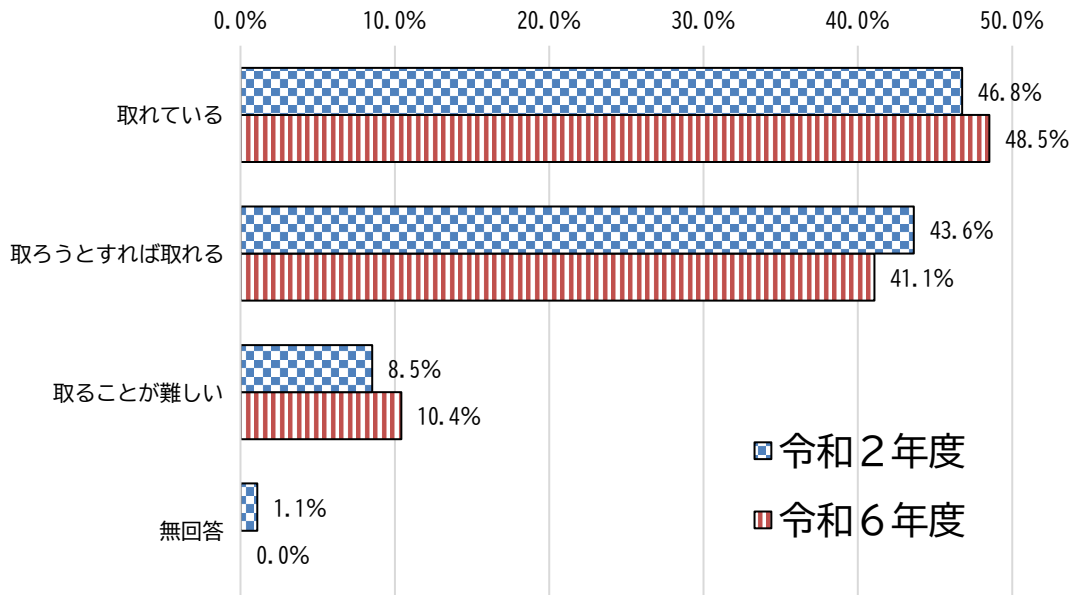
<福祉施設・事業所別集計図表>



(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	取れている	取ろうとすれば取れる	取ることが難しい
全体	2,372 100.0%	1,151 48.5%	974 41.1%	247 10.4%
高齢者（入所系）	648 100.0%	286 44.1%	264 40.7%	98 15.1%
高齢者（通所系）	486 100.0%	227 46.7%	226 46.5%	33 6.8%
訪問介護	177 100.0%	94 53.1%	64 36.2%	19 10.7%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	79 42.0%	85 45.2%	24 12.8%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	252 60.0%	134 31.9%	34 8.1%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	166 46.2%	166 46.2%	27 7.5%
児童（保育所以外）	43 100.0%	20 46.5%	15 34.9%	8 18.6%
その他	51 100.0%	27 52.9%	20 39.2%	4 7.8%

◆ 令和2年度との比較



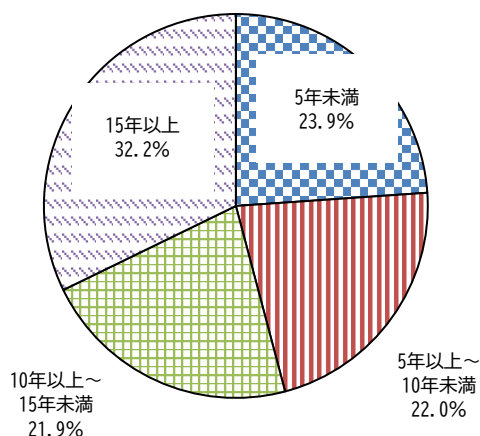
令和2年度の調査結果と比較して、「取れている」と答えた割合が1.7ポイント増加した。

問9 福祉分野での業務経験年数 <現在の勤務先以外も合わせる>

※福祉施設・事業所において、回答者の経験年数に偏りがないう調査を依頼したため、各年数が平均的に20%～30%台となっている。

福祉分野での業務経験年数は、「15年以上」が32.2%で割合が最も高く、次いで「5年未満」(23.9%)、「5年以上～10年未満」(22.0%)、「10年以上～15年未満」(21.9%)である。

<単純集計図表>



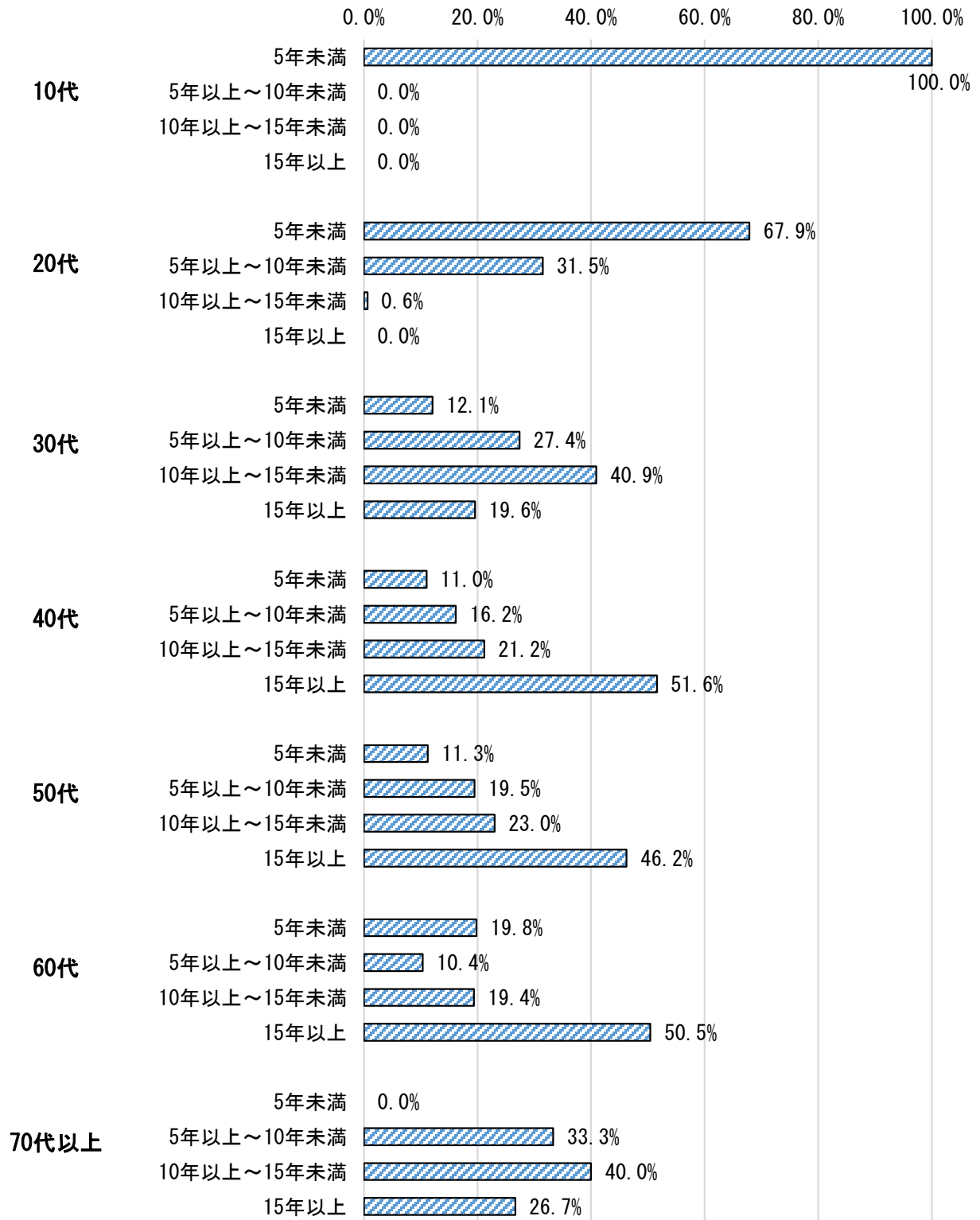
	回答数	構成比
5年未満	567	23.9%
5年以上～10年未満	521	22.0%
10年以上～15年未満	520	21.9%
15年以上	764	32.2%

年代別では、10代、20代は「5年未満」、30代、70代以上は「10年以上～15年未満」、40代～60代は「15年以上」の割合が最も高い。

<年代別集計図表>

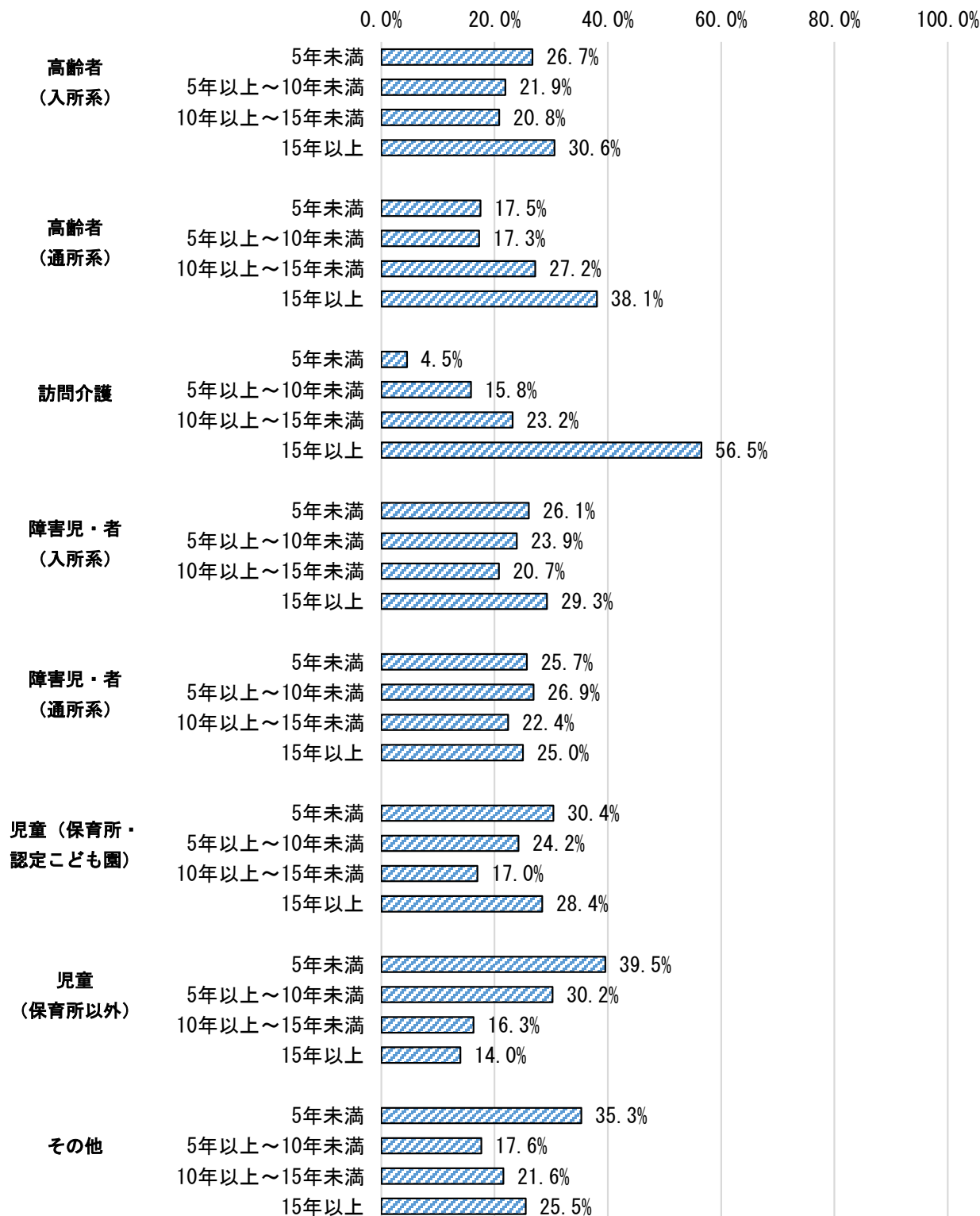
(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上
全体	2,372 100.0%	567 23.9%	521 22.0%	520 21.9%	764 32.2%
10代	13 100.0%	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	473 100.0%	321 67.9%	149 31.5%	3 0.6%	0 0.0%
30代	562 100.0%	68 12.1%	154 27.4%	230 40.9%	110 19.6%
40代	661 100.0%	73 11.0%	107 16.2%	140 21.2%	341 51.6%
50代	426 100.0%	48 11.3%	83 19.5%	98 23.0%	197 46.2%
60代	222 100.0%	44 19.8%	23 10.4%	43 19.4%	112 50.5%
70代以上	15 100.0%	0 0.0%	5 33.3%	6 40.0%	4 26.7%



福祉施設・事業所別では、高齢者（入所系・通所系）、訪問介護は「15年以上」の割合が最も高く、特に訪問介護は、他と比較して突出している。障害児・者（入所系）は「15年以上」、障害児・者（通所系）、児童（保育所・認定こども園）、児童（保育所以外）、その他は「5年未満」の割合が最も高い。

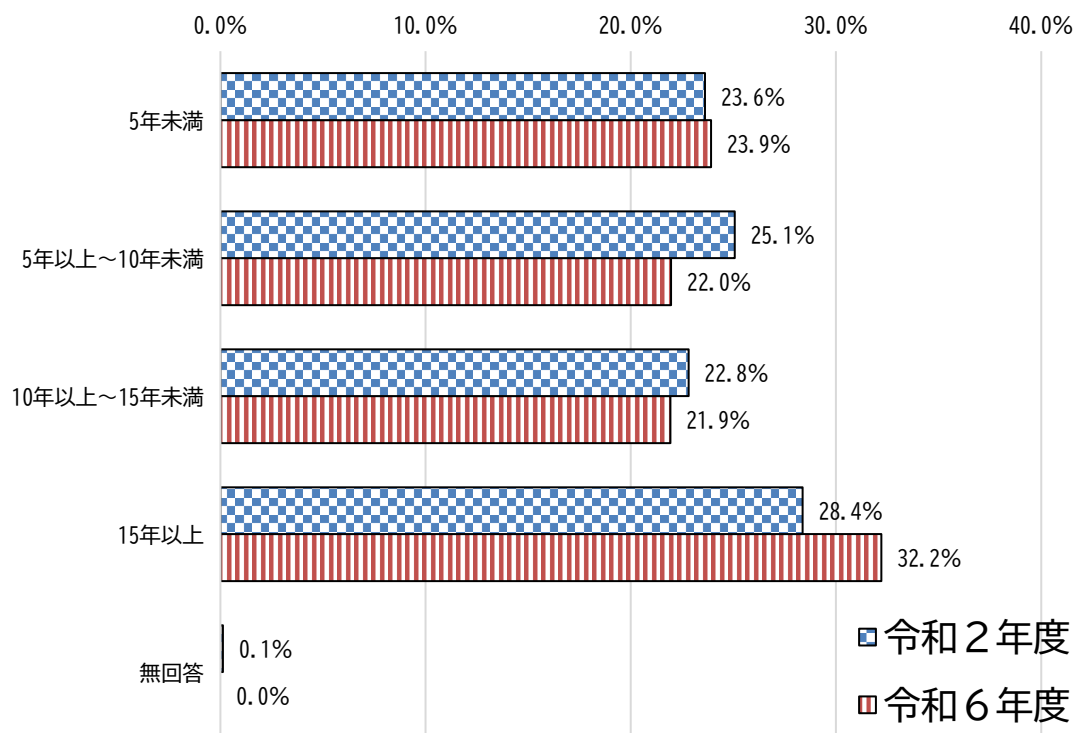
<福祉施設・事業所別集計図表>



(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	5年未満	5年以上～ 10年未満	10年以上～ 15年未満	15年以上
全体	2,372 100.0%	567 23.9%	521 22.0%	520 21.9%	764 32.2%
高齢者（入所系）	648 100.0%	173 26.7%	142 21.9%	135 20.8%	198 30.6%
高齢者（通所系）	486 100.0%	85 17.5%	84 17.3%	132 27.2%	185 38.1%
訪問介護	177 100.0%	8 4.5%	28 15.8%	41 23.2%	100 56.5%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	49 26.1%	45 23.9%	39 20.7%	55 29.3%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	108 25.7%	113 26.9%	94 22.4%	105 25.0%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	109 30.4%	87 24.2%	61 17.0%	102 28.4%
児童（保育所以外）	43 100.0%	17 39.5%	13 30.2%	7 16.3%	6 14.0%
その他	51 100.0%	18 35.3%	9 17.6%	11 21.6%	13 25.5%

◆ 令和2年度との比較

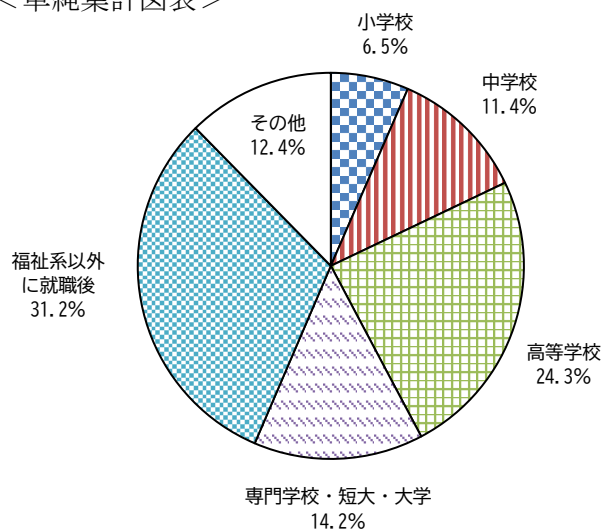


令和2年度の調査結果と比較して、「15年以上」と答えた割合が3.8ポイント増加した。

問 10 福祉の仕事を目指そうと思った時期

福祉の仕事を目指そうと思った時期は、「福祉系以外に就職後」31.2%で割合が最も高く、次いで「高等学校」(24.3%)、「専門学校・短大・大学」(14.2%)と続いている。

<単純集計図表>



(単回答)

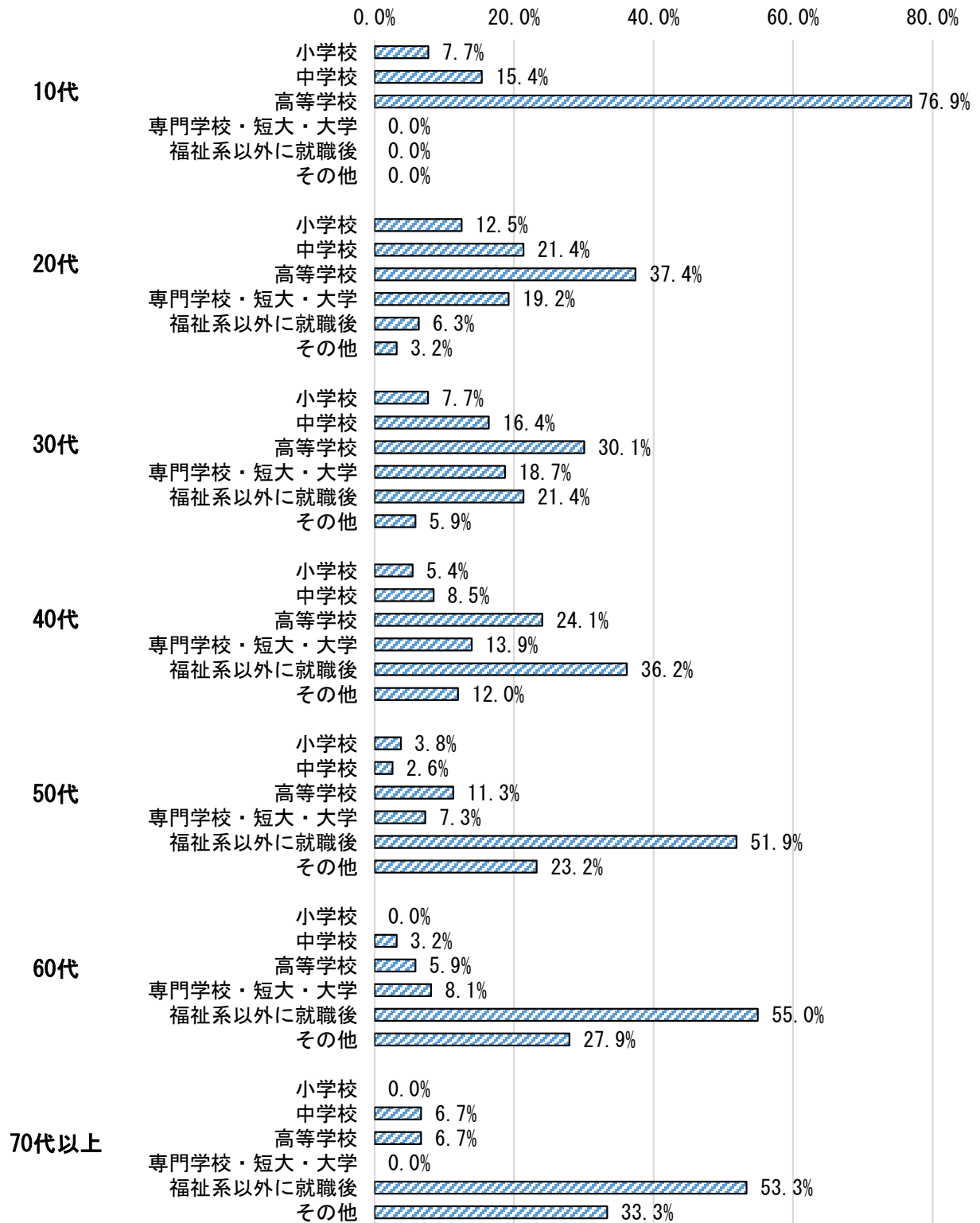
	回答数	構成比
小学校	155	6.5%
中学校	270	11.4%
高等学校	577	24.3%
専門学校・短大・大学	337	14.2%
福祉系以外に就職後	740	31.2%
その他	293	12.4%

年代別では、10代~30代は「高等学校」、40代以上は「福祉系以外に就職後」の割合が最も高い。

<年代別集計図表>

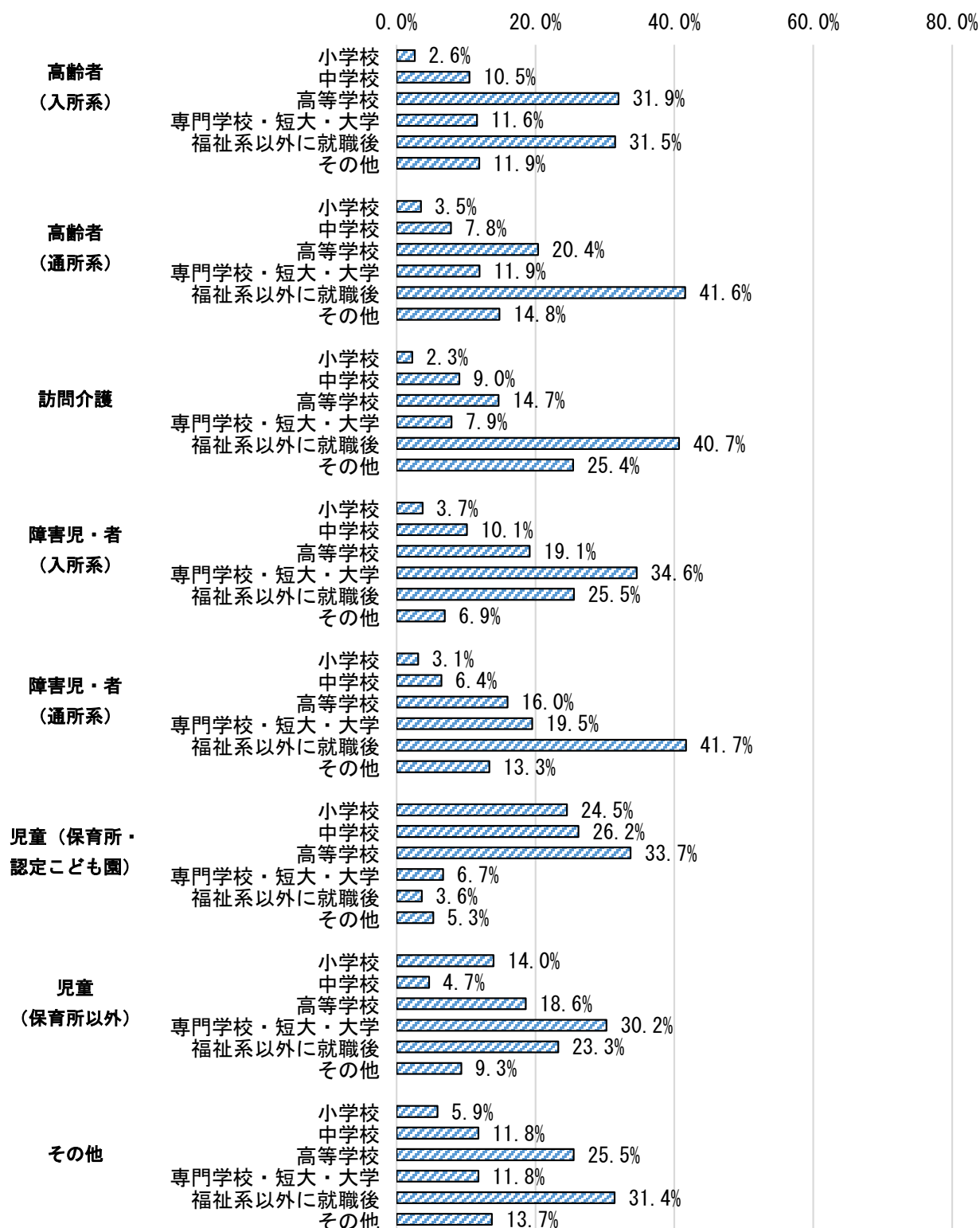
(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	小学校	中学校	高等学校	専門学校・ 短大・大学	福祉系以外 に就職後	その他
全体	2,372 100.0%	155 6.5%	270 11.4%	577 24.3%	337 14.2%	740 31.2%	293 12.4%
10代	13 100.0%	1 7.7%	2 15.4%	10 76.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	473 100.0%	59 12.5%	101 21.4%	177 37.4%	91 19.2%	30 6.3%	15 3.2%
30代	562 100.0%	43 7.7%	92 16.4%	169 30.1%	105 18.7%	120 21.4%	33 5.9%
40代	661 100.0%	36 5.4%	56 8.5%	159 24.1%	92 13.9%	239 36.2%	79 12.0%
50代	426 100.0%	16 3.8%	11 2.6%	48 11.3%	31 7.3%	221 51.9%	99 23.2%
60代	222 100.0%	0 0.0%	7 3.2%	13 5.9%	18 8.1%	122 55.0%	62 27.9%
70代以上	15 100.0%	0 0.0%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	8 53.3%	5 33.3%



福祉施設・事業所別では、高齢者（入所系）、児童（保育所・認定こども園）は「高等学校」、高齢者（通所系）、訪問介護、障害児・者（通所系）、その他は「福祉系以外に就職後」、障害児・者（入所系）、児童（保育所以外）は「専門学校・短大・大学」の割合が最も高い。

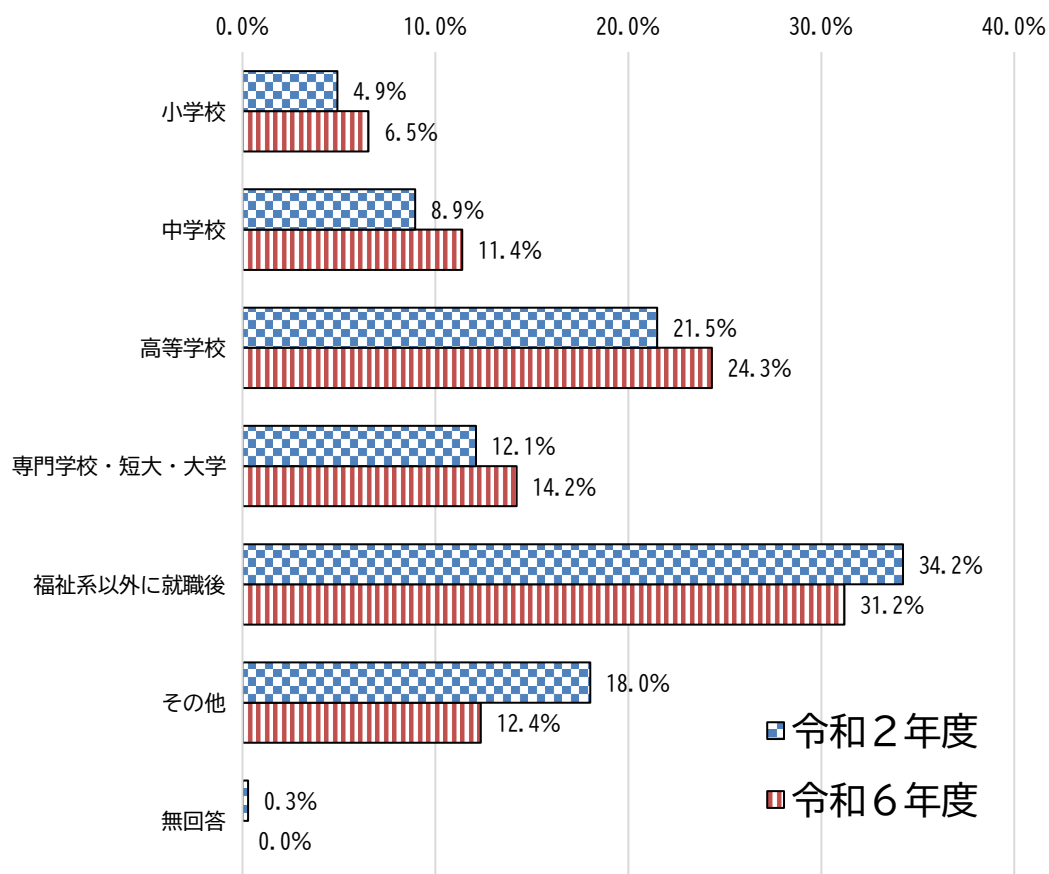
<福祉施設・事業所別集計図表>



(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	小学校	中学校	高等学校	専門学校・ 短大・大学	福祉系以外 に就職後	その他
全体	2,372 100.0%	155 6.5%	270 11.4%	577 24.3%	337 14.2%	740 31.2%	293 12.4%
高齢者（入所系）	648 100.0%	17 2.6%	68 10.5%	207 31.9%	75 11.6%	204 31.5%	77 11.9%
高齢者（通所系）	486 100.0%	17 3.5%	38 7.8%	99 20.4%	58 11.9%	202 41.6%	72 14.8%
訪問介護	177 100.0%	4 2.3%	16 9.0%	26 14.7%	14 7.9%	72 40.7%	45 25.4%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	7 3.7%	19 10.1%	36 19.1%	65 34.6%	48 25.5%	13 6.9%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	13 3.1%	27 6.4%	67 16.0%	82 19.5%	175 41.7%	56 13.3%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	88 24.5%	94 26.2%	121 33.7%	24 6.7%	13 3.6%	19 5.3%
児童（保育所以外）	43 100.0%	6 14.0%	2 4.7%	8 18.6%	13 30.2%	10 23.3%	4 9.3%
その他	51 100.0%	3 5.9%	6 11.8%	13 25.5%	6 11.8%	16 31.4%	7 13.7%

◆ 令和2年度との比較

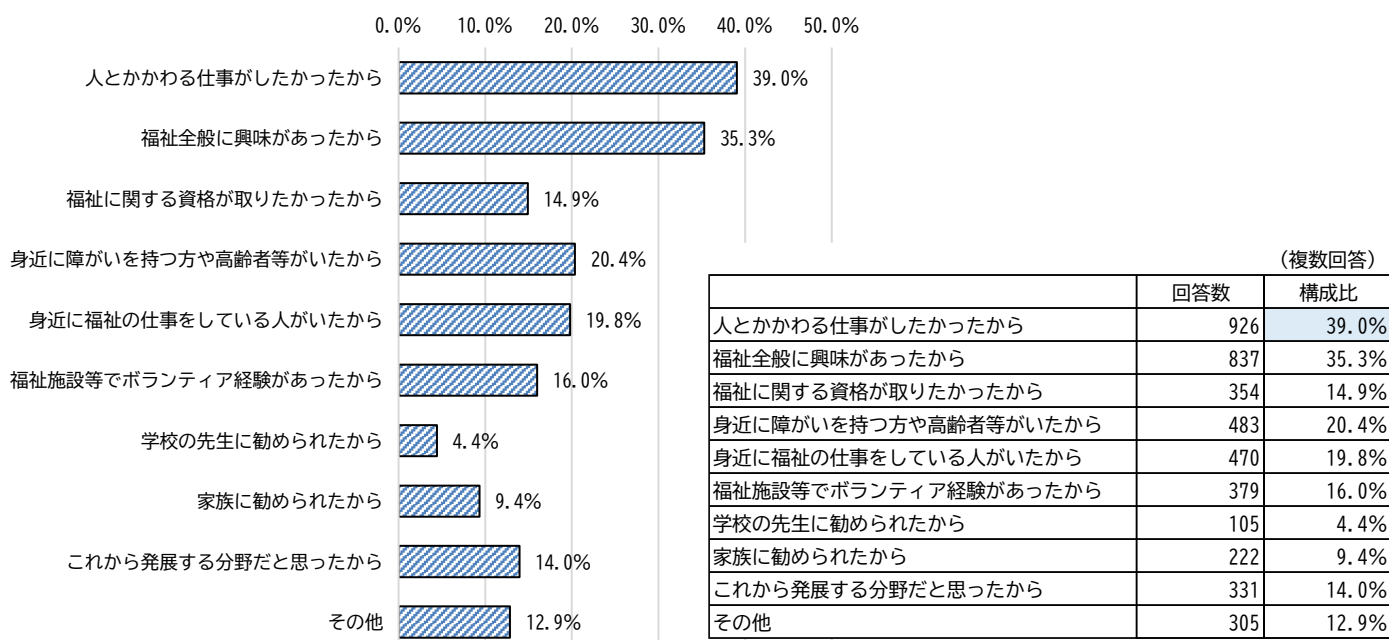


令和2年度の調査結果と比較して、「小学校」が1.6ポイント、「中学校」が2.5ポイント、「高等学校」が2.8ポイント、「専門学校・短大・大学」が2.1ポイント増加し、学生時代の割合が増加している。

問 11 福祉の職場に就職した理由

福祉の職場に就職した理由は、「人とかかわる仕事がしたかったから」が39.0%で割合が最も高く、次いで「福祉全般に興味があったから」(35.3%)、「身近に障がいを持つ方や高齢者等がいたから」(20.4%)と続いている。

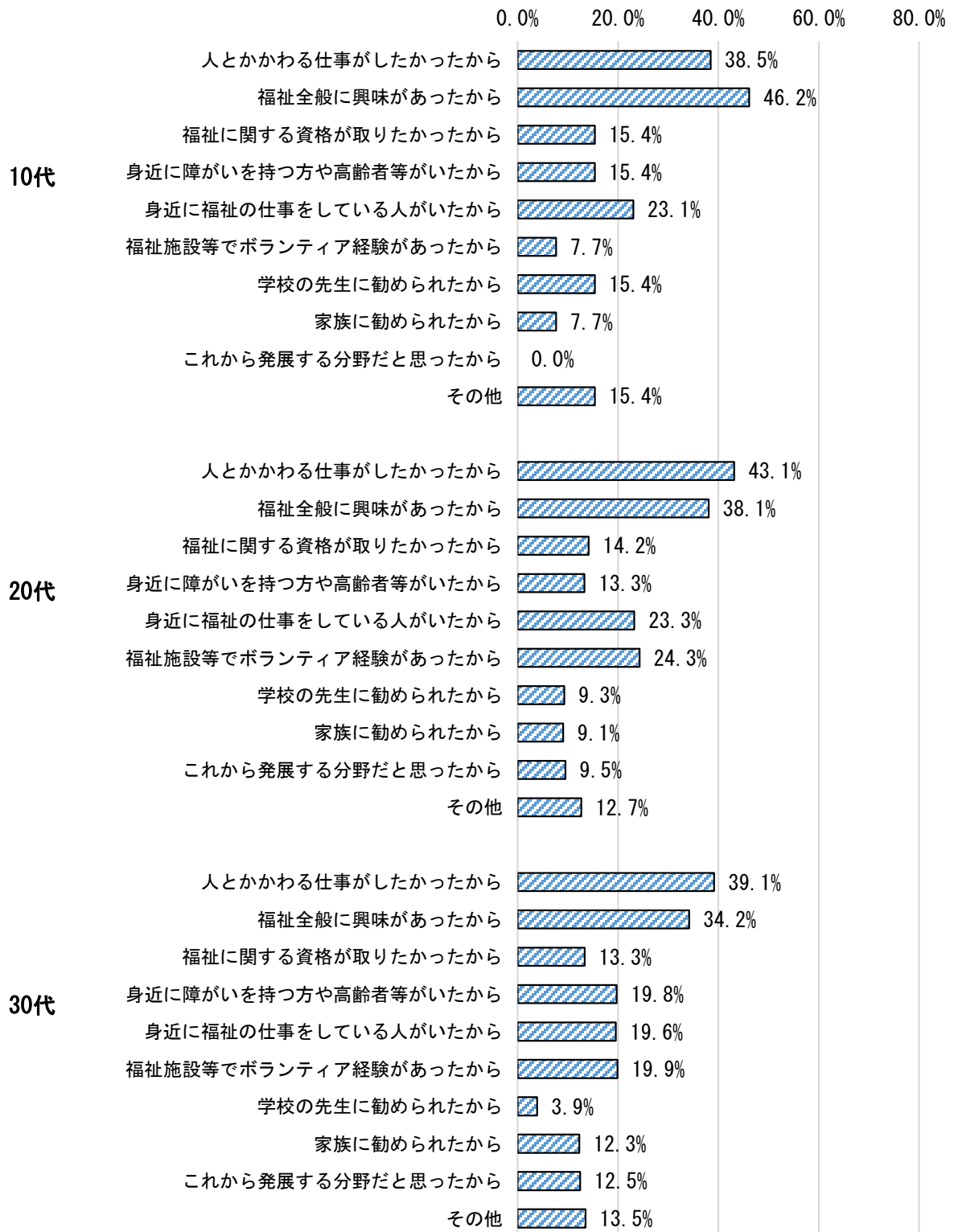
<単純集計図表>

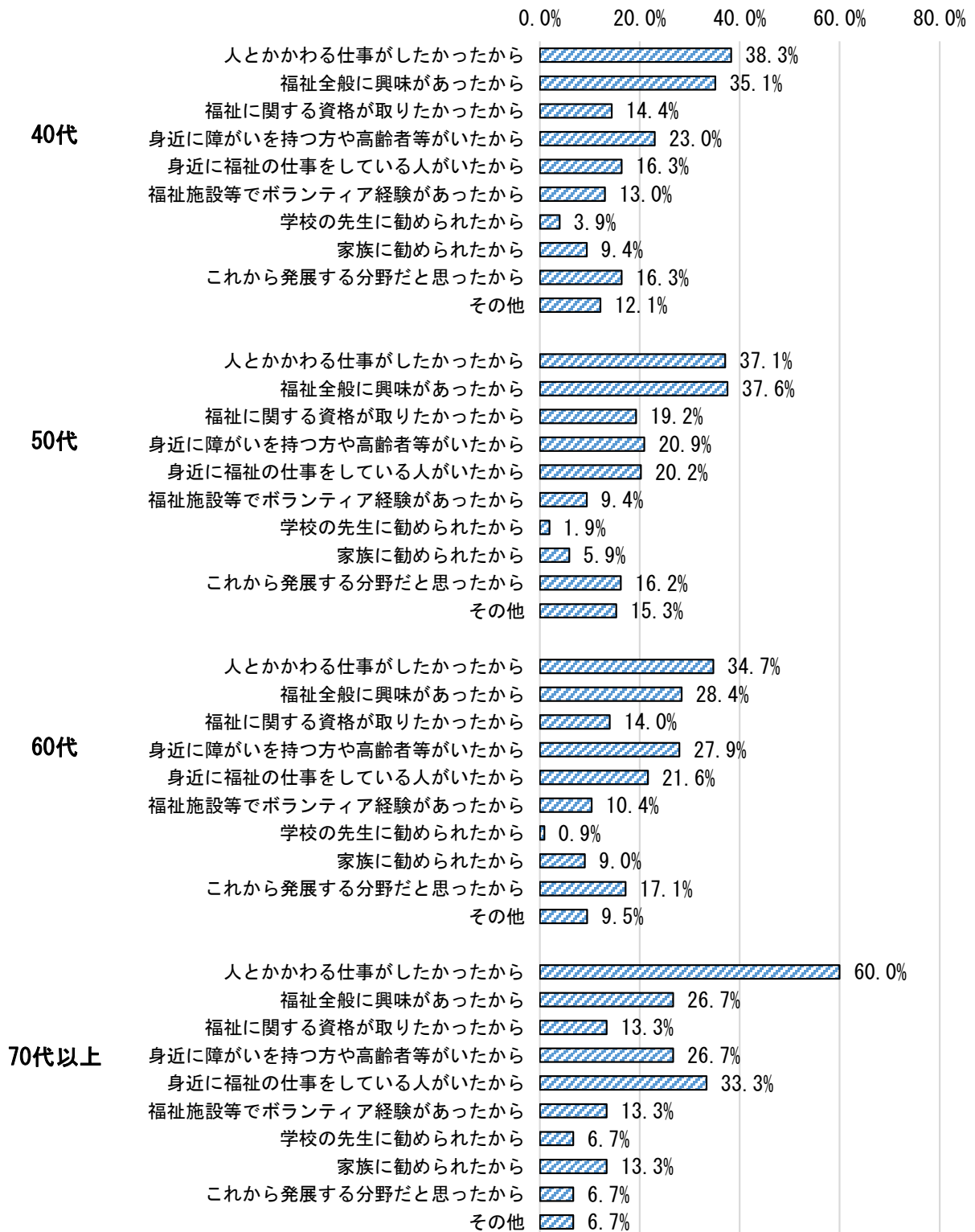


年代別では、10代、50代を除くすべての年代で「人とかかわる仕事がしたかったから」の割合が最も高い。10代、50代は「福祉全般に興味があったから」の割合が最も高い。

<年代別集計図表>

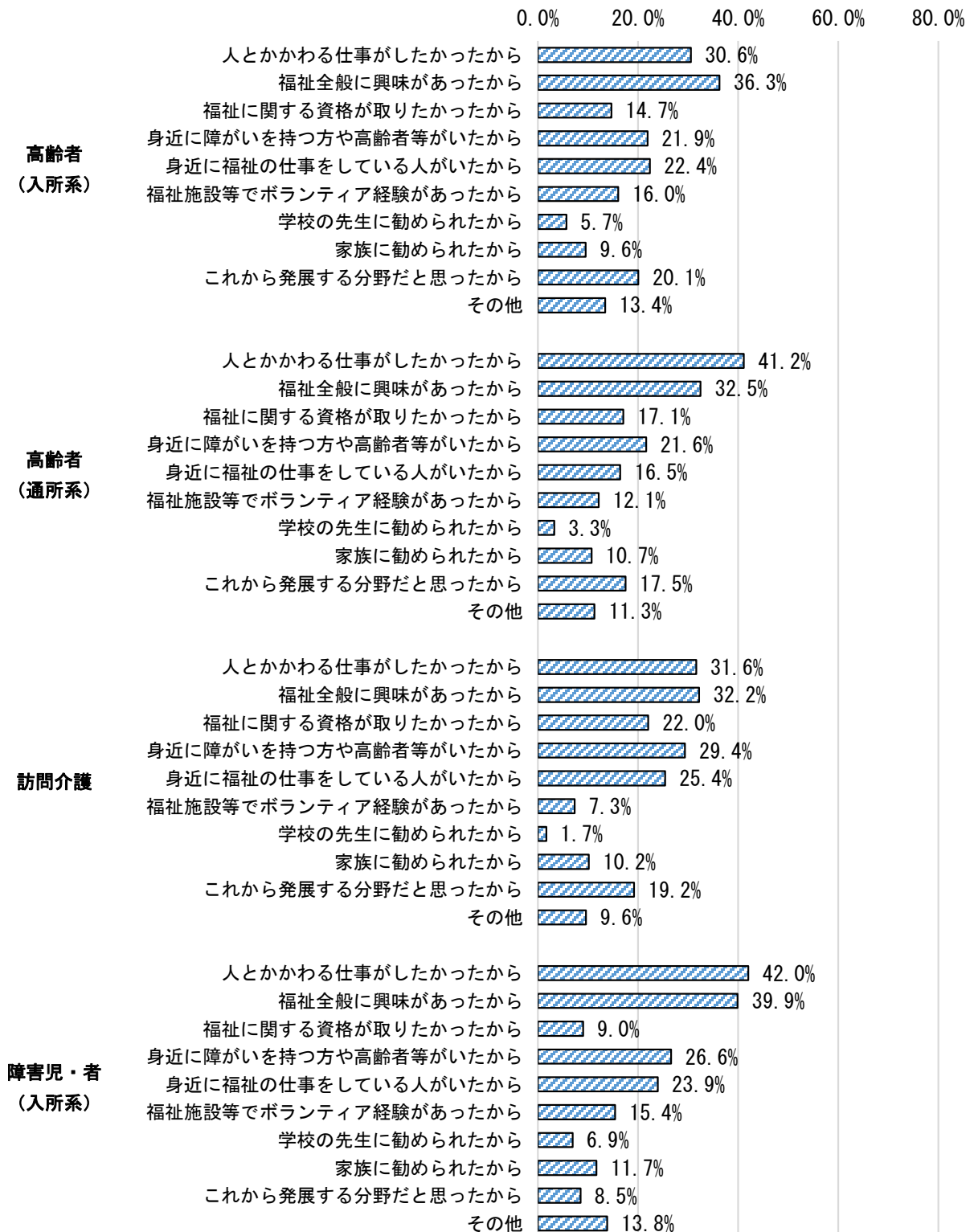
上段：回答数 下段：構成比	合計	人とかかわる仕事がしたかったから	福祉全般に興味があったから	福祉に関する資格が取りたかったから	身近に障がいを持つ方や高齢者等がいたから	身近に福祉の仕事をしている人がいたから	福祉施設等でボランティア経験があったから	学校の先生に勧められたから	家族に勧められたから	これから発展する分野だと思ったから	その他
全体	2,372 100.0%	926 39.0%	837 35.3%	354 14.9%	483 20.4%	470 19.8%	379 16.0%	105 4.4%	222 9.4%	331 14.0%	305 12.9%
10代	13 100.0%	5 38.5%	6 46.2%	2 15.4%	2 15.4%	3 23.1%	1 7.7%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%	2 15.4%
20代	473 100.0%	204 43.1%	180 38.1%	67 14.2%	63 13.3%	110 23.3%	115 24.3%	44 9.3%	43 9.1%	45 9.5%	60 12.7%
30代	562 100.0%	220 39.1%	192 34.2%	75 13.3%	111 19.8%	110 19.6%	112 19.9%	22 3.9%	69 12.3%	70 12.5%	76 13.5%
40代	661 100.0%	253 38.3%	232 35.1%	95 14.4%	152 23.0%	108 16.3%	86 13.0%	26 3.9%	62 9.4%	108 16.3%	80 12.1%
50代	426 100.0%	158 37.1%	160 37.6%	82 19.2%	89 20.9%	86 20.2%	40 9.4%	8 1.9%	25 5.9%	69 16.2%	65 15.3%
60代	222 100.0%	77 34.7%	63 28.4%	31 14.0%	62 27.9%	48 21.6%	23 10.4%	2 0.9%	20 9.0%	38 17.1%	21 9.5%
70代以上	15 100.0%	9 60.0%	4 26.7%	2 13.3%	4 26.7%	5 33.3%	2 13.3%	1 6.7%	2 13.3%	1 6.7%	1 6.7%

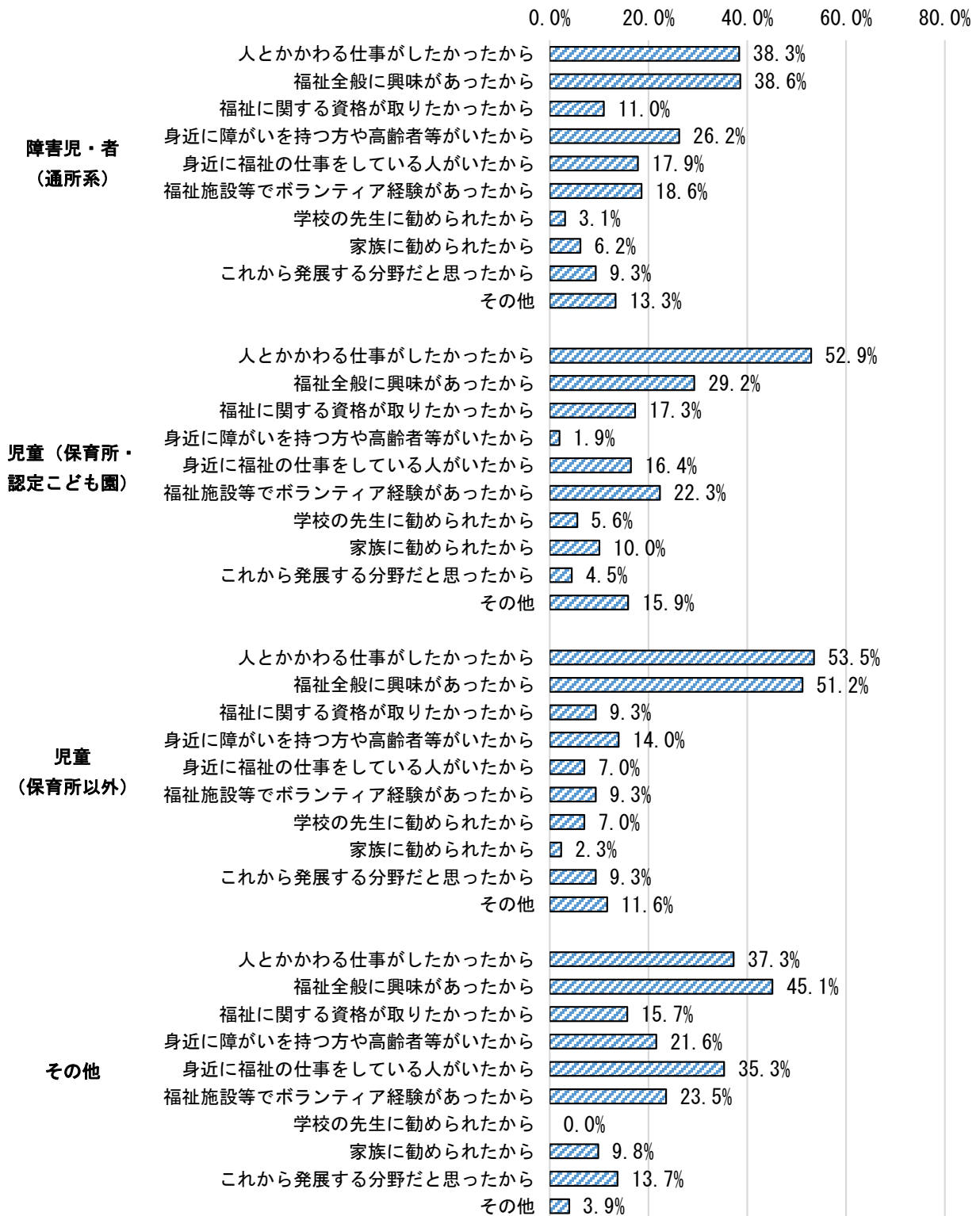




福祉施設・事業所別では、高齢者（通所系）、障害児・者（入所系）、児童（保育所・認定こども園）、児童（保育所以外）は「人とかかわる仕事がしたかったから」、高齢者（入所系）、訪問介護、障害児・者（通所系）、その他は「福祉全般に興味があったから」の割合が最も高い。

<福祉施設・事業所別集計図表>

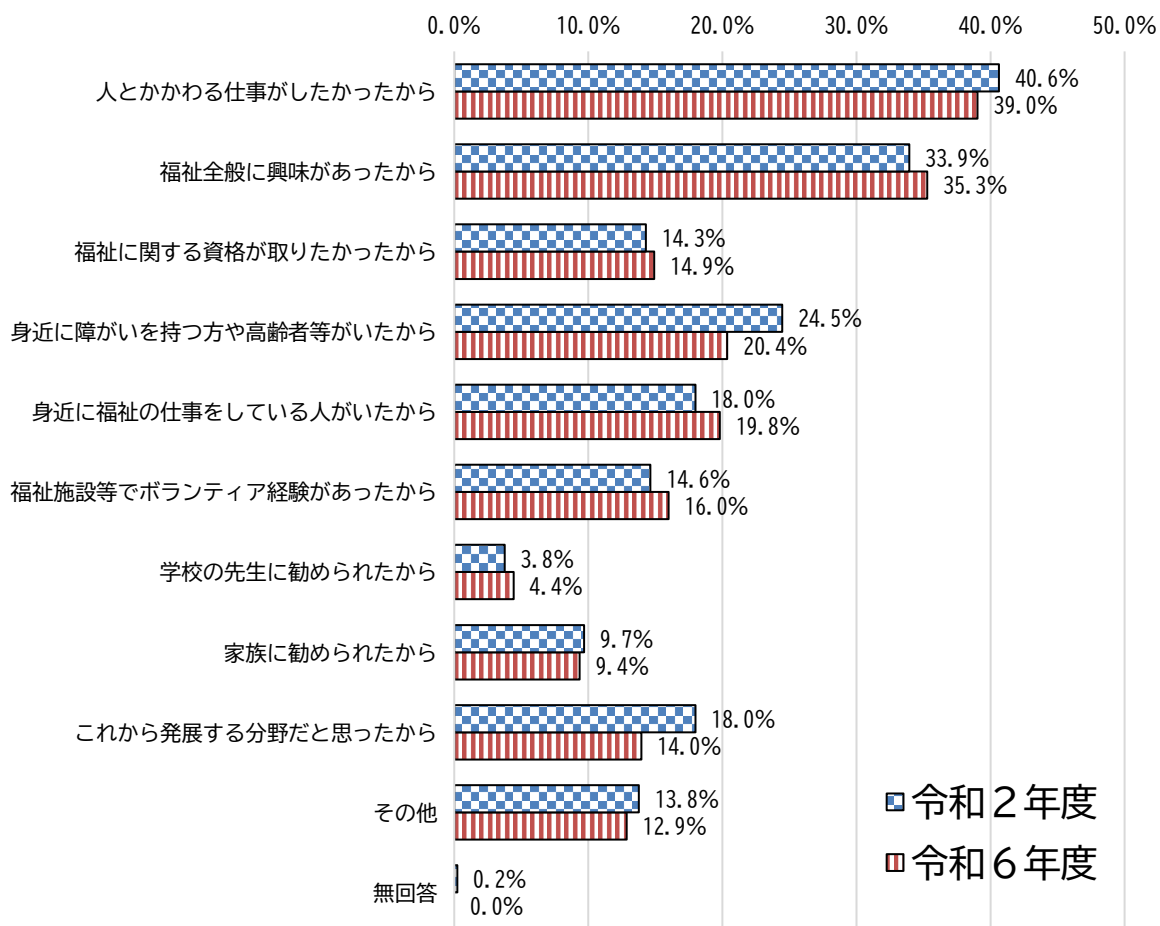




(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	人とかわる仕事をしたかったから	福祉全般に興味があったから	福祉に関する資格が取りたかったから	身近に障がいを持つ方や高齢者等がいたから	身近に福祉の仕事をしている人がいたから	福祉施設等でボランティア経験があったから	学校の先生に勧められたから	家族に勧められたから	これから発展する分野だと思ったから	その他
全体	2,372 100.0%	926 39.0%	837 35.3%	354 14.9%	483 20.4%	470 19.8%	379 16.0%	105 4.4%	222 9.4%	331 14.0%	305 12.9%
高齢者 (入所系)	648 100.0%	198 30.6%	235 36.3%	95 14.7%	142 21.9%	145 22.4%	104 16.0%	37 5.7%	62 9.6%	130 20.1%	87 13.4%
高齢者 (通所系)	486 100.0%	200 41.2%	158 32.5%	83 17.1%	105 21.6%	80 16.5%	59 12.1%	16 3.3%	52 10.7%	85 17.5%	55 11.3%
訪問介護	177 100.0%	56 31.6%	57 32.2%	39 22.0%	52 29.4%	45 25.4%	13 7.3%	3 1.7%	18 10.2%	34 19.2%	17 9.6%
障害児・者 (入所系)	188 100.0%	79 42.0%	75 39.9%	17 9.0%	50 26.6%	45 23.9%	29 15.4%	13 6.9%	22 11.7%	16 8.5%	26 13.8%
障害児・者 (通所系)	420 100.0%	161 38.3%	162 38.6%	46 11.0%	110 26.2%	75 17.9%	78 18.6%	13 3.1%	26 6.2%	39 9.3%	56 13.3%
児童(保育所・認定こども園)	359 100.0%	190 52.9%	105 29.2%	62 17.3%	7 1.9%	59 16.4%	80 22.3%	20 5.6%	36 10.0%	16 4.5%	57 15.9%
児童(保育所以外)	43 100.0%	23 53.5%	22 51.2%	4 9.3%	6 14.0%	3 7.0%	4 9.3%	3 7.0%	1 2.3%	4 9.3%	5 11.6%
その他	51 100.0%	19 37.3%	23 45.1%	8 15.7%	11 21.6%	18 35.3%	12 23.5%	0 0.0%	5 9.8%	7 13.7%	2 3.9%

◆ 令和2年度との比較



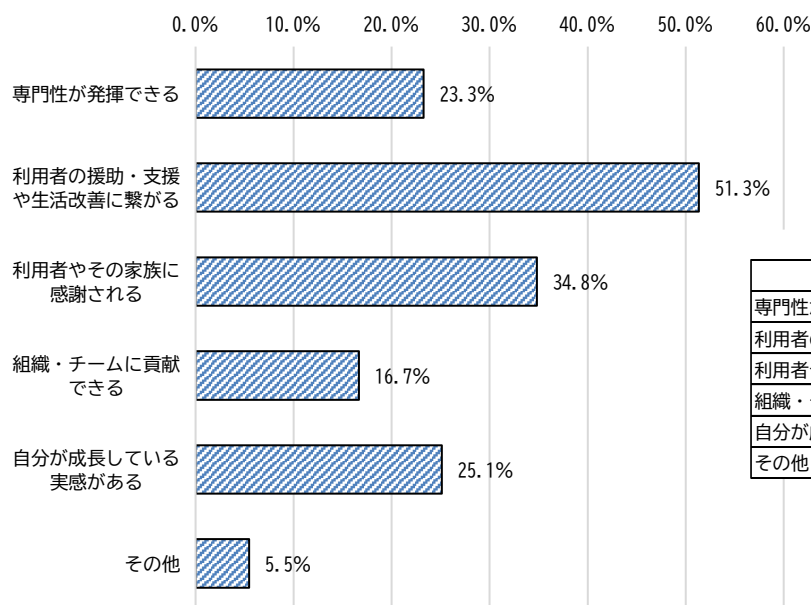
令和2年度の調査結果と比較して、「人とかかわる仕事がしたかったから」が1.6ポイント、「身近に障がいを持つ方や高齢者等がいたから」が4.1ポイント、「家族に勧められたから」が0.3ポイント、「これから発展する分野だと思ったから」が4.0ポイント、「その他」が0.9ポイント減少し、他は増加した。

問 12 現在勤務している福祉施設・事業所でやりがいを感じること

現在勤務している福祉施設・事業所でやりがいを感じることは、「利用者の援助・支援や生活改善に繋がる」が51.3%で割合が最も高く、次いで「利用者やその家族に感謝される」(34.8%)が高い。

「その他」の回答で特に多いものに、「特にない、感じられない」があったが、「子どもの成長を感じられたとき」、「笑顔が見られたとき」といった回答もみられた。

<単純集計図表>



(複数回答)

	回答数	構成比
専門性が発揮できる	552	23.3%
利用者の援助・支援や生活改善に繋がる	1,218	51.3%
利用者やその家族に感謝される	826	34.8%
組織・チームに貢献できる	395	16.7%
自分が成長している実感がある	596	25.1%
その他	130	5.5%

「その他」の内訳

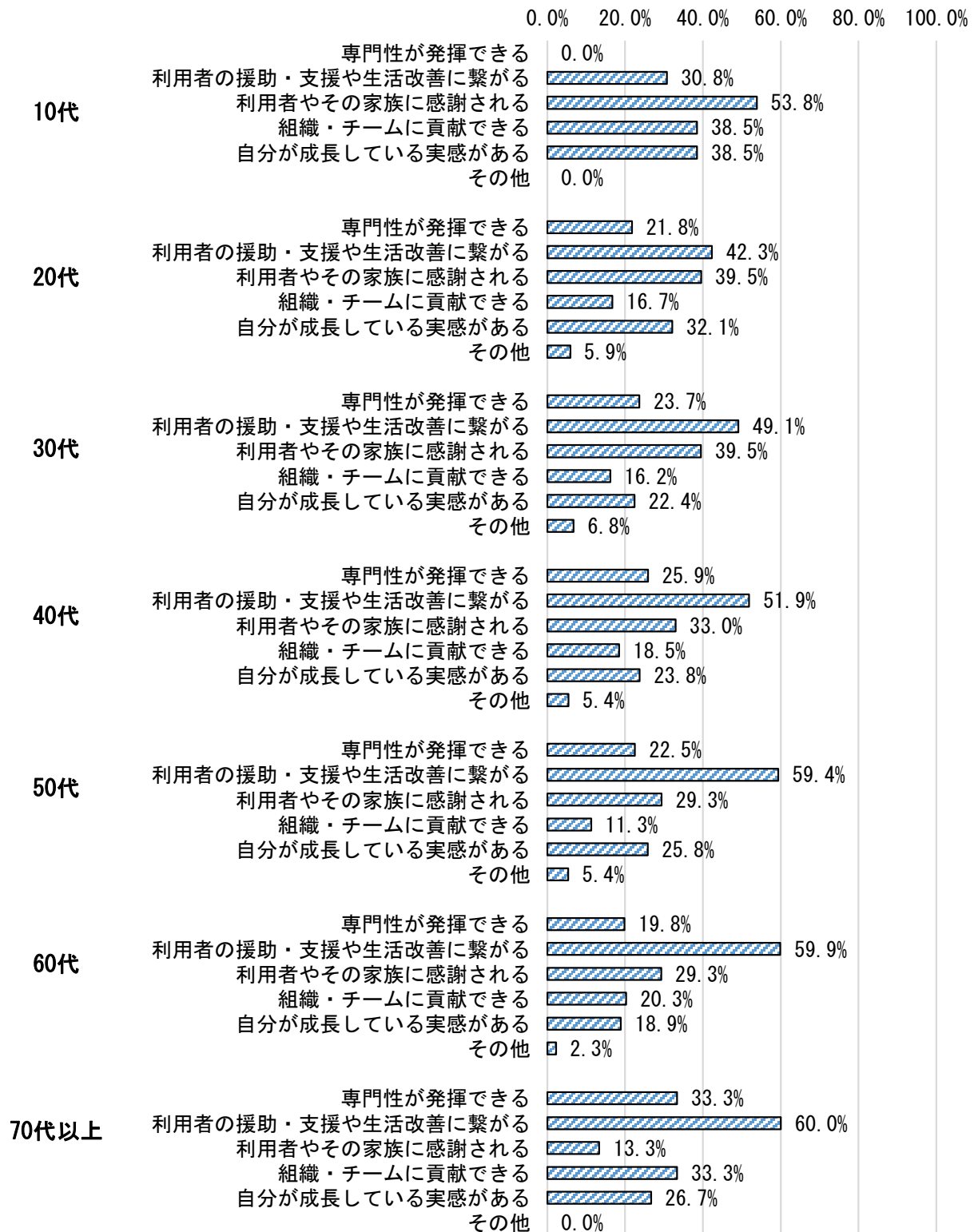
特にない、感じられない	60
子どもの成長を感じられたとき	25
笑顔が見られたとき	10

年代別では、10代を除くすべての年代で「利用者の援助・支援や生活改善に繋がる」の割合が最も高い。10代は「利用者やその家族に感謝される」の割合が最も高い。

<年代別集計図表>

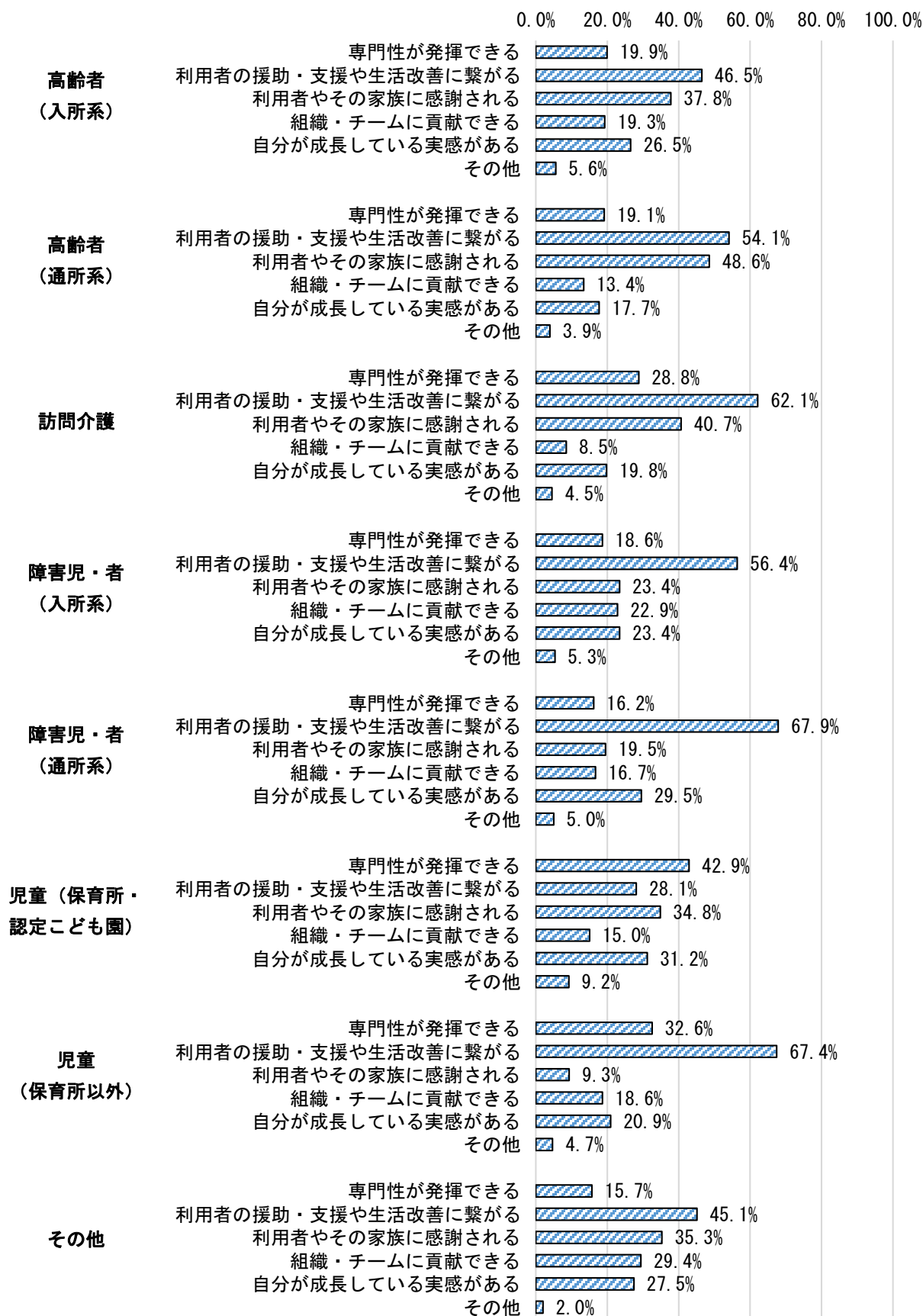
(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	専門性が発揮できる	利用者の援助・支援や生活改善に繋がる	利用者やその家族に感謝される	組織・チームに貢献できる	自分が成長している実感がある	その他
全体	2,372	552	1,218	826	395	596	130
	100.0%	23.3%	51.3%	34.8%	16.7%	25.1%	5.5%
10代	13	0	4	7	5	5	0
	100.0%	0.0%	30.8%	53.8%	38.5%	38.5%	0.0%
20代	473	103	200	187	79	152	28
	100.0%	21.8%	42.3%	39.5%	16.7%	32.1%	5.9%
30代	562	133	276	222	91	126	38
	100.0%	23.7%	49.1%	39.5%	16.2%	22.4%	6.8%
40代	661	171	343	218	122	157	36
	100.0%	25.9%	51.9%	33.0%	18.5%	23.8%	5.4%
50代	426	96	253	125	48	110	23
	100.0%	22.5%	59.4%	29.3%	11.3%	25.8%	5.4%
60代	222	44	133	65	45	42	5
	100.0%	19.8%	59.9%	29.3%	20.3%	18.9%	2.3%
70代以上	15	5	9	2	5	4	0
	100.0%	33.3%	60.0%	13.3%	33.3%	26.7%	0.0%



福祉施設・事業所別では、児童（保育所・認定こども園）を除くすべての福祉施設・事業所で「利用者の援助・支援や生活改善に繋がる」の割合が最も高い。児童（保育所・認定こども園）は「専門性が発揮できる」の割合が最も高い。

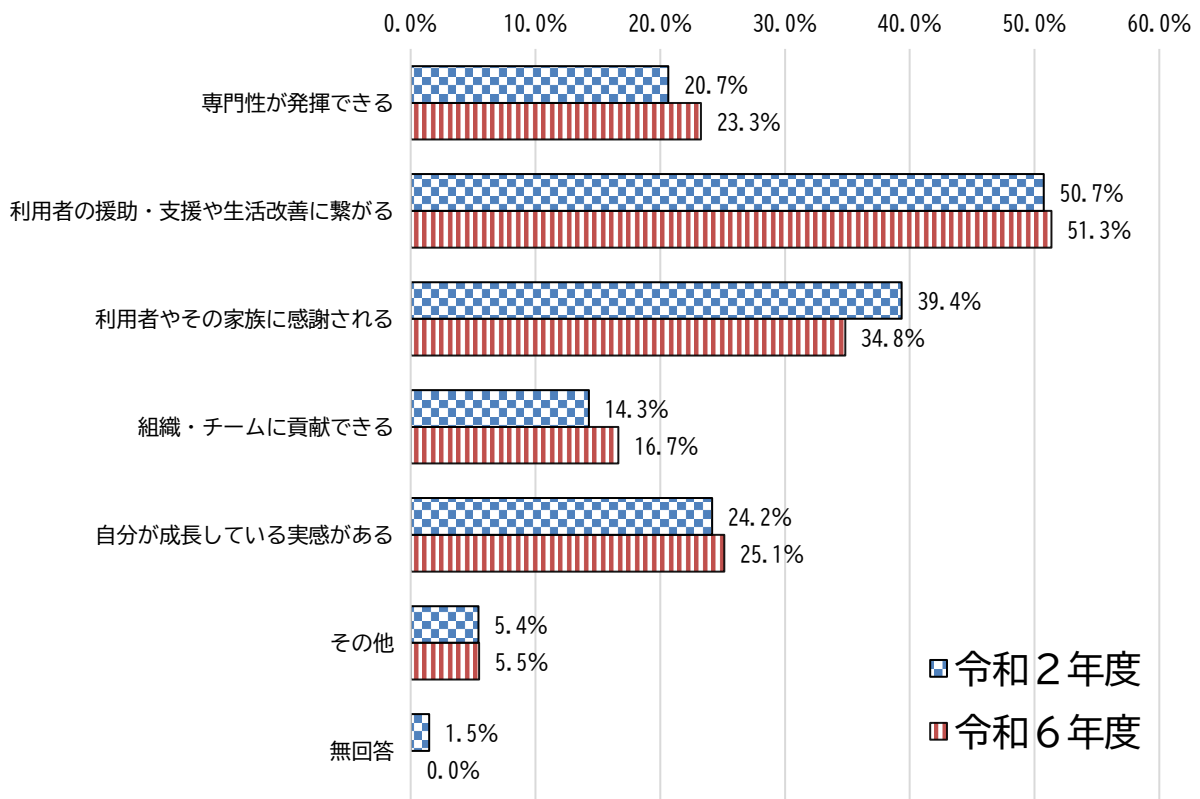
<福祉施設・事業所別集計図表>



(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	専門性が発揮できる	利用者の援助・支援や生活改善に繋がる	利用者やその家族に感謝される	組織・チームに貢献できる	自分が成長している実感がある	その他
全体	2,372 100.0%	552 23.3%	1,218 51.3%	826 34.8%	395 16.7%	596 25.1%	130 5.5%
高齢者（入所系）	648 100.0%	129 19.9%	301 46.5%	245 37.8%	125 19.3%	172 26.5%	36 5.6%
高齢者（通所系）	486 100.0%	93 19.1%	263 54.1%	236 48.6%	65 13.4%	86 17.7%	19 3.9%
訪問介護	177 100.0%	51 28.8%	110 62.1%	72 40.7%	15 8.5%	35 19.8%	8 4.5%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	35 18.6%	106 56.4%	44 23.4%	43 22.9%	44 23.4%	10 5.3%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	68 16.2%	285 67.9%	82 19.5%	70 16.7%	124 29.5%	21 5.0%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	154 42.9%	101 28.1%	125 34.8%	54 15.0%	112 31.2%	33 9.2%
児童（保育所以外）	43 100.0%	14 32.6%	29 67.4%	4 9.3%	8 18.6%	9 20.9%	2 4.7%
その他	51 100.0%	8 15.7%	23 45.1%	18 35.3%	15 29.4%	14 27.5%	1 2.0%

◆ 令和2年度との比較

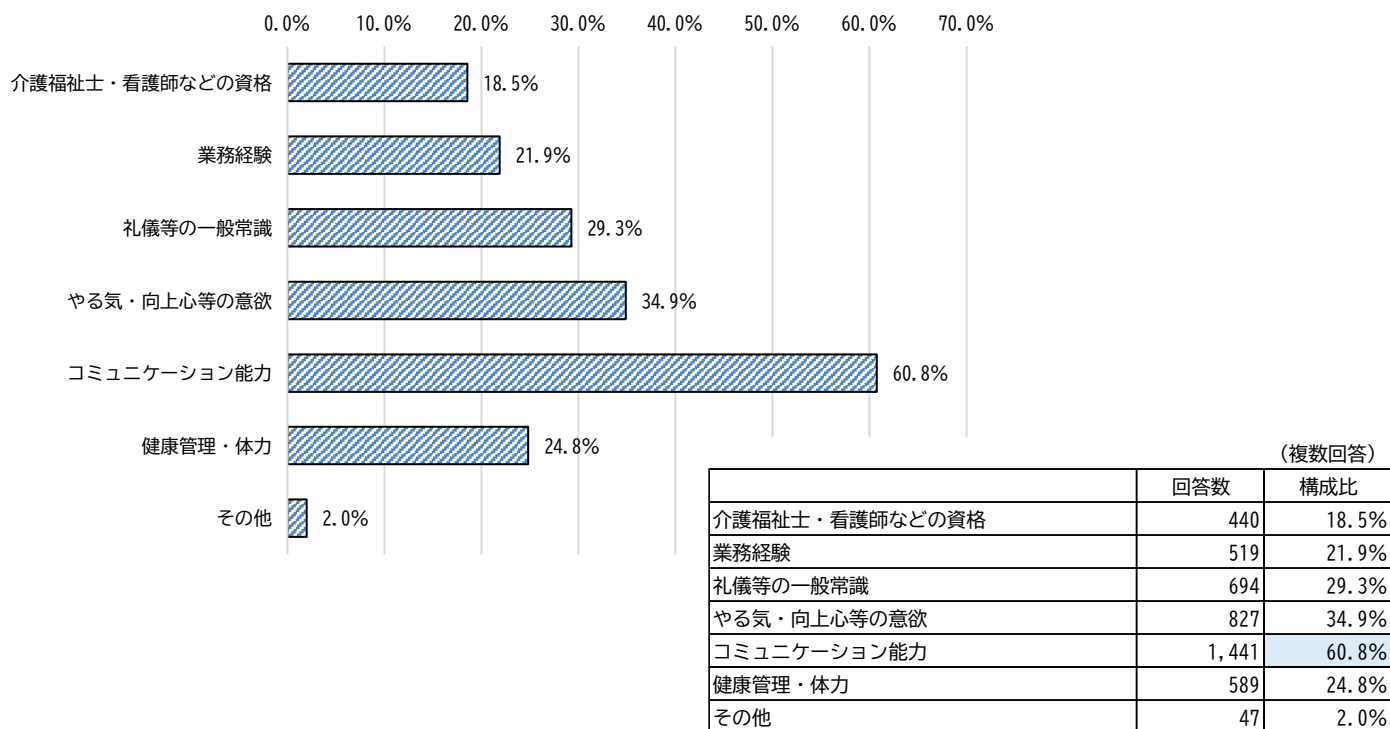


令和2年度の調査結果と比較して、「専門性が発揮できる」が2.6ポイント、「組織・チームに貢献できる」が2.4ポイント増加し、「利用者やその家族に感謝される」が4.6ポイント減少した。

問 13 福祉の仕事をする上で、能力・適性として必要と思われること

福祉の仕事をする上で、能力・適性として必要と思われることは、「コミュニケーション能力」の割合が60.8%と最も高く、次いで「やる気・向上心等の意欲」(34.9%)が高い。一方で、「介護福祉士・看護師などの資格」(18.5%)や「業務経験」(21.9%)は2割程度となっている。

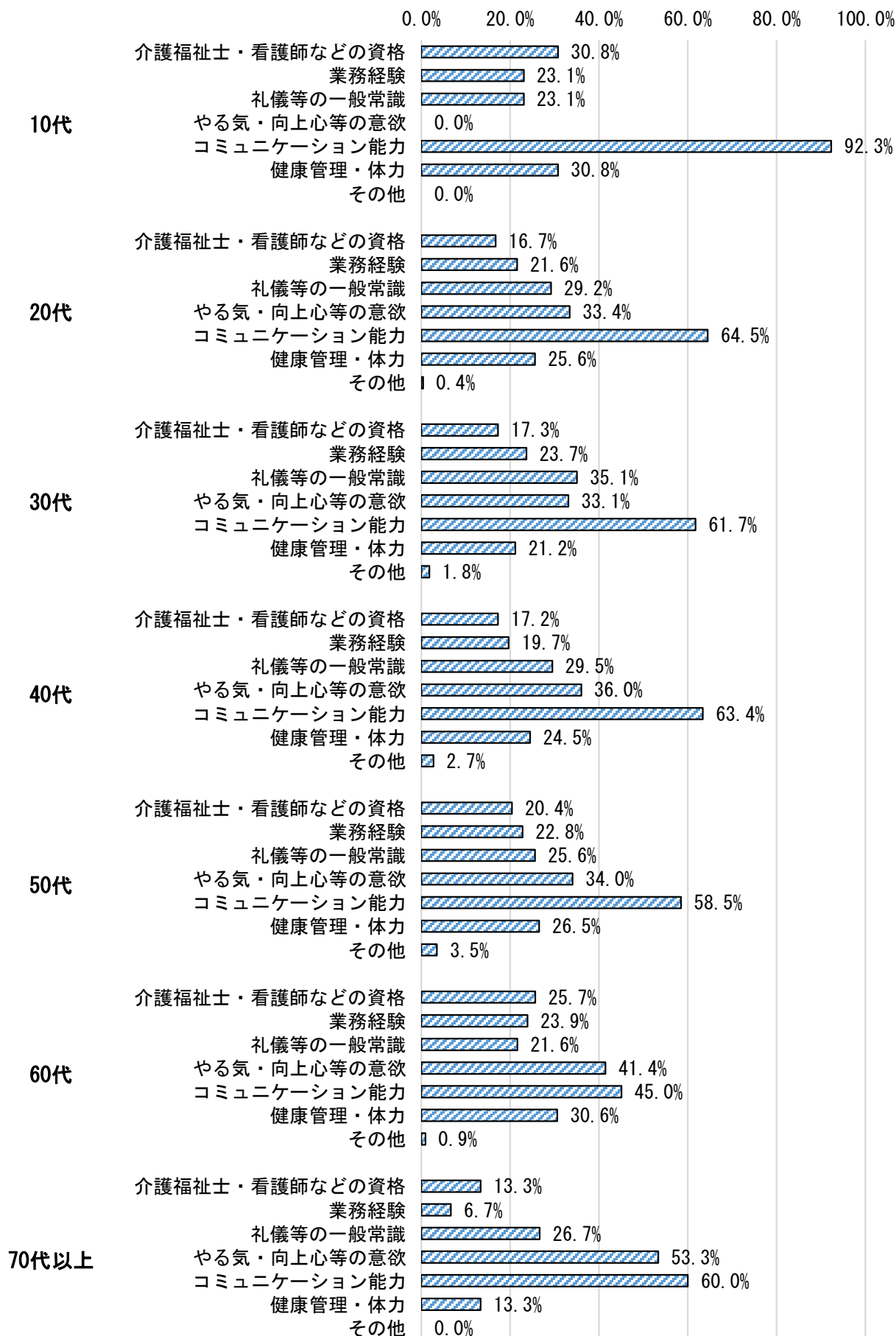
<単純集計図表>



年代別では、すべての年代で「コミュニケーション能力」の割合が最も高い。

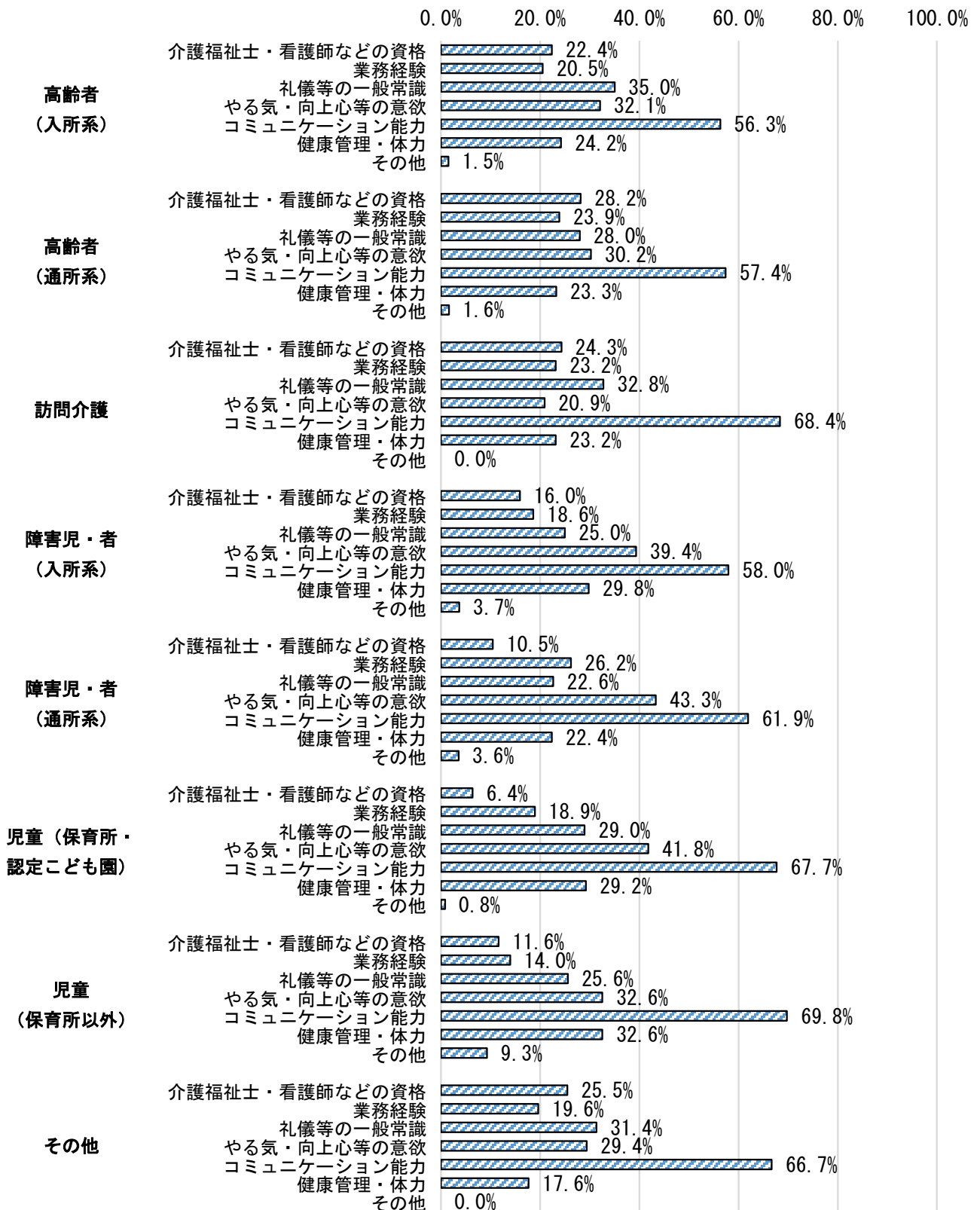
<年代別集計図表>

上段：回答数 下段：構成比	合計	介護福祉士・看護師などの資格	業務経験	礼儀等の一般常識	やる気・向上心等の意欲	コミュニケーション能力	健康管理・体力	その他
全体	2,372 100.0%	440 18.5%	519 21.9%	694 29.3%	827 34.9%	1,441 60.8%	589 24.8%	47 2.0%
10代	13 100.0%	4 30.8%	3 23.1%	3 23.1%	0 0.0%	12 92.3%	4 30.8%	0 0.0%
20代	473 100.0%	79 16.7%	102 21.6%	138 29.2%	158 33.4%	305 64.5%	121 25.6%	2 0.4%
30代	562 100.0%	97 17.3%	133 23.7%	197 35.1%	186 33.1%	347 61.7%	119 21.2%	10 1.8%
40代	661 100.0%	114 17.2%	130 19.7%	195 29.5%	238 36.0%	419 63.4%	162 24.5%	18 2.7%
50代	426 100.0%	87 20.4%	97 22.8%	109 25.6%	145 34.0%	249 58.5%	113 26.5%	15 3.5%
60代	222 100.0%	57 25.7%	53 23.9%	48 21.6%	92 41.4%	100 45.0%	68 30.6%	2 0.9%
70代以上	15 100.0%	2 13.3%	1 6.7%	4 26.7%	8 53.3%	9 60.0%	2 13.3%	0 0.0%



福祉施設・事業所別では、すべての福祉施設・事業所で「コミュニケーション能力」の割合が最も高い。

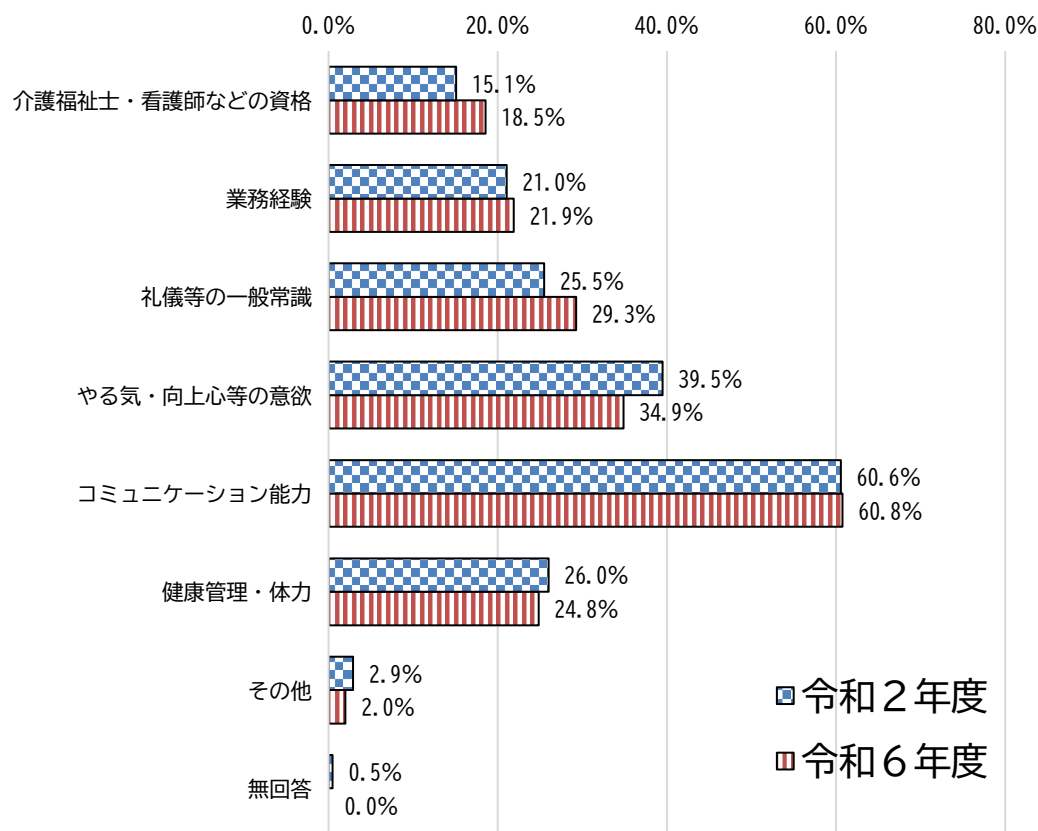
<福祉施設・事業所別集計図表>



(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	介護福祉士・看護師などの資格	業務経験	礼儀等の一般常識	やる気・向上心等の意欲	コミュニケーション能力	健康管理・体力	その他
全体	2,372 100.0%	440 18.5%	519 21.9%	694 29.3%	827 34.9%	1,441 60.8%	589 24.8%	47 2.0%
高齢者（入所系）	648 100.0%	145 22.4%	133 20.5%	227 35.0%	208 32.1%	365 56.3%	157 24.2%	10 1.5%
高齢者（通所系）	486 100.0%	137 28.2%	116 23.9%	136 28.0%	147 30.2%	279 57.4%	113 23.3%	8 1.6%
訪問介護	177 100.0%	43 24.3%	41 23.2%	58 32.8%	37 20.9%	121 68.4%	41 23.2%	0 0.0%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	30 16.0%	35 18.6%	47 25.0%	74 39.4%	109 58.0%	56 29.8%	7 3.7%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	44 10.5%	110 26.2%	95 22.6%	182 43.3%	260 61.9%	94 22.4%	15 3.6%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	23 6.4%	68 18.9%	104 29.0%	150 41.8%	243 67.7%	105 29.2%	3 0.8%
児童（保育所以外）	43 100.0%	5 11.6%	6 14.0%	11 25.6%	14 32.6%	30 69.8%	14 32.6%	4 9.3%
その他	51 100.0%	13 25.5%	10 19.6%	16 31.4%	15 29.4%	34 66.7%	9 17.6%	0 0.0%

◆ 令和2年度との比較

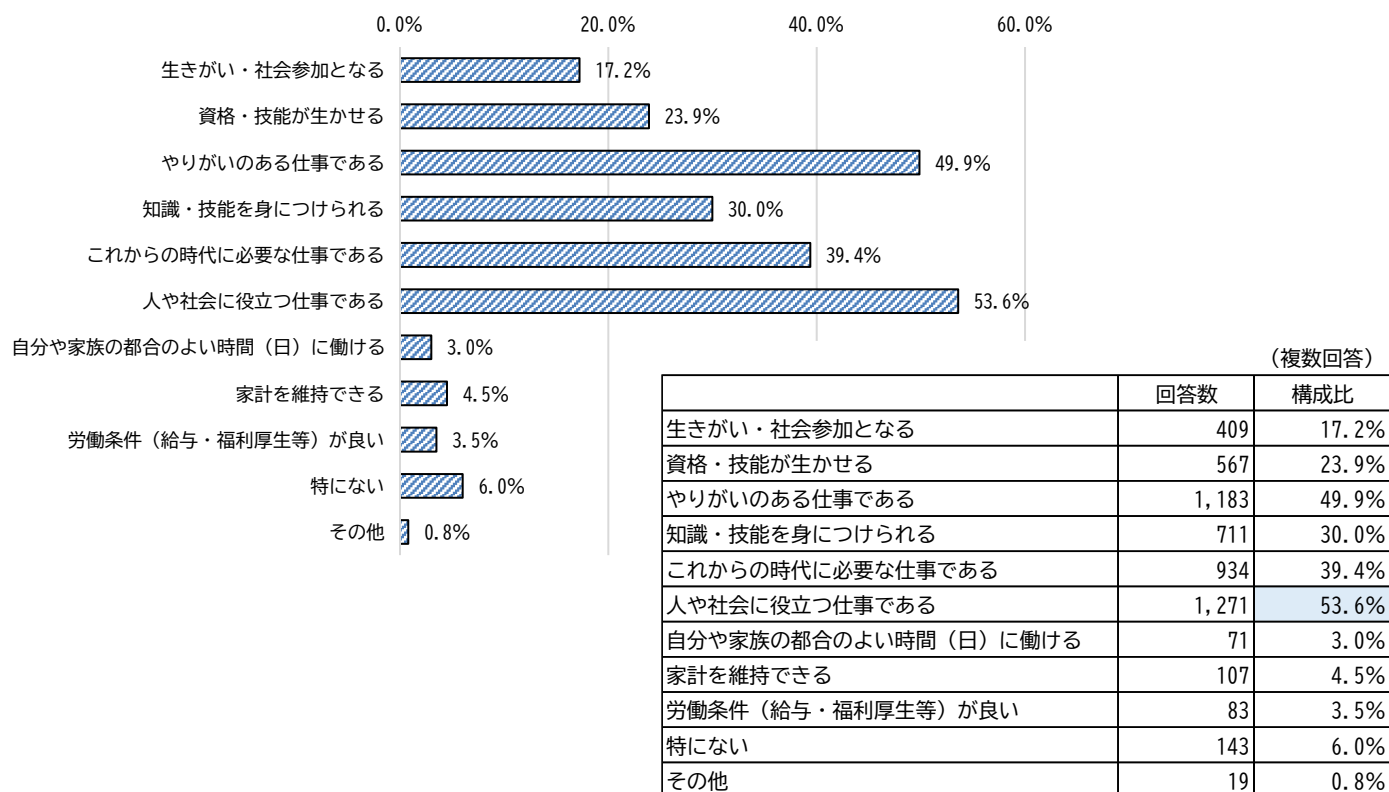


令和2年度の調査結果と比較して、「礼儀等の一般常識」と答えた割合が3.8ポイント増加し、「やる気・向上心等の意欲」と答えた割合が4.6ポイント減少した。

問 14 福祉の仕事の良い点と思われること

福祉の仕事の良い点と思われることは、「人や社会に役立つ仕事である」が53.6%で割合が最も高く、次いで「やりがいのある仕事である」(49.9%)、「これからの時代に必要な仕事である」(39.4%)と続いている。

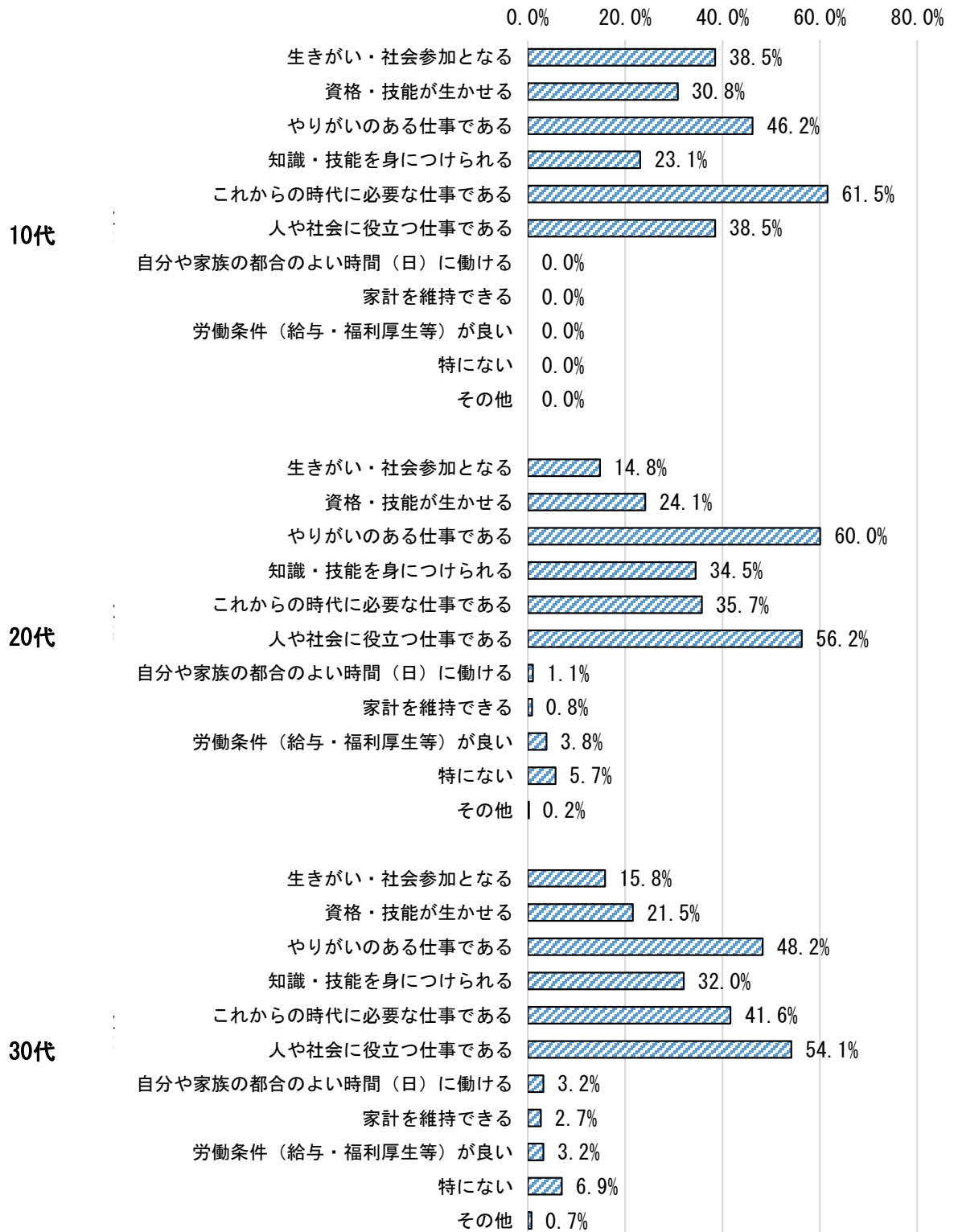
<単純集計図表>

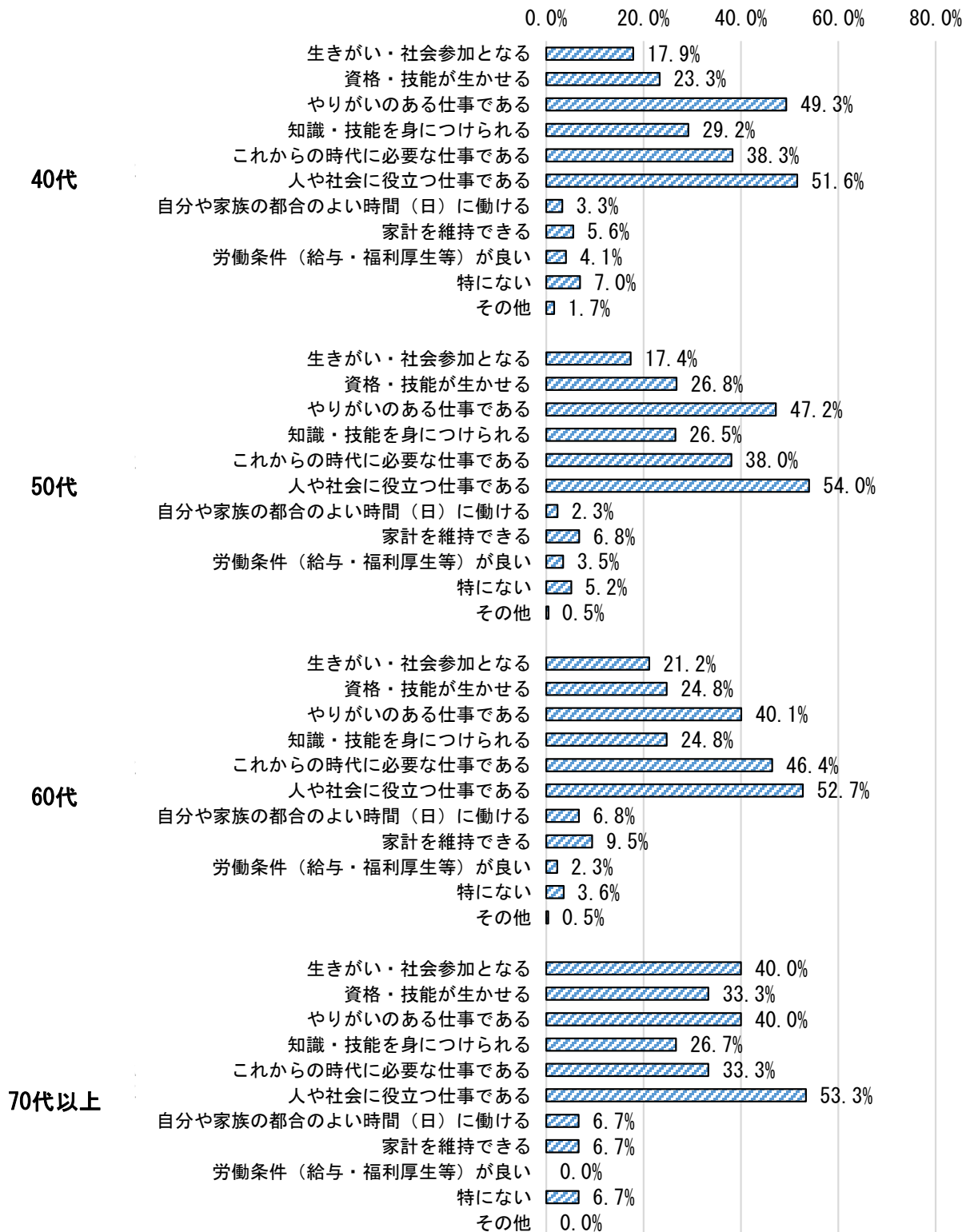


年代別では、10代は「これからの時代に必要な仕事である」、20代は「やりがいのある仕事である」、30代以上は「人や社会に役立つ仕事である」の割合が最も高い。

<年代別集計図表>

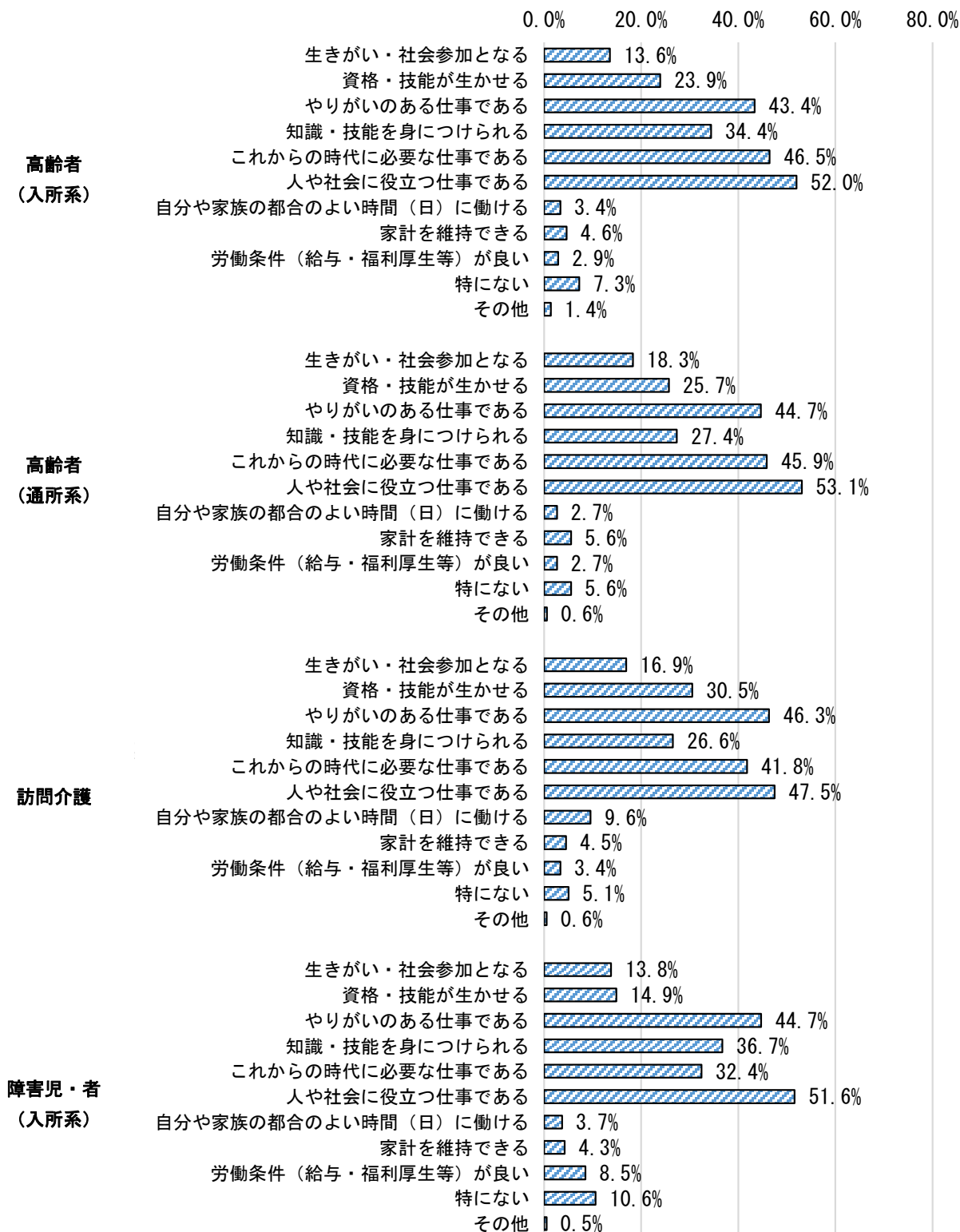
上段：回答数 下段：構成比	合計	生きがい・社会参加となる	資格・技能が生かせる	やりがいのある仕事である	知識・技能を身につけられる	これからの時代に必要な仕事である	人や社会に役立つ仕事である	自分や家族の都合のよい時間(日)に働ける	家計を維持できる	労働条件(給与・福利厚生等)が良い	特にない	その他
全体	2,372 100.0%	409 17.2%	567 23.9%	1,183 49.9%	711 30.0%	934 39.4%	1,271 53.6%	71 3.0%	107 4.5%	83 3.5%	143 6.0%	19 0.8%
10代	13 100.0%	5 38.5%	4 30.8%	6 46.2%	3 23.1%	8 61.5%	5 38.5%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	473 100.0%	70 14.8%	114 24.1%	284 60.0%	163 34.5%	169 35.7%	266 56.2%	5 1.1%	4 0.8%	18 3.8%	27 5.7%	1 0.2%
30代	562 100.0%	89 15.8%	121 21.5%	271 48.2%	180 32.0%	234 41.6%	304 54.1%	18 3.2%	15 2.7%	18 3.2%	39 6.9%	4 0.7%
40代	661 100.0%	118 17.9%	154 23.3%	326 49.3%	193 29.2%	253 38.3%	341 51.6%	22 3.3%	37 5.6%	27 4.1%	46 7.0%	11 1.7%
50代	426 100.0%	74 17.4%	114 26.8%	201 47.2%	113 26.5%	162 38.0%	230 54.0%	10 2.3%	29 6.8%	15 3.5%	22 5.2%	2 0.5%
60代	222 100.0%	47 21.2%	55 24.8%	89 40.1%	55 24.8%	103 46.4%	117 52.7%	15 6.8%	21 9.5%	5 2.3%	8 3.6%	1 0.5%
70代以上	15 100.0%	6 40.0%	5 33.3%	6 40.0%	4 26.7%	5 33.3%	8 53.3%	1 6.7%	1 6.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%

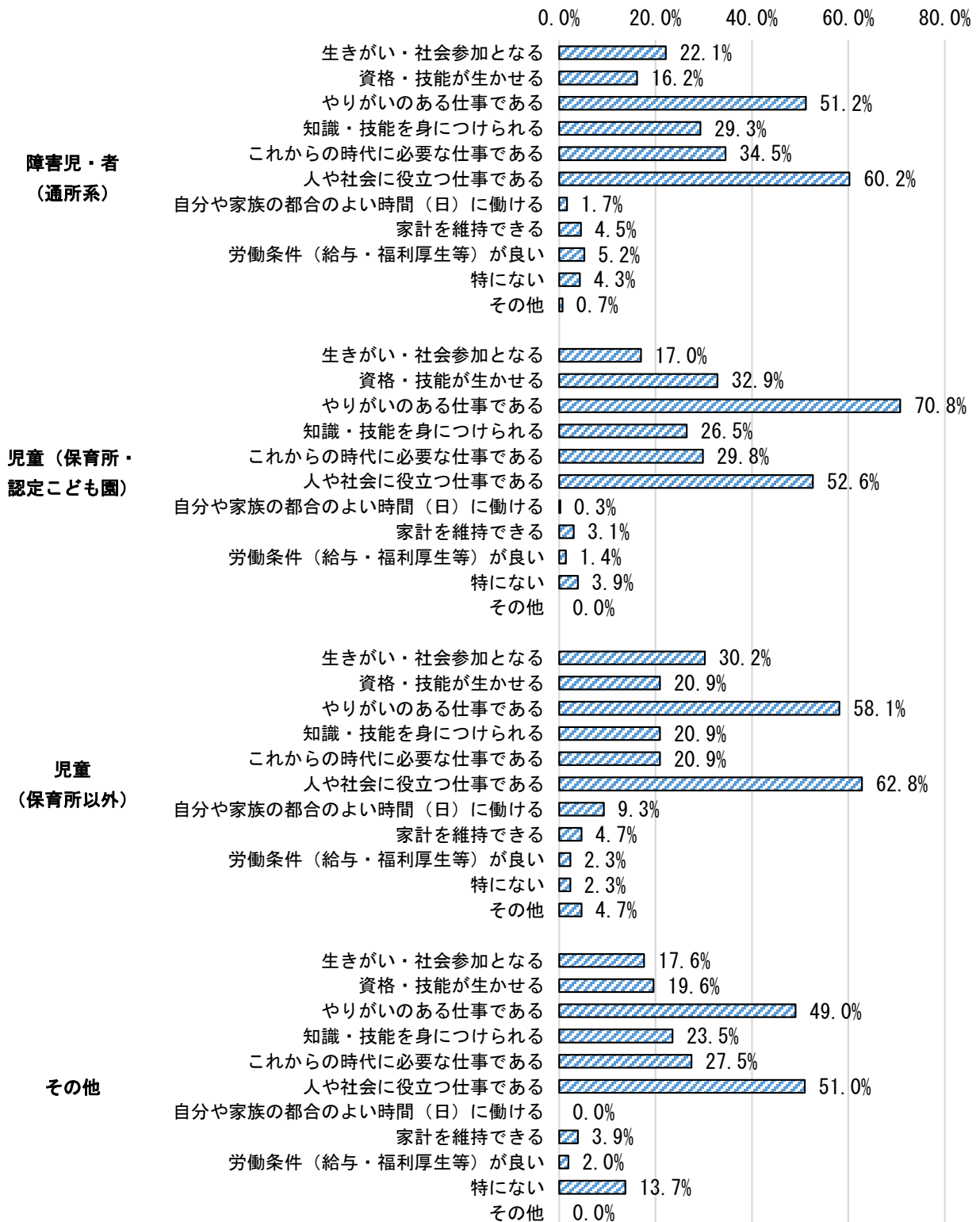




福祉施設・事業所別では、児童（保育所・認定こども園）を除くすべての福祉施設・事業で、「人や社会に役立つ仕事である」の割合が最も高い。児童（保育所・認定こども園）は「やりがいのある仕事である」の割合が最も高い。

<福祉施設・事業所別集計図表>

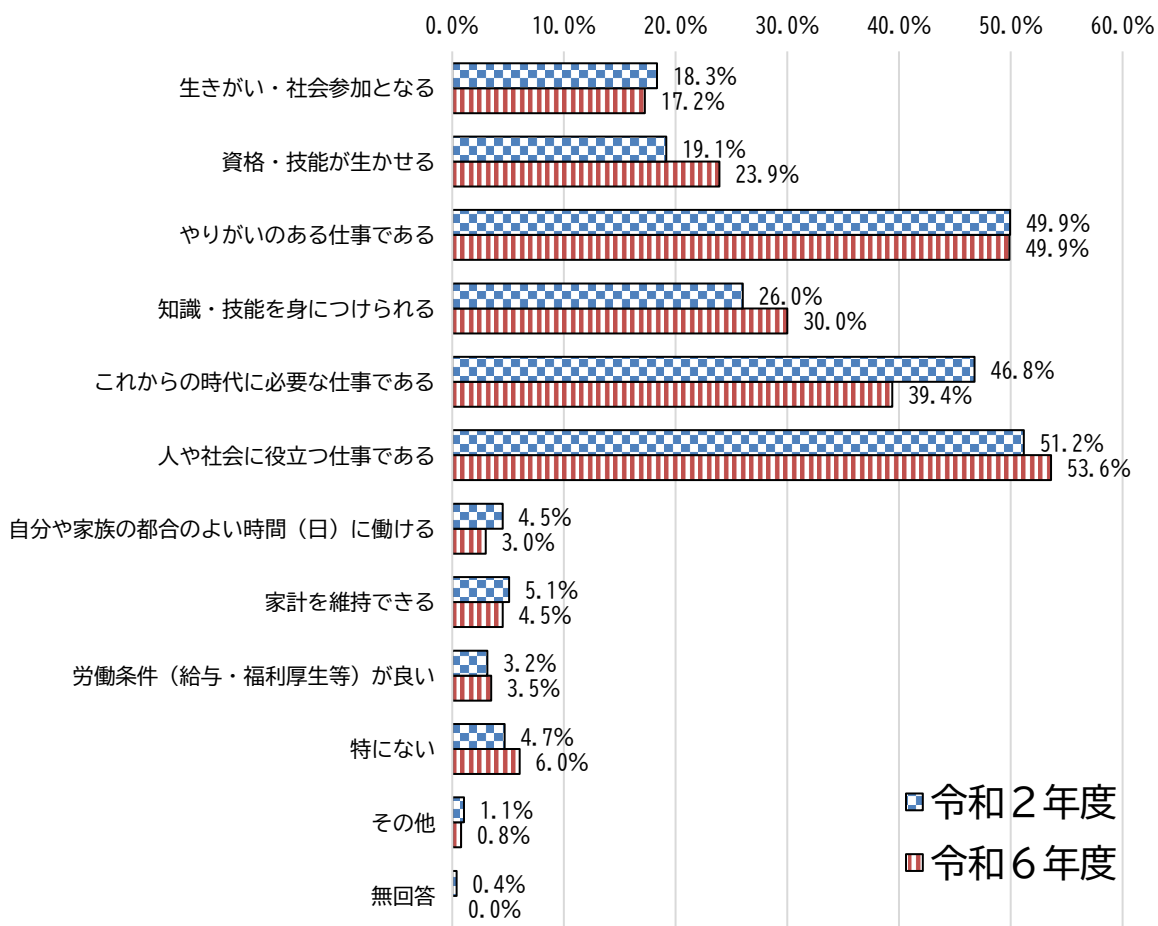




(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	生きがい・ 社会参加と なる	資格・技能 が生かせる	やりがいの ある仕事で ある	知識・技能 を身につけ られる	これからの 時代に必要 な仕事であ る	人や社会に 役立つ仕事 である	自分や家族 の都合のよ い時間 (日)に働 ける	家計を維持 できる	労働条件 (給与・福 利厚生等) が良い	特にな い	その他
全体	2,372 100.0%	409 17.2%	567 23.9%	1,183 49.9%	711 30.0%	934 39.4%	1,271 53.6%	71 3.0%	107 4.5%	83 3.5%	143 6.0%	19 0.8%
高齢者 (入所系)	648 100.0%	88 13.6%	155 23.9%	281 43.4%	223 34.4%	301 46.5%	337 52.0%	22 3.4%	30 4.6%	19 2.9%	47 7.3%	9 1.4%
高齢者 (通所系)	486 100.0%	89 18.3%	125 25.7%	217 44.7%	133 27.4%	223 45.9%	258 53.1%	13 2.7%	27 5.6%	13 2.7%	27 5.6%	3 0.6%
訪問介護	177 100.0%	30 16.9%	54 30.5%	82 46.3%	47 26.6%	74 41.8%	84 47.5%	17 9.6%	8 4.5%	6 3.4%	9 5.1%	1 0.6%
障害児・者 (入所系)	188 100.0%	26 13.8%	28 14.9%	84 44.7%	69 36.7%	61 32.4%	97 51.6%	7 3.7%	8 4.3%	16 8.5%	20 10.6%	1 0.5%
障害児・者 (通所系)	420 100.0%	93 22.1%	68 16.2%	215 51.2%	123 29.3%	145 34.5%	253 60.2%	7 1.7%	19 4.5%	22 5.2%	18 4.3%	3 0.7%
児童(保育所 ・認定こども園)	359 100.0%	61 17.0%	118 32.9%	254 70.8%	95 26.5%	107 29.8%	189 52.6%	1 0.3%	11 3.1%	5 1.4%	14 3.9%	0 0.0%
児童(保育所 以外)	43 100.0%	13 30.2%	9 20.9%	25 58.1%	9 20.9%	9 20.9%	27 62.8%	4 9.3%	2 4.7%	1 2.3%	1 2.3%	2 4.7%
その他	51 100.0%	9 17.6%	10 19.6%	25 49.0%	12 23.5%	14 27.5%	26 51.0%	0 0.0%	2 3.9%	1 2.0%	7 13.7%	0 0.0%

◆ 令和2年度との比較

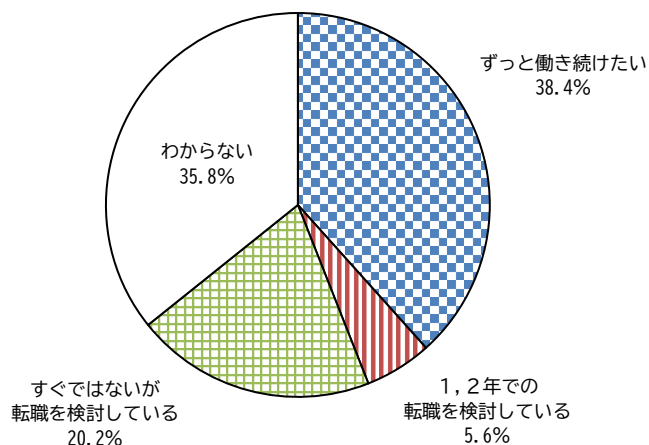


令和2年度の調査結果と比較して、「資格・技能が生かせる」が4.8ポイント、「知識・技能を身につけられる」が4.0ポイント、「人や社会に役立つ仕事である」が2.4ポイント増加し、「これからの時代に必要なお仕事である」が7.4ポイント減少している。

問 15 現在勤務している福祉施設・事業所（または社会福祉法人）で働きたいか

現在勤務している福祉施設・事業所（または社会福祉法人）で働きたいかは、「ずっと働きたい」が38.4%で割合が最も高く、次いで「わからない」（35.8%）が高い。「1，2年での転職を検討している」、「すぐにはないが転職を検討している」を合わせた転職を検討している割合は25.8%である。

<単純集計図表>



(単回答)

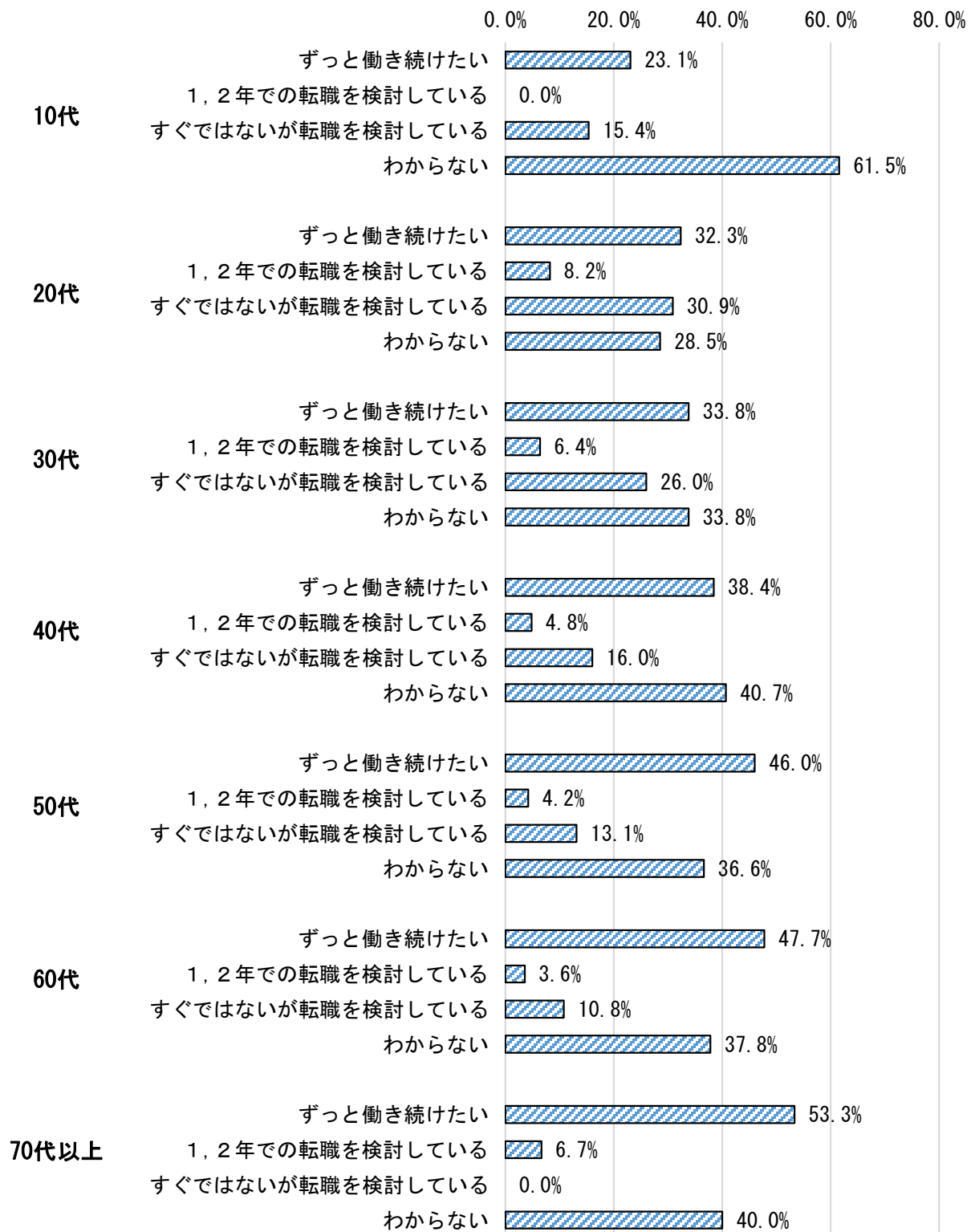
	回答数	構成比
ずっと働きたい	910	38.4%
1,2年での転職を検討している	134	5.6%
すぐではないが転職を検討している	480	20.2%
わからない	848	35.8%

年代別では、20代、50代以上は「ずっと働きたい」、10代、40代は「わからない」の割合が最も高い。転職を検討している割合は20代で約4割、30代で3割以上となっている。

<年代別集計図表>

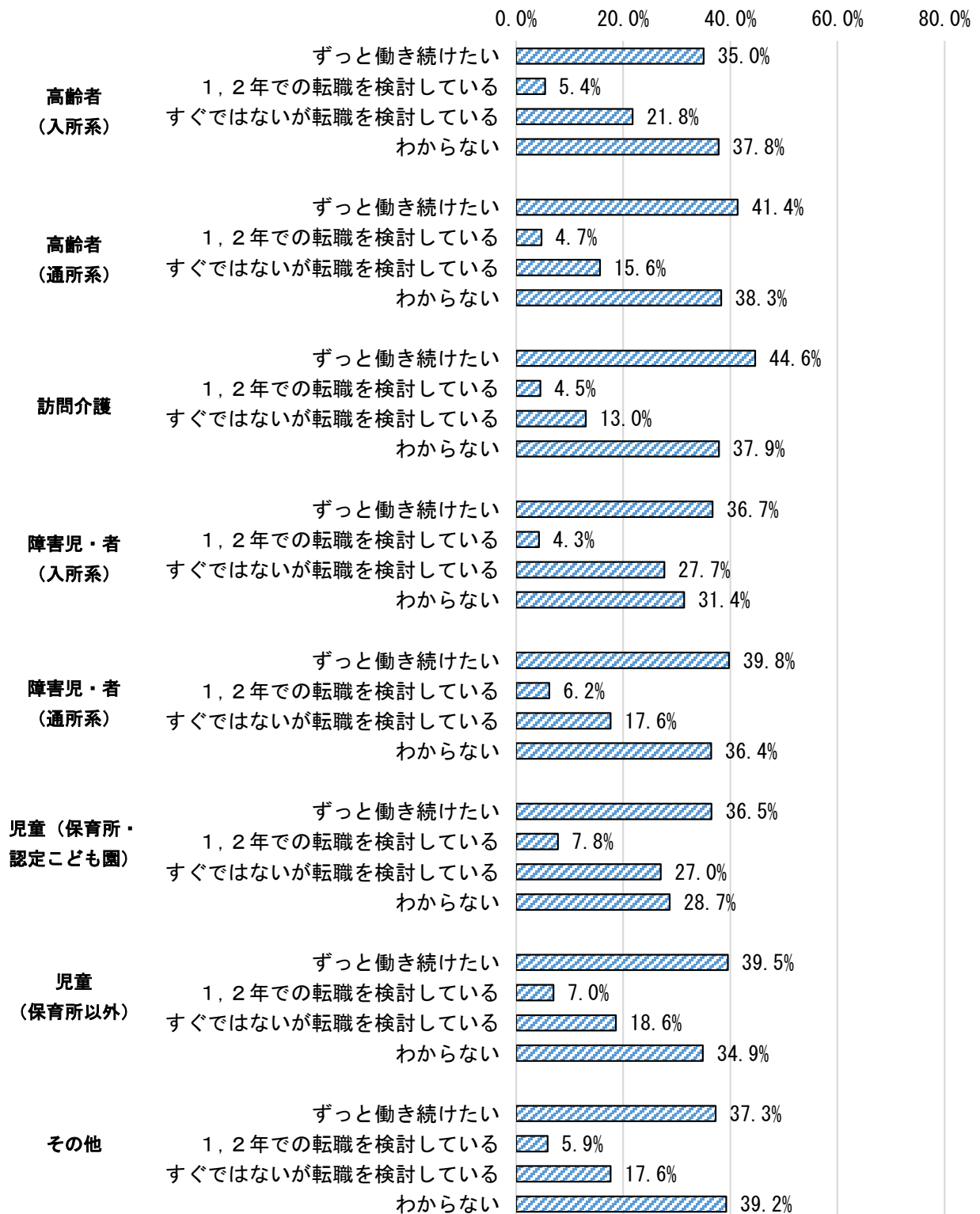
(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	ずっと働きたい	1,2年での転職を検討している	すぐではないが転職を検討している	わからない
全体	2,372	910	134	480	848
	100.0%	38.4%	5.6%	20.2%	35.8%
10代	13	3	0	2	8
	100.0%	23.1%	0.0%	15.4%	61.5%
20代	473	153	39	146	135
	100.0%	32.3%	8.2%	30.9%	28.5%
30代	562	190	36	146	190
	100.0%	33.8%	6.4%	26.0%	33.8%
40代	661	254	32	106	269
	100.0%	38.4%	4.8%	16.0%	40.7%
50代	426	196	18	56	156
	100.0%	46.0%	4.2%	13.1%	36.6%
60代	222	106	8	24	84
	100.0%	47.7%	3.6%	10.8%	37.8%
70代以上	15	8	1	0	6
	100.0%	53.3%	6.7%	0.0%	40.0%



福祉施設・事業所別では、高齢者（入所系）、その他を除くすべての施設・事業所で「ずっと働きたい」の割合が最も高い。高齢者（入所系）、その他は「わからない」の割合が最も高い。

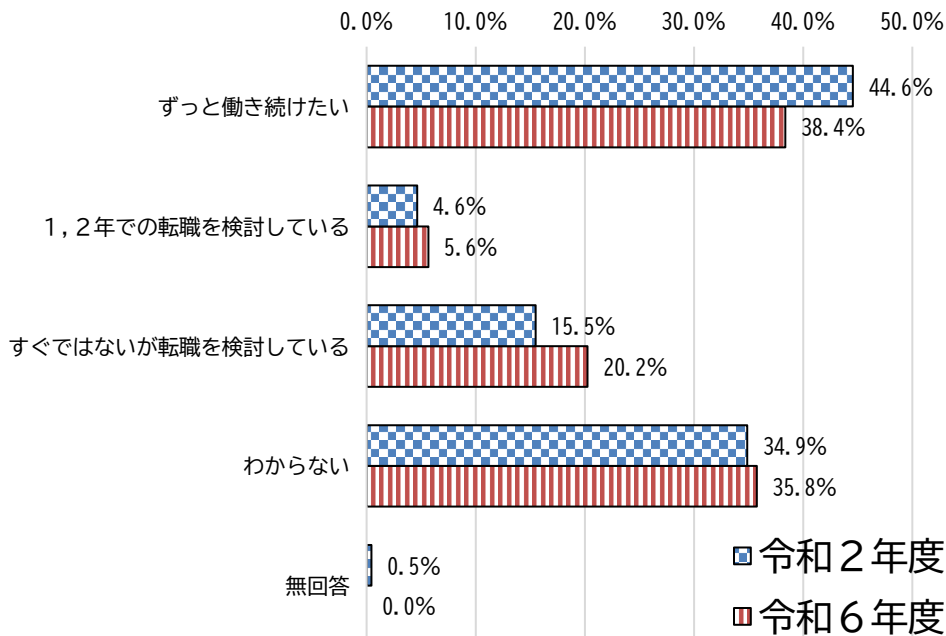
<福祉施設・事業所別集計図表>



(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	ずっと働き 続けたい	1,2年での 転職を検討している	すぐではないが 転職を検討している	わからない
全体	2,372 100.0%	910 38.4%	134 5.6%	480 20.2%	848 35.8%
高齢者（入所系）	648 100.0%	227 35.0%	35 5.4%	141 21.8%	245 37.8%
高齢者（通所系）	486 100.0%	201 41.4%	23 4.7%	76 15.6%	186 38.3%
訪問介護	177 100.0%	79 44.6%	8 4.5%	23 13.0%	67 37.9%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	69 36.7%	8 4.3%	52 27.7%	59 31.4%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	167 39.8%	26 6.2%	74 17.6%	153 36.4%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	131 36.5%	28 7.8%	97 27.0%	103 28.7%
児童（保育所以外）	43 100.0%	17 39.5%	3 7.0%	8 18.6%	15 34.9%
その他	51 100.0%	19 37.3%	3 5.9%	9 17.6%	20 39.2%

◆ 令和2年度との比較

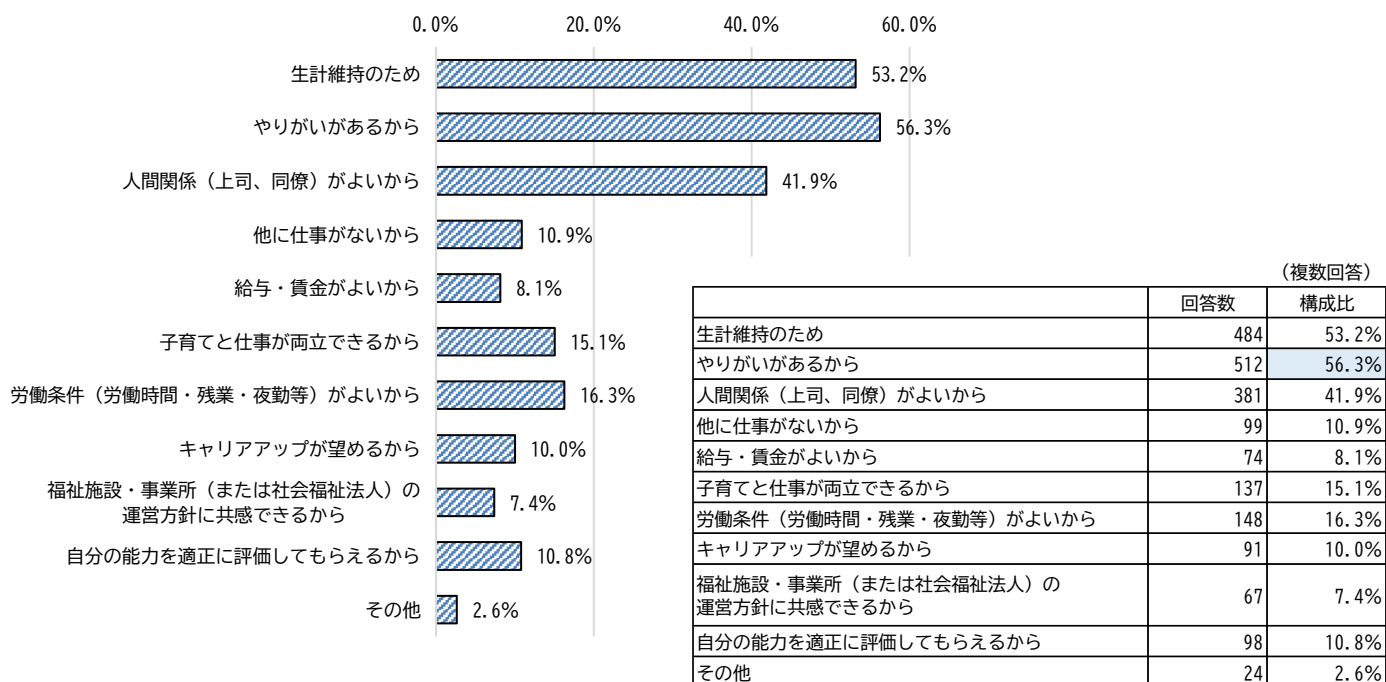


令和2年度の調査結果と比較して、「ずっと働き続けたい」と答えた割合が6.2ポイント減少しており、「すぐではないが転職を検討している」と答えた割合が4.7ポイント増加した。

問 15-1 働き続けたい理由

現在勤務している福祉施設・事業所（または社会福祉法人）で「ずっと働き続けたい」を選んだ方の働き続けたい理由は、「やりがいがあるから」が56.3%で割合が最も高く、次いで「生計維持のため」（53.2%）が高い。

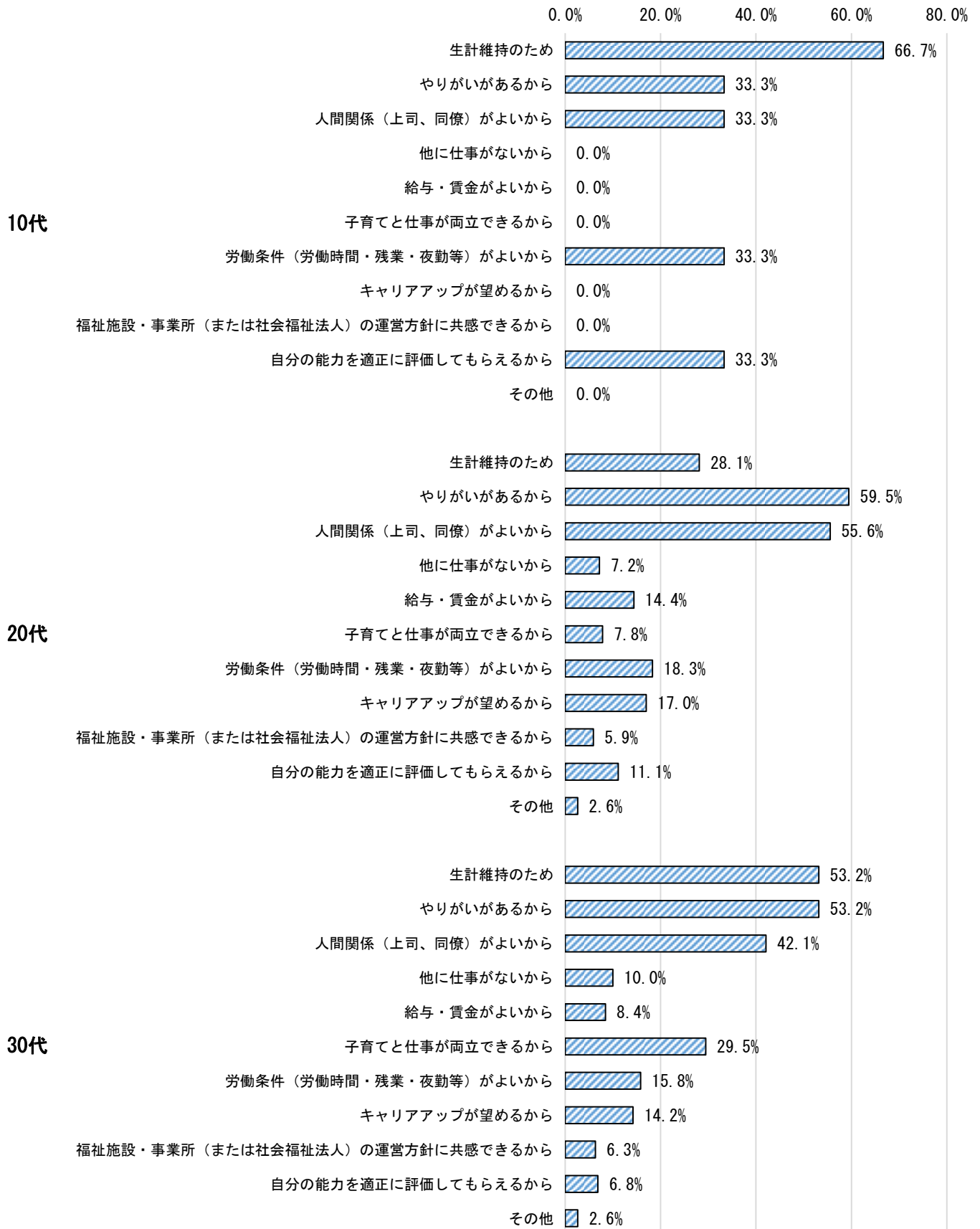
<単純集計図表>

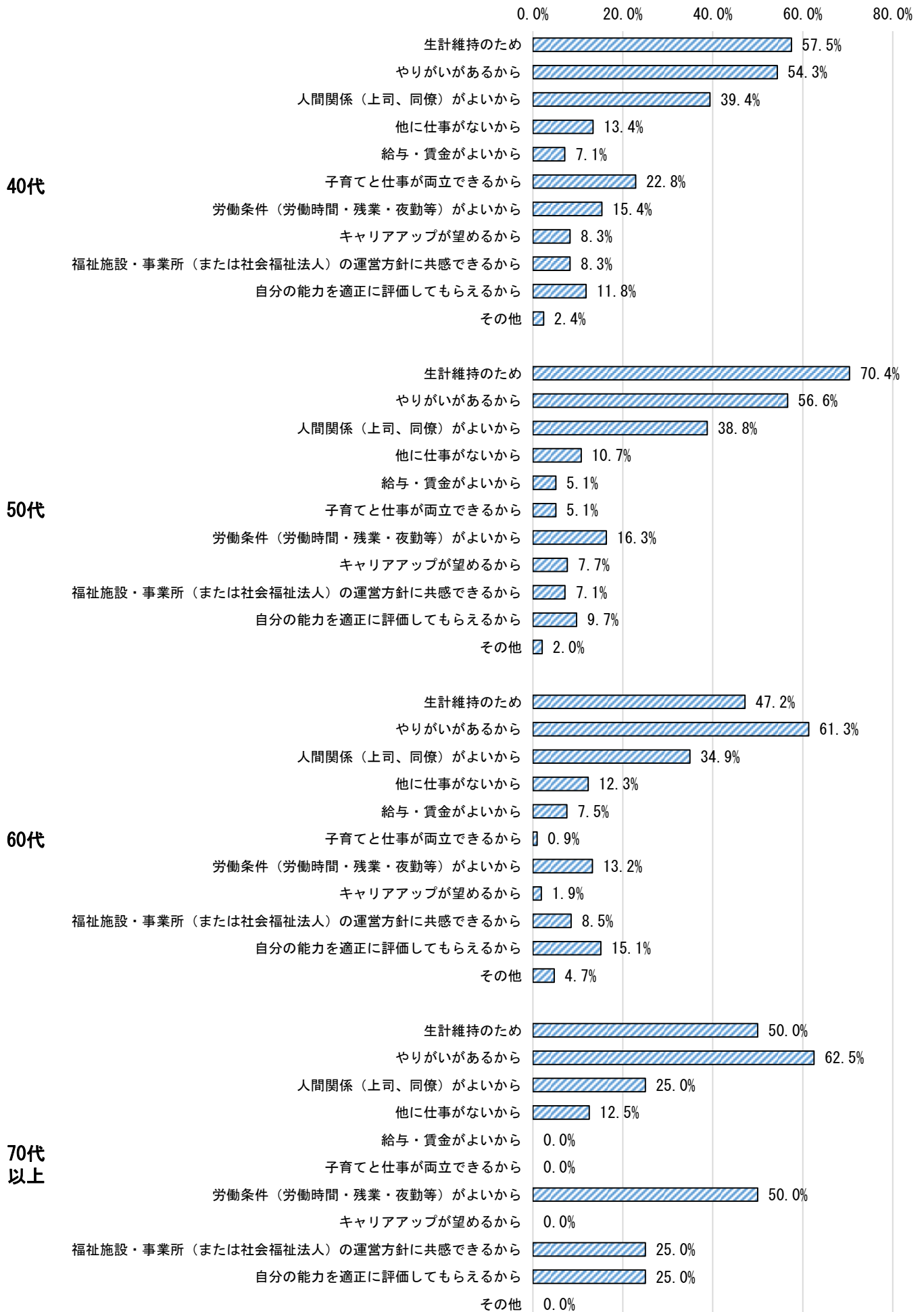


年代別では、10代、40代、50代は「生計維持のため」、20代、60代以上は「やりがいがあるから」の割合が最も高い。

<年代別集計図表>

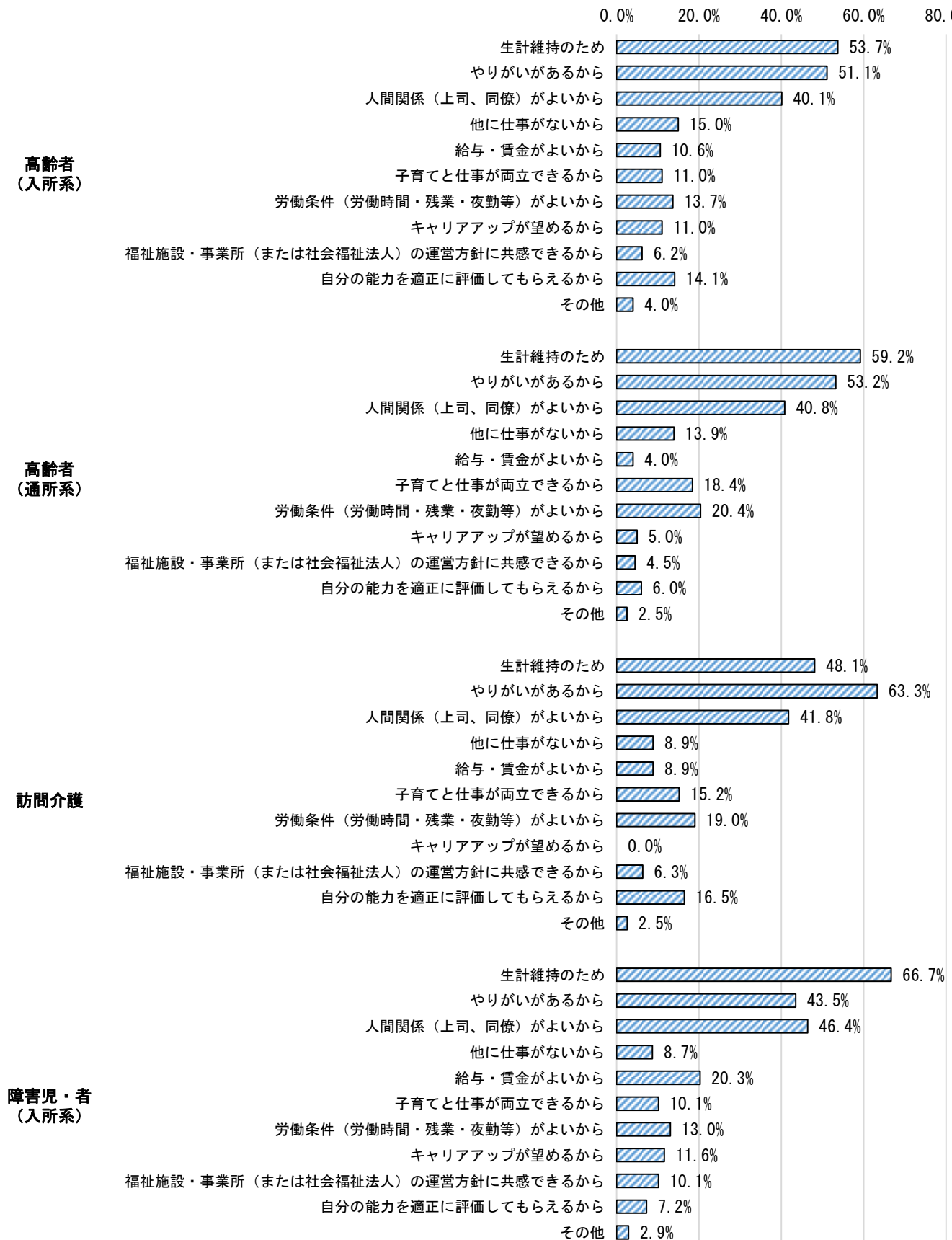
		(複数回答)										
上段：回答数 下段：構成比	合計	生計維持のため	やりがいがあるから	人間関係（上司、同僚）がよいから	他に仕事がないから	給与・賃金が良いから	子育てと仕事が両立できるから	労働条件（労働時間・残業・夜勤等）が良いから	キャリアアップが望めるから	福祉施設・事業所（または社会福祉法人）の運営方針に共感できるから	自分の能力を適正に評価してもらえるから	その他
全体	910	484	512	381	99	74	137	148	91	67	98	24
	100.0%	53.2%	56.3%	41.9%	10.9%	8.1%	15.1%	16.3%	10.0%	7.4%	10.8%	2.6%
10代	3	2	1	1	0	0	0	1	0	0	1	0
	100.0%	66.7%	33.3%	33.3%	0.0%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%	0.0%	33.3%	0.0%
20代	153	43	91	85	11	22	12	28	26	9	17	4
	100.0%	28.1%	59.5%	55.6%	7.2%	14.4%	7.8%	18.3%	17.0%	5.9%	11.1%	2.6%
30代	190	101	101	80	19	16	56	30	27	12	13	5
	100.0%	53.2%	53.2%	42.1%	10.0%	8.4%	29.5%	15.8%	14.2%	6.3%	6.8%	2.6%
40代	254	146	138	100	34	18	58	39	21	21	30	6
	100.0%	57.5%	54.3%	39.4%	13.4%	7.1%	22.8%	15.4%	8.3%	8.3%	11.8%	2.4%
50代	196	138	111	76	21	10	10	32	15	14	19	4
	100.0%	70.4%	56.6%	38.8%	10.7%	5.1%	5.1%	16.3%	7.7%	7.1%	9.7%	2.0%
60代	106	50	65	37	13	8	1	14	2	9	16	5
	100.0%	47.2%	61.3%	34.9%	12.3%	7.5%	0.9%	13.2%	1.9%	8.5%	15.1%	4.7%
70代以上	8	4	5	2	1	0	0	4	0	2	2	0
	100.0%	50.0%	62.5%	25.0%	12.5%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	25.0%	25.0%	0.0%

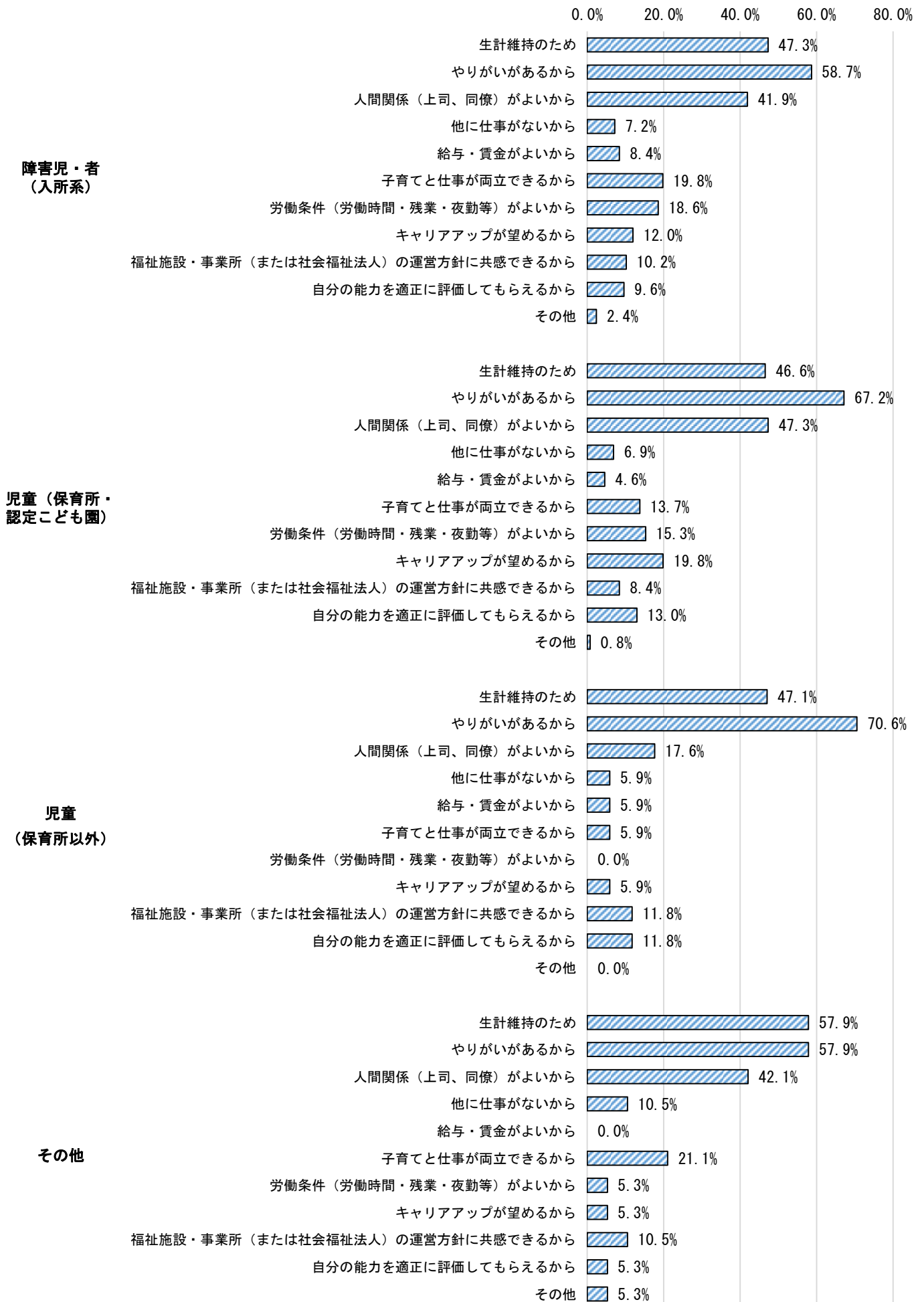




福祉施設・事業所別では、高齢者（入所系・通所系）、障害児・者（入所系）は「生計維持のため」、訪問介護、障害児・者（通所系）、児童（保育所・認定こども園）、児童（保育所以外）は「やりがいがあるから」の割合が最も高い。

<福祉施設・事業所別集計図表>

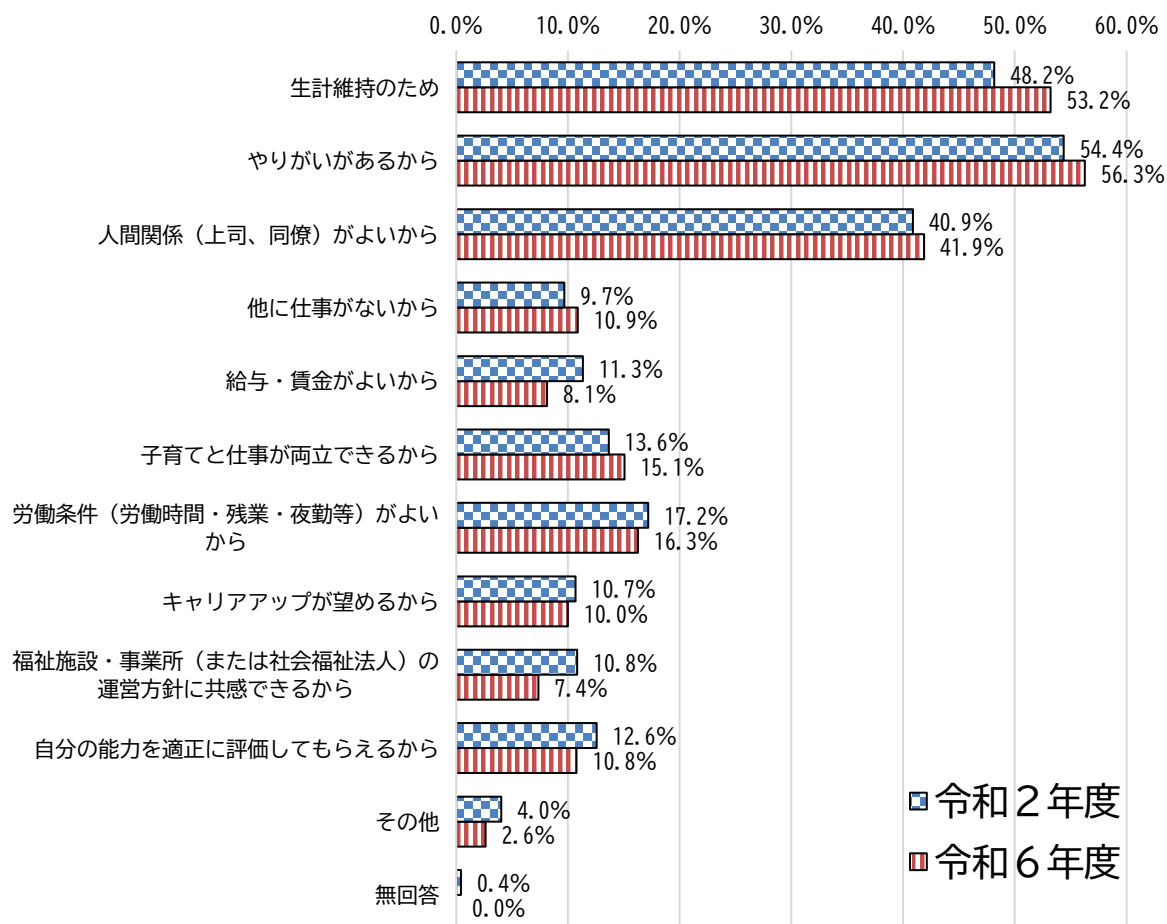




(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	生計維持の ため	やりがいがあるから	人間関係 (上司、同僚)がよいから	他に仕事がないから	給与・賃金 がよいから	子育てと仕事 が両立できるから	労働条件 (労働時間・残業・夜勤等)がよいから	キャリア アップが望めるから	福祉施設・事業所(または社会福祉法人)の運営方針に共感できるから	自分の能力を適正に評価してもらえるから	その他
全体	910 100.0%	484 53.2%	512 56.3%	381 41.9%	99 10.9%	74 8.1%	137 15.1%	148 16.3%	91 10.0%	67 7.4%	98 10.8%	24 2.6%
高齢者 (入所系)	227 100.0%	122 53.7%	116 51.1%	91 40.1%	34 15.0%	24 10.6%	25 11.0%	31 13.7%	25 11.0%	14 6.2%	32 14.1%	9 4.0%
高齢者 (通所系)	201 100.0%	119 59.2%	107 53.2%	82 40.8%	28 13.9%	8 4.0%	37 18.4%	41 20.4%	10 5.0%	9 4.5%	12 6.0%	5 2.5%
訪問介護	79 100.0%	38 48.1%	50 63.3%	33 41.8%	7 8.9%	7 8.9%	12 15.2%	15 19.0%	0 0.0%	5 6.3%	13 16.5%	2 2.5%
障害児・者 (入所系)	69 100.0%	46 66.7%	30 43.5%	32 46.4%	6 8.7%	14 20.3%	7 10.1%	9 13.0%	8 11.6%	7 10.1%	5 7.2%	2 2.9%
障害児・者 (通所系)	167 100.0%	79 47.3%	98 58.7%	70 41.9%	12 7.2%	14 8.4%	33 19.8%	31 18.6%	20 12.0%	17 10.2%	16 9.6%	4 2.4%
児童(保育所・認定こども園)	131 100.0%	61 46.6%	88 67.2%	62 47.3%	9 6.9%	6 4.6%	18 13.7%	20 15.3%	26 19.8%	11 8.4%	17 13.0%	1 0.8%
児童(保育所以外)	17 100.0%	8 47.1%	12 70.6%	3 17.6%	1 5.9%	1 5.9%	1 5.9%	0 0.0%	1 5.9%	2 11.8%	2 11.8%	0 0.0%
その他	19 100.0%	11 57.9%	11 57.9%	8 42.1%	2 10.5%	0 0.0%	4 21.1%	1 5.3%	1 5.3%	2 10.5%	1 5.3%	1 5.3%

◆ 令和2年度との比較

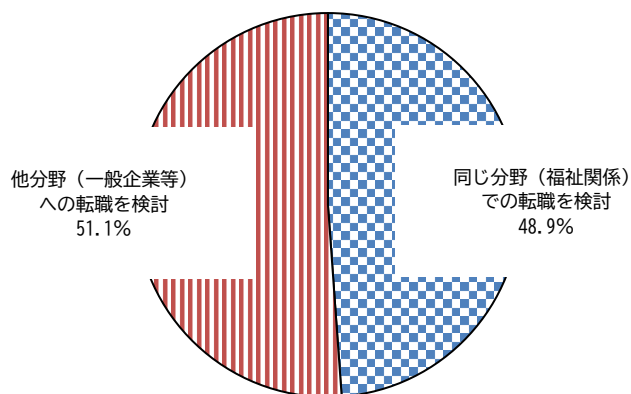


令和2年度の調査結果と比較して、「生計維持のため」が5.0ポイント、「やりがいがあるから」が1.9ポイント、「人間関係(上司、同僚)がよいから」が1.0ポイント増加した。

問 15-2 転職先として考える分野

現在勤務している福祉施設・事業所（または社会福祉法人）で「1，2年での転職を検討している」または「すぐではないが転職を検討している」を選んだ方が転職先として考えている分野は、「同じ分野（福祉関係）での転職を検討」が48.9%、「他分野（一般企業等）への転職を検討」が51.1%である。

<単純集計図表>

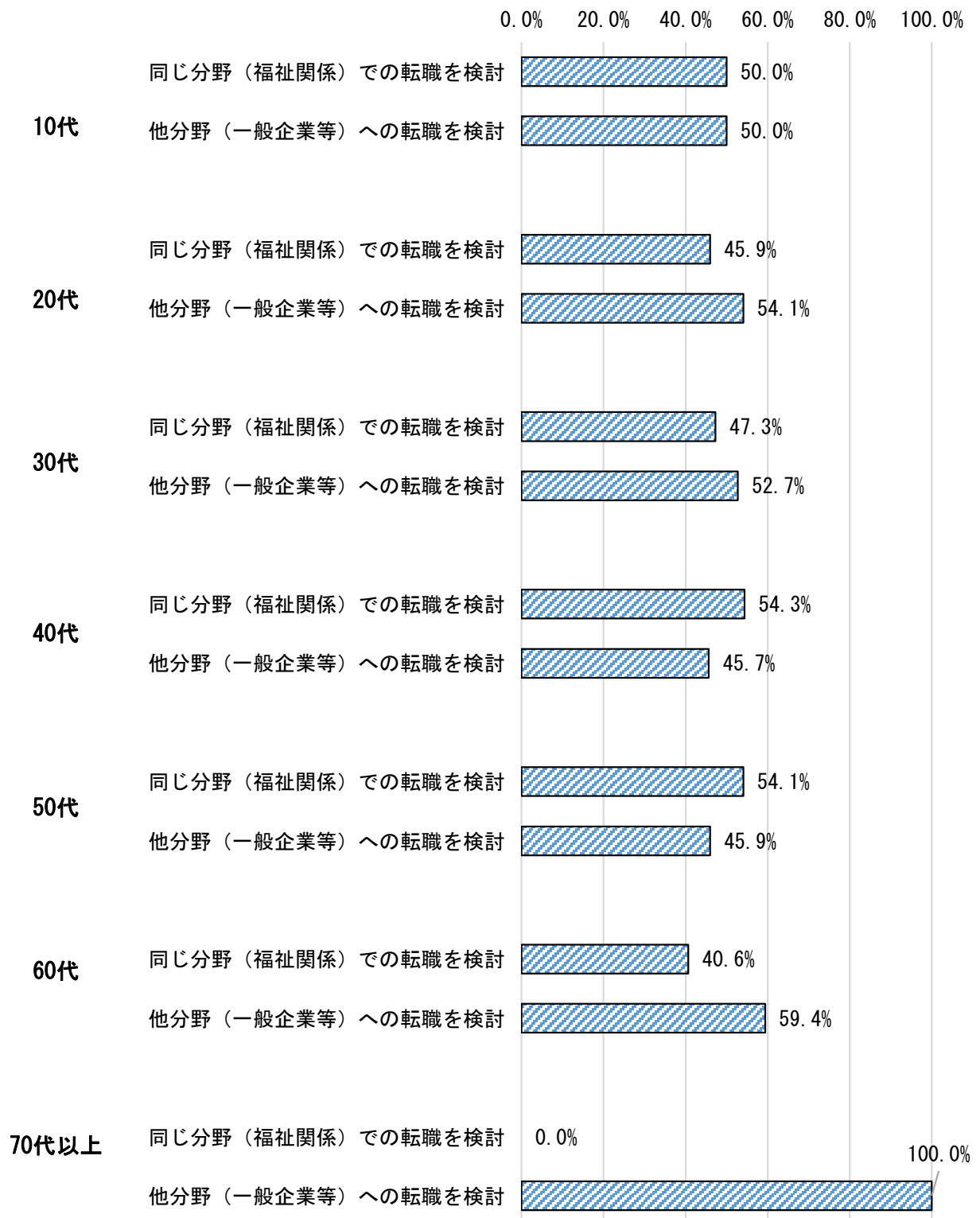


(単回答)		
	回答数	構成比
同じ分野（福祉関係）での転職を検討	300	48.9%
他分野（一般企業等）への転職を検討	314	51.1%

年代別では、20代、30代、60代以上は「他分野（一般企業等）への転職を検討」が「同じ分野（福祉関係）での転職を検討」を上回っているが、40代、50代は「同じ分野（福祉関係）での転職を検討」が「他分野（一般企業等）への転職を検討」を上回っている。

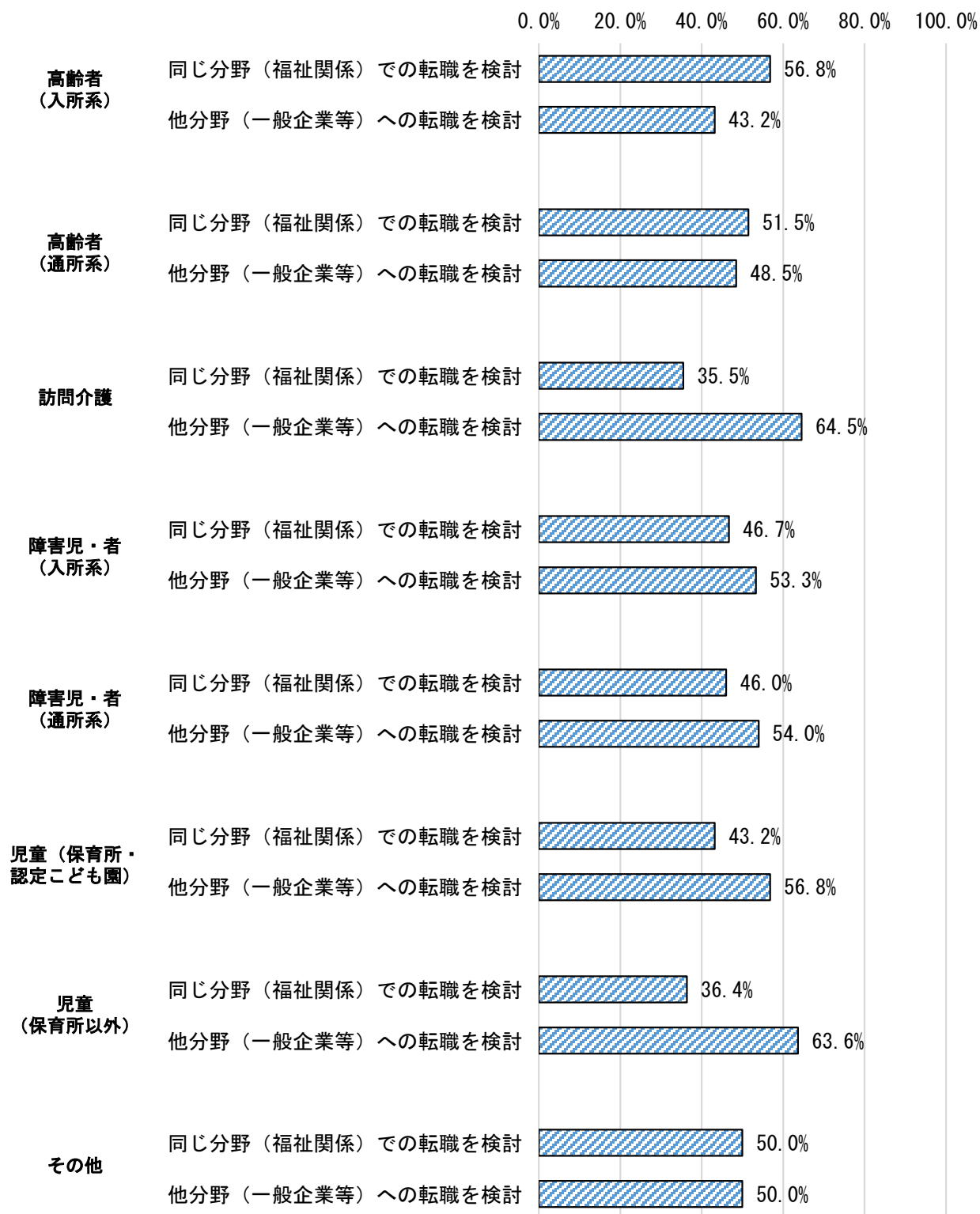
<年代別集計図表>

(単回答)			
上段：回答数 下段：構成比	合計	同じ分野（福祉関係）での転職を検討	他分野（一般企業等）への転職を検討
全体	614 100.0%	300 48.9%	314 51.1%
10代	2 100.0%	1 50.0%	1 50.0%
20代	185 100.0%	85 45.9%	100 54.1%
30代	182 100.0%	86 47.3%	96 52.7%
40代	138 100.0%	75 54.3%	63 45.7%
50代	74 100.0%	40 54.1%	34 45.9%
60代	32 100.0%	13 40.6%	19 59.4%
70代以上	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%



福祉施設・事業所別では、高齢者（入所系・通所系）、その他を除くすべての施設・事業所で「他分野（一般企業等）への転職を検討」が「同じ分野（福祉関係）での転職を検討」を上回っている。

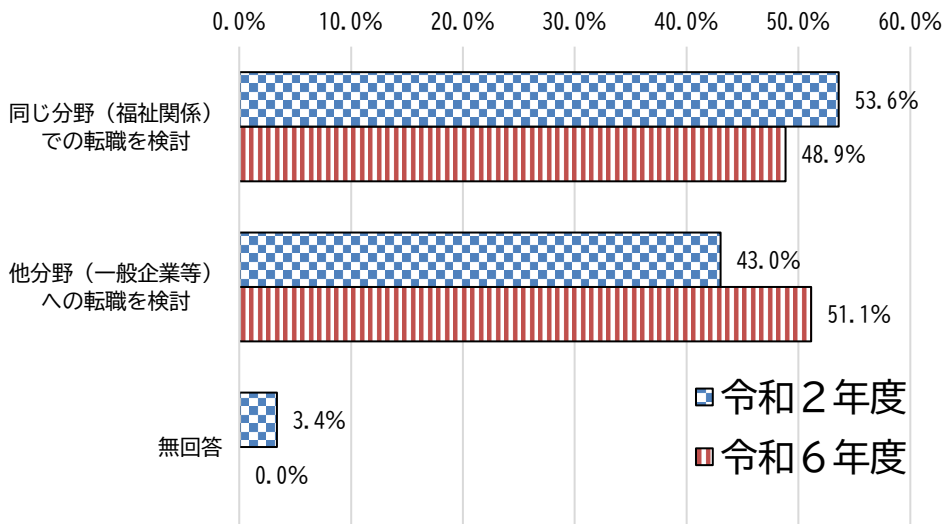
<福祉施設・事業所別集計図表>



(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	同じ分野 (福祉関係) での転職を 検討	他分野（一 般企業等） への転職を 検討
全体	614 100.0%	300 48.9%	314 51.1%
高齢者（入所系）	176 100.0%	100 56.8%	76 43.2%
高齢者（通所系）	99 100.0%	51 51.5%	48 48.5%
訪問介護	31 100.0%	11 35.5%	20 64.5%
障害児・者（入所系）	60 100.0%	28 46.7%	32 53.3%
障害児・者（通所系）	100 100.0%	46 46.0%	54 54.0%
児童（保育所・認定こども園）	125 100.0%	54 43.2%	71 56.8%
児童（保育所以外）	11 100.0%	4 36.4%	7 63.6%
その他	12 100.0%	6 50.0%	6 50.0%

◆ 令和2年度との比較

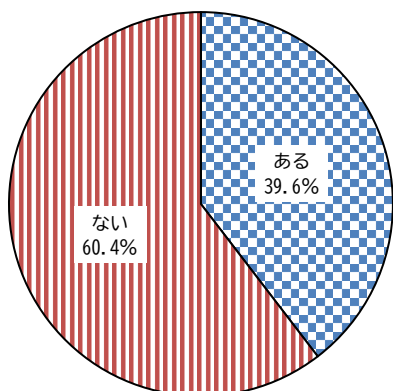


令和2年度の調査結果と比較して、「同じ分野（福祉関係）での転職を検討」と答えた割合が4.7ポイント減少し、「他分野（一般企業等）への転職を検討」と答えた割合が8.1ポイント増加した。

問 16 過去に福祉施設・事業所を辞めたことがあるか

過去に福祉施設・事業所を辞めたことがあるかは、「ある」が 39.6%、「ない」が 60.4%である。

<単純集計図表>



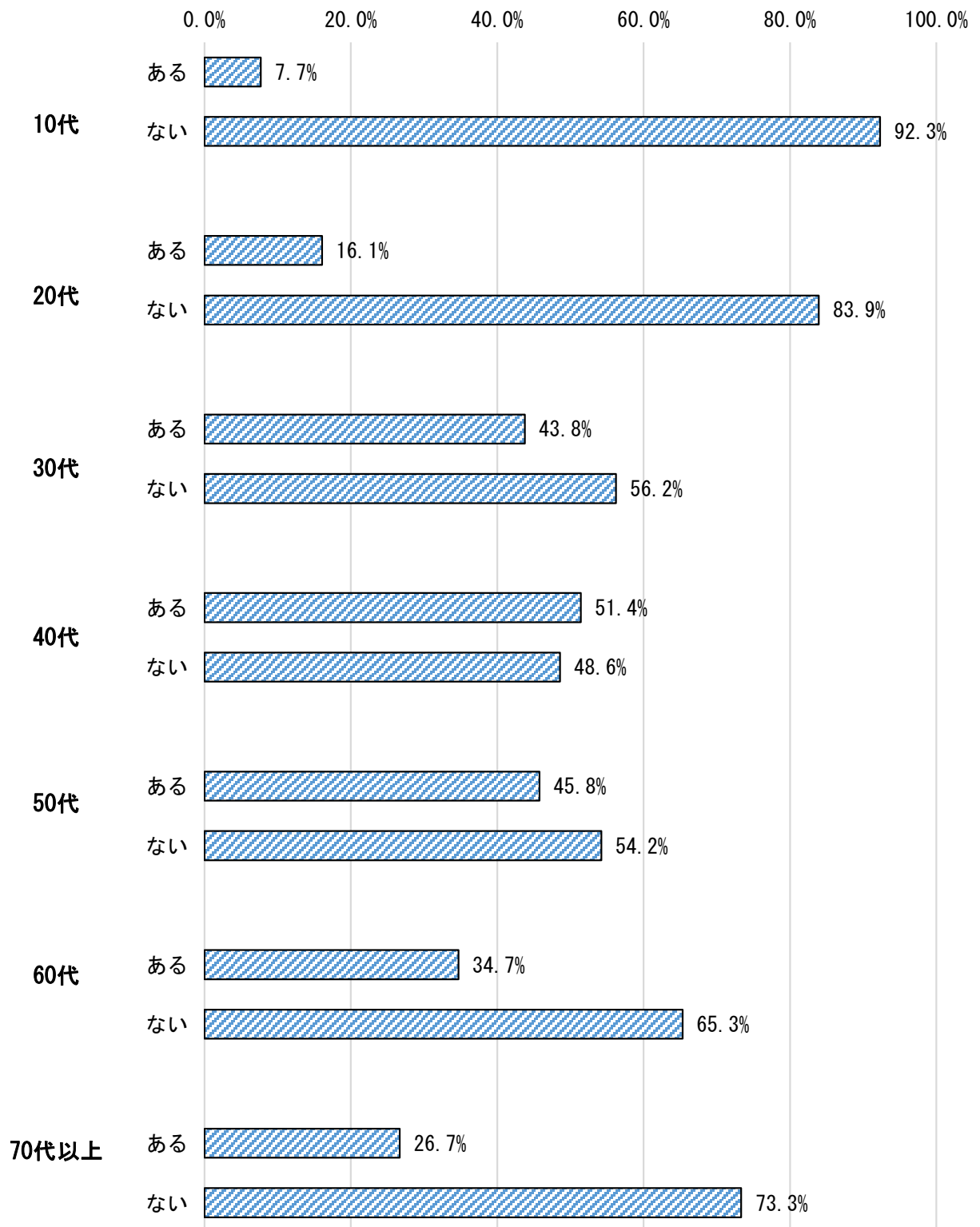
(単回答)		
	回答数	構成比
ある	939	39.6%
ない	1,433	60.4%

年代別では、40代を除くすべての年代で「ない」が「ある」を上回っている。40代は「ある」が「ない」を上回り、5割を超えている。また、30代、50代も「ある」の割合が比較的高く、4割を超えている。

<年代別集計図表>

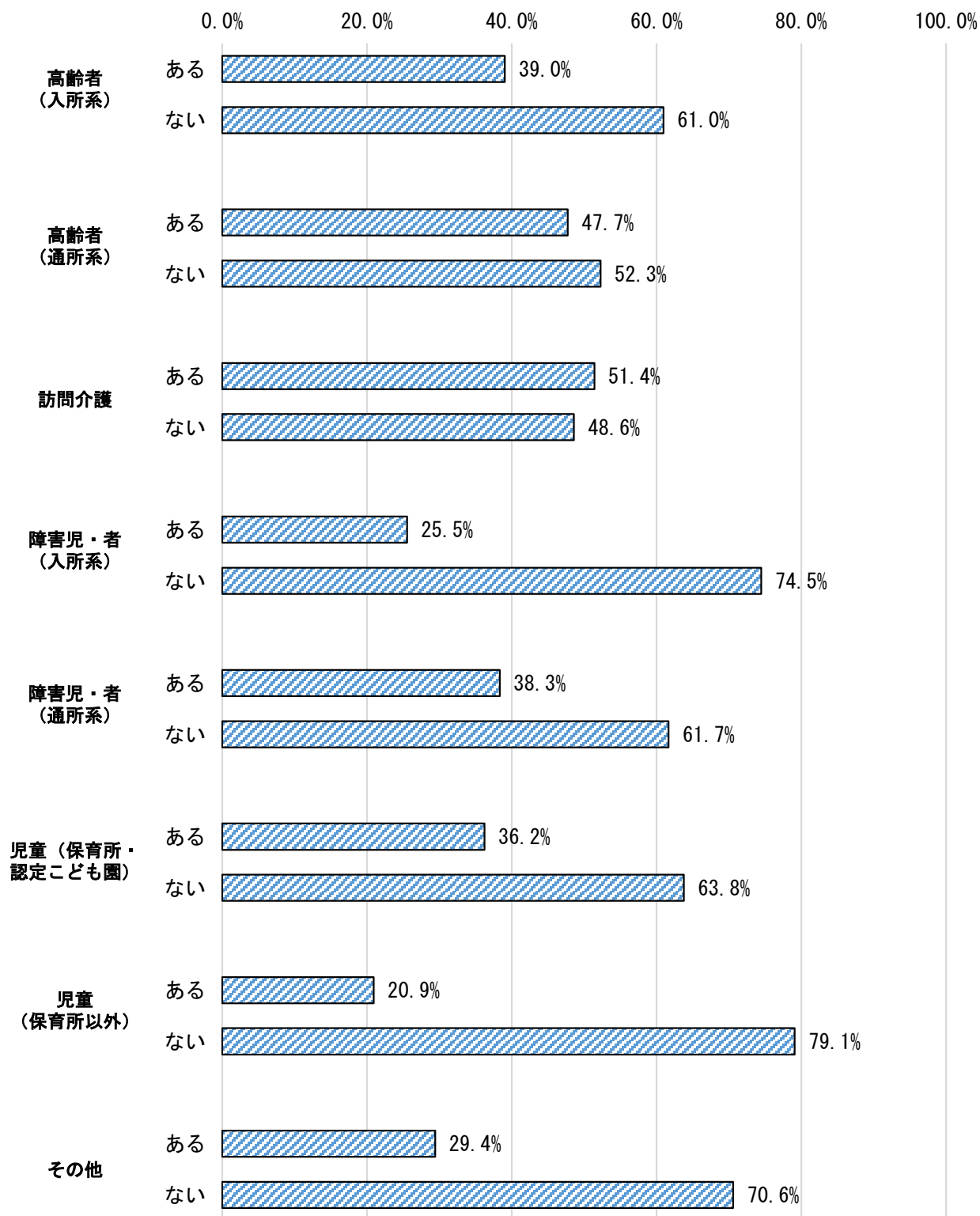
(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	ある	ない
全体	2,372 100.0%	939 39.6%	1,433 60.4%
10代	13 100.0%	1 7.7%	12 92.3%
20代	473 100.0%	76 16.1%	397 83.9%
30代	562 100.0%	246 43.8%	316 56.2%
40代	661 100.0%	340 51.4%	321 48.6%
50代	426 100.0%	195 45.8%	231 54.2%
60代	222 100.0%	77 34.7%	145 65.3%
70代以上	15 100.0%	4 26.7%	11 73.3%



福祉施設・事業所別では、訪問介護を除くすべての福祉施設・事業所で「ない」が「ある」を上回っている。

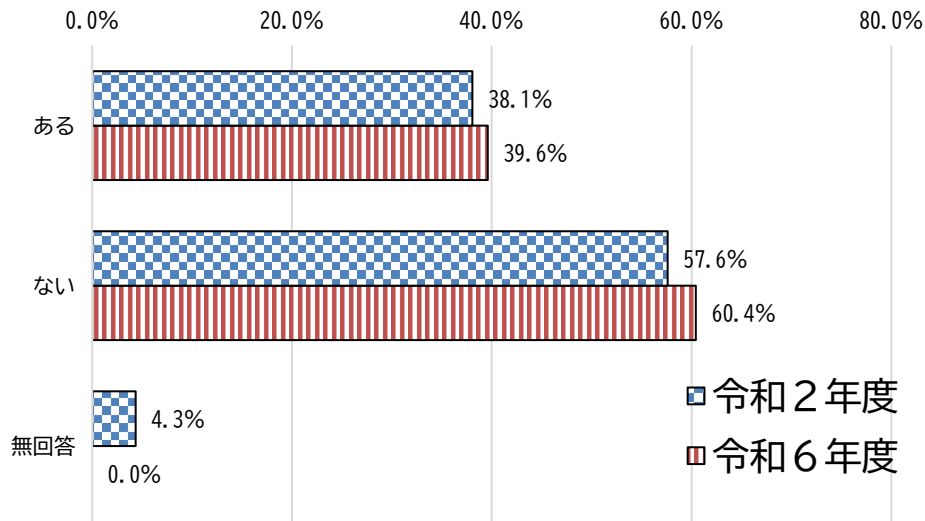
<福祉施設・事業所別集計図表>



(単回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	ある	ない
全体	2,372 100.0%	939 39.6%	1,433 60.4%
高齢者（入所系）	648 100.0%	253 39.0%	395 61.0%
高齢者（通所系）	486 100.0%	232 47.7%	254 52.3%
訪問介護	177 100.0%	91 51.4%	86 48.6%
障害児・者（入所系）	188 100.0%	48 25.5%	140 74.5%
障害児・者（通所系）	420 100.0%	161 38.3%	259 61.7%
児童（保育所・認定こども園）	359 100.0%	130 36.2%	229 63.8%
児童（保育所以外）	43 100.0%	9 20.9%	34 79.1%
その他	51 100.0%	15 29.4%	36 70.6%

◆ 令和2年度との比較

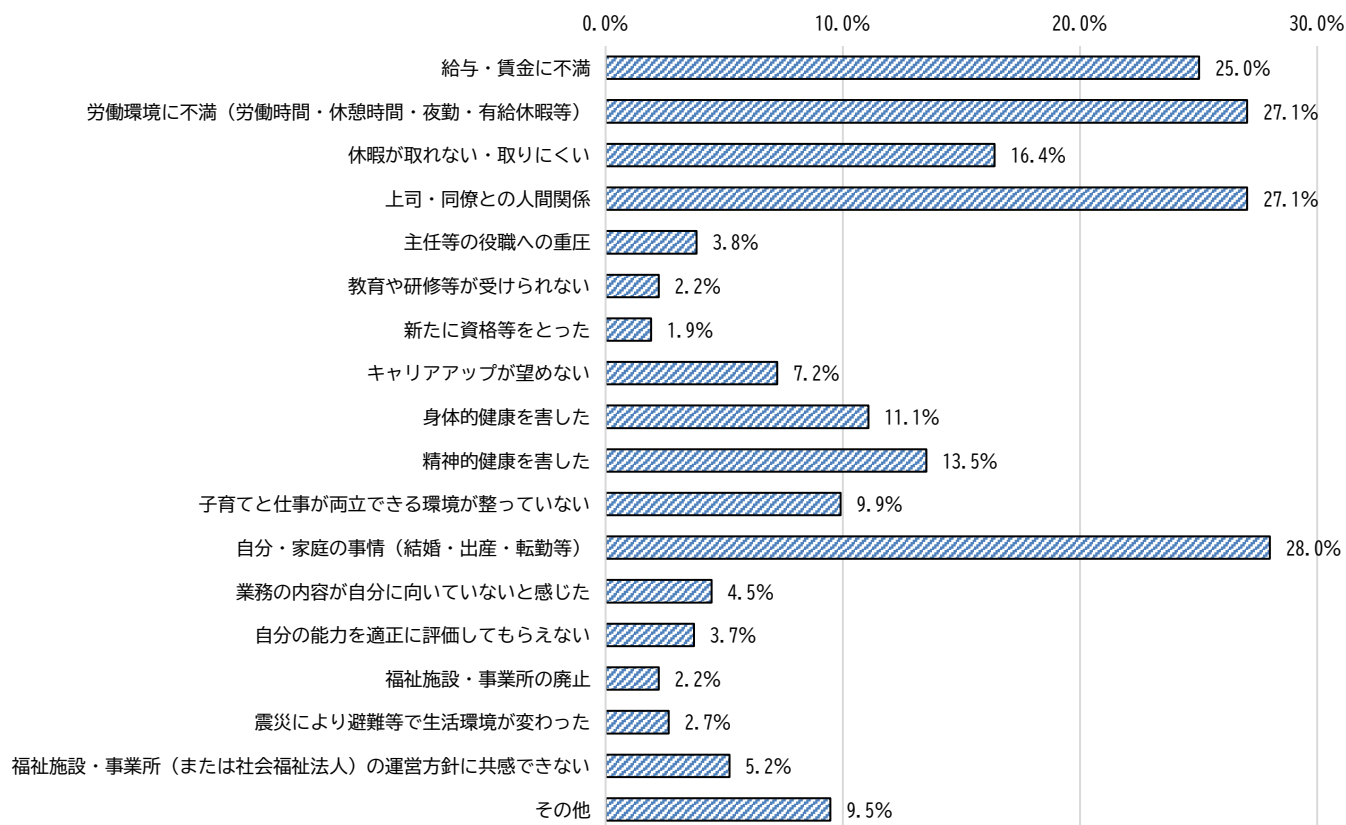


令和2年度の調査結果と大きな差はみられなかった。

問 16-1 辞めた理由

過去に福祉施設・事業所を辞めたことがあるかで「ある」を選んだ方の辞めた理由は、「自分・家庭の事情（結婚・出産・転勤等）」が28.0%で割合が最も高く、次いで「労働環境に不満（労働時間・休憩時間・夜勤・有給休暇等）」および「上司・同僚との人間関係」（27.1%）、「給与・賃金に不満」（25.0%）と続いている。

<単純集計図表>



(複数回答)

	回答数	構成比
給与・賃金に不満	235	25.0%
労働環境に不満（労働時間・休憩時間・夜勤・有給休暇等）	254	27.1%
休暇が取れない・取りにくい	154	16.4%
上司・同僚との人間関係	254	27.1%
主任等の役職への重圧	36	3.8%
教育や研修等が受けられない	21	2.2%
新たに資格等をとった	18	1.9%
キャリアアップが望めない	68	7.2%
身体的健康を害した	104	11.1%
精神的健康を害した	127	13.5%
子育てと仕事が両立できる環境が整っていない	93	9.9%
自分・家庭の事情（結婚・出産・転勤等）	263	28.0%
業務の内容が自分に向いていないと感じた	42	4.5%
自分の能力を適正に評価してもらえない	35	3.7%
福祉施設・事業所の廃止	21	2.2%
震災により避難等で生活環境が変わった	25	2.7%
福祉施設・事業所（または社会福祉法人）の運営方針に共感できない	49	5.2%
その他	89	9.5%

年代別では、20代、50代、60代は「上司・同僚との人間関係」、30代、70代以上は「自分・家庭の事情（結婚・出産・転勤等）」、40代は「労働環境に不満（労働時間・休憩時間・夜勤・有給休暇等）」の割合が最も高い。

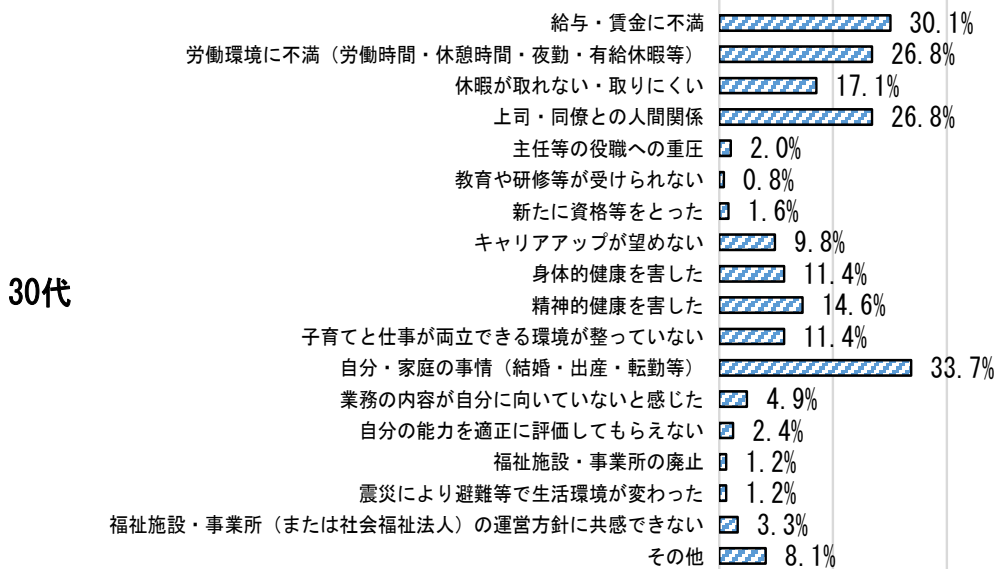
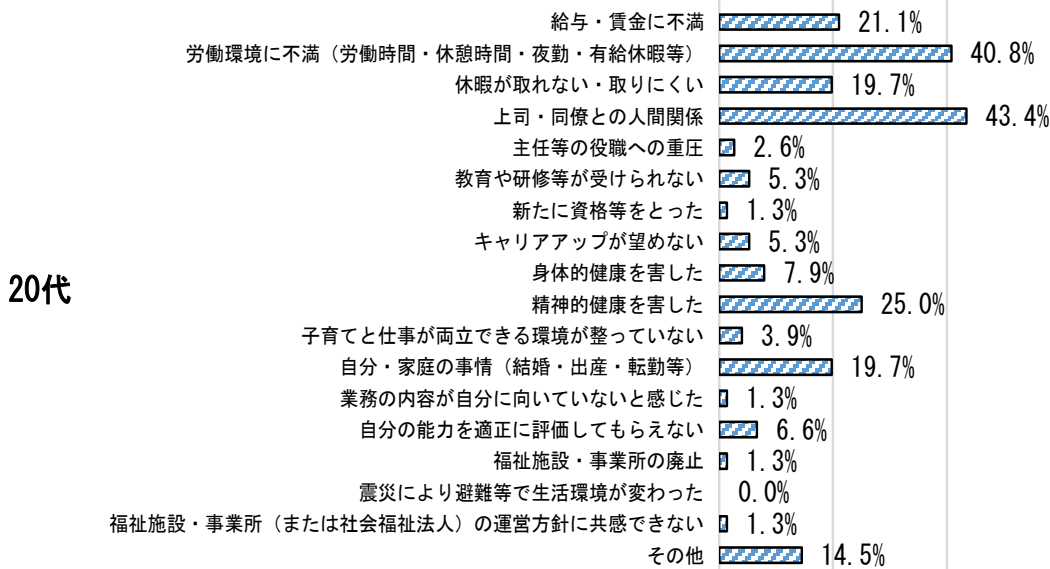
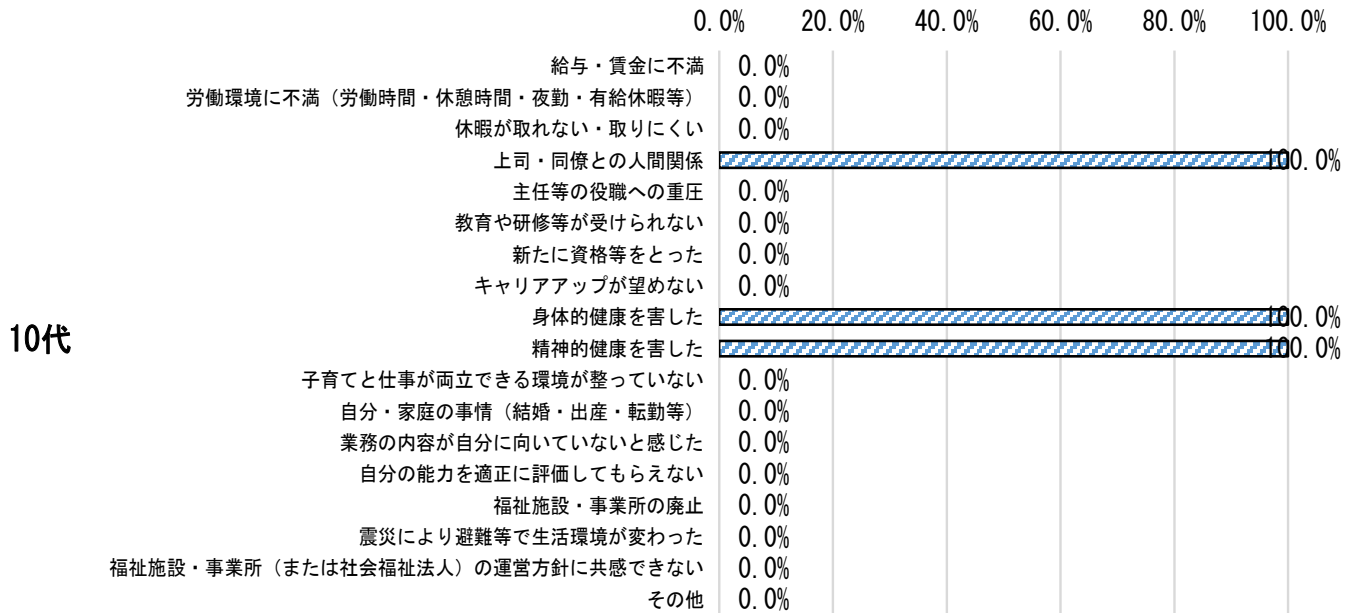
<年代別集計図表>

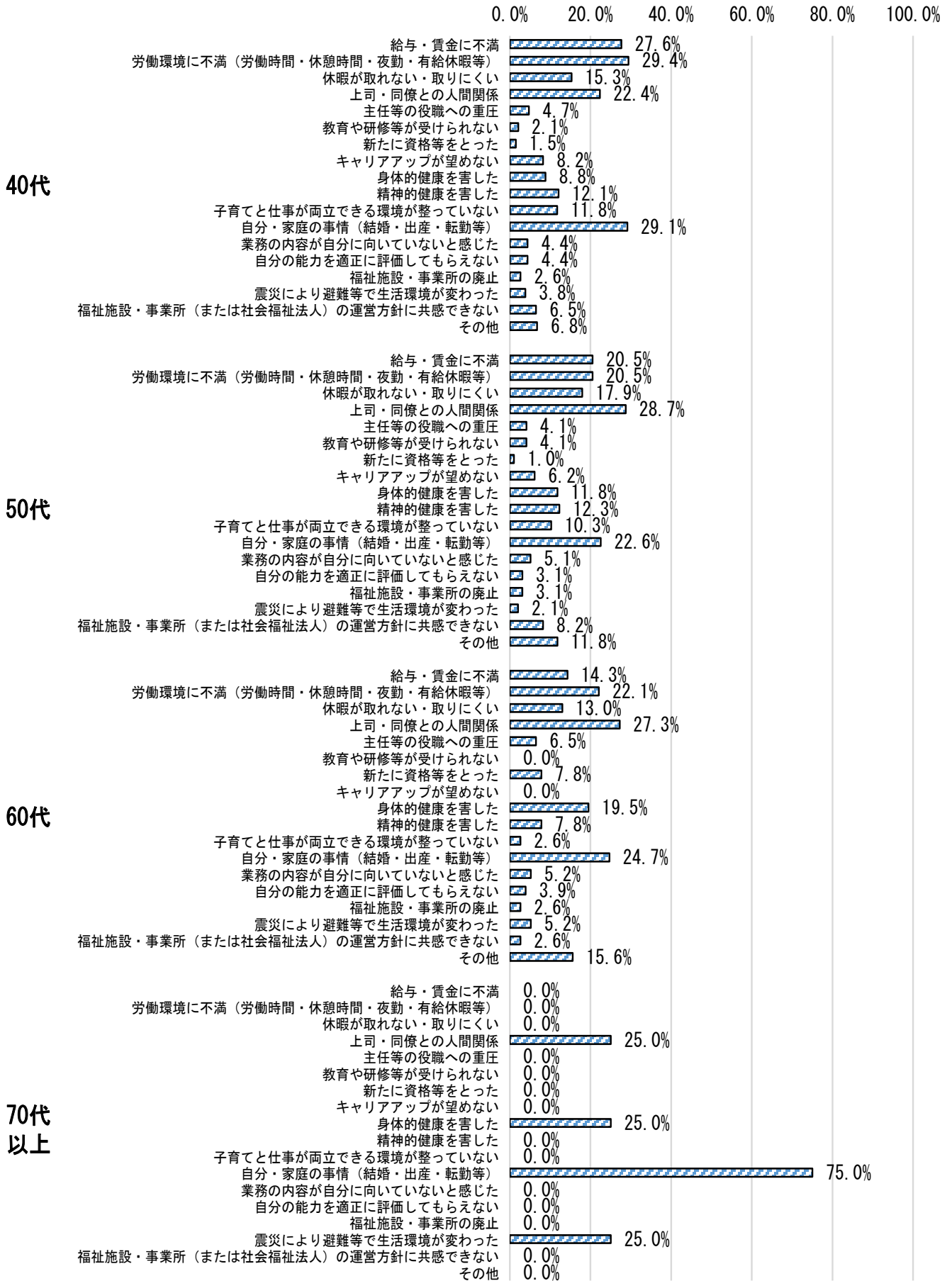
(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	給与・賃金に不満	労働環境に不満（労働時間・休憩時間・夜勤・有給休暇等）	休暇が取れない・取りにくい	上司・同僚との人間関係	主任等の役職への重圧	教育や研修等が受けられない	新たに資格等をとった	キャリアアップが望めない	身体的健康を書した
全体	939 100.0%	235 25.0%	254 27.1%	154 16.4%	254 27.1%	36 3.8%	21 2.2%	18 1.9%	68 7.2%	104 11.1%
10代	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%
20代	76 100.0%	16 21.1%	31 40.8%	15 19.7%	33 43.4%	2 2.6%	4 5.3%	1 1.3%	4 5.3%	6 7.9%
30代	246 100.0%	74 30.1%	66 26.8%	42 17.1%	66 26.8%	5 2.0%	2 0.8%	4 1.6%	24 9.8%	28 11.4%
40代	340 100.0%	94 27.6%	100 29.4%	52 15.3%	76 22.4%	16 4.7%	7 2.1%	5 1.5%	28 8.2%	30 8.8%
50代	195 100.0%	40 20.5%	40 20.5%	35 17.9%	56 28.7%	8 4.1%	8 4.1%	2 1.0%	12 6.2%	23 11.8%
60代	77 100.0%	11 14.3%	17 22.1%	10 13.0%	21 27.3%	5 6.5%	0 0.0%	6 7.8%	0 0.0%	15 19.5%
70代以上	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%

(複数回答)

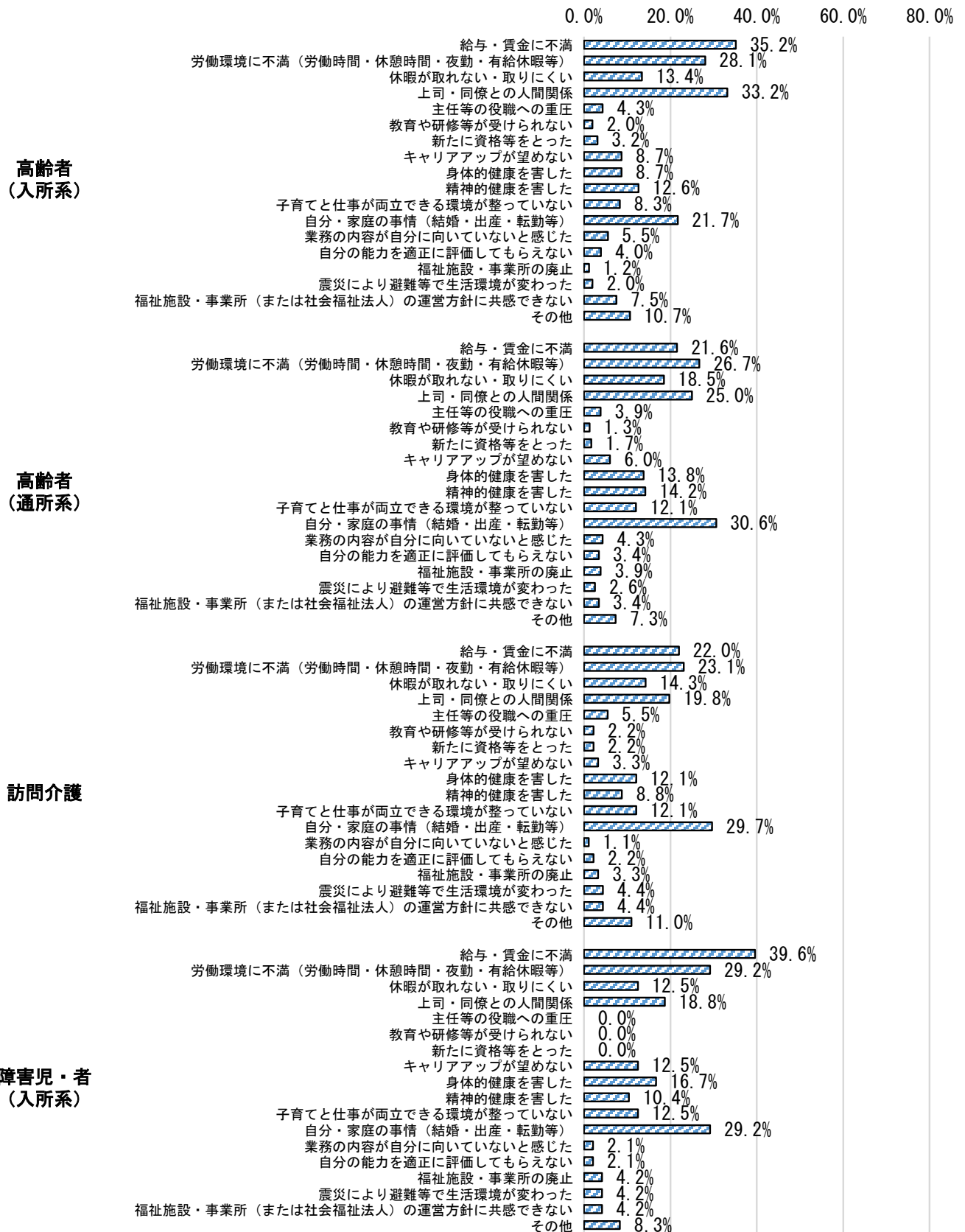
上段：回答数 下段：構成比	合計	精神的健康を書した	子育てと仕事が両立できる環境が整っていない	自分・家庭の事情（結婚・出産・転勤等）	業務の内容が自分に向いていないと感じた	自分の能力を適正に評価してもらえない	福祉施設・事業所の廃止	震災により避難等で生活環境が変わった	福祉施設・事業所（または社会福祉法人）の運営方針に共感できない	その他
全体	939 100.0%	127 13.5%	93 9.9%	263 28.0%	42 4.5%	35 3.7%	21 2.2%	25 2.7%	49 5.2%	89 9.5%
10代	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
20代	76 100.0%	19 25.0%	3 3.9%	15 19.7%	1 1.3%	5 6.6%	1 1.3%	0 0.0%	1 1.3%	11 14.5%
30代	246 100.0%	36 14.6%	28 11.4%	83 33.7%	12 4.9%	6 2.4%	3 1.2%	3 1.2%	8 3.3%	20 8.1%
40代	340 100.0%	41 12.1%	40 11.8%	99 29.1%	15 4.4%	15 4.4%	9 2.6%	13 3.8%	22 6.5%	23 6.8%
50代	195 100.0%	24 12.3%	20 10.3%	44 22.6%	10 5.1%	6 3.1%	6 3.1%	4 2.1%	16 8.2%	23 11.8%
60代	77 100.0%	6 7.8%	2 2.6%	19 24.7%	4 5.2%	3 3.9%	2 2.6%	4 5.2%	2 2.6%	12 15.6%
70代以上	4 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 75.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 25.0%	0 0.0%	0 0.0%





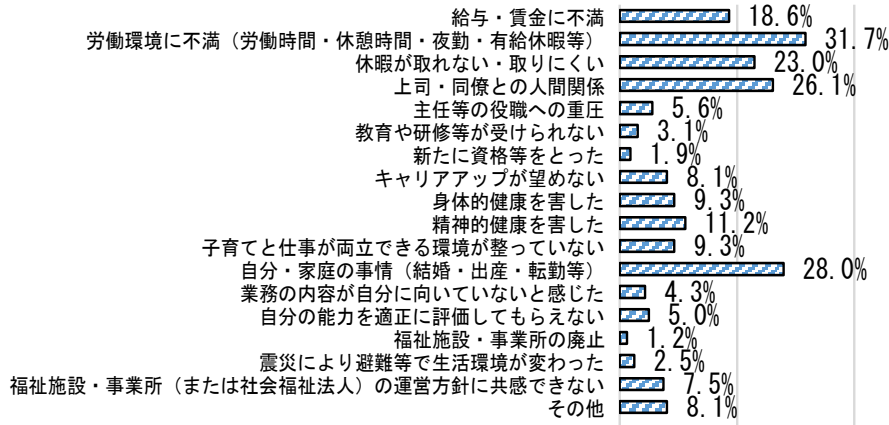
福祉施設・事業所別では、高齢者（通所系）、訪問介護、児童（保育所・認定こども園）は「自分・家庭の事情（結婚・出産・転勤等）」、障害児・者（通所系）は「労働環境に不満（労働時間・休憩時間・夜勤・有給休暇等）」、児童（保育所以外）は、「上司・同僚との人間関係」の割合が最も高い。

<福祉施設・事業所別集計図表>

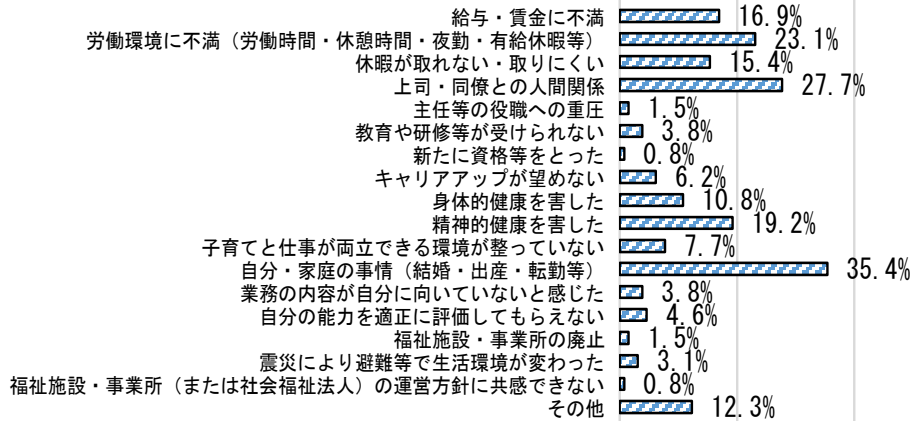


0.0% 20.0% 40.0% 60.0% 80.0%

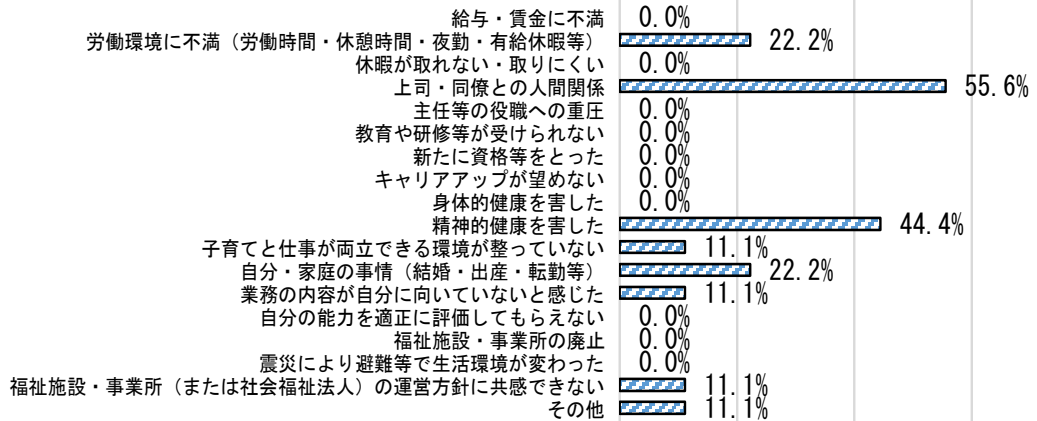
障害児・者
(通所系)



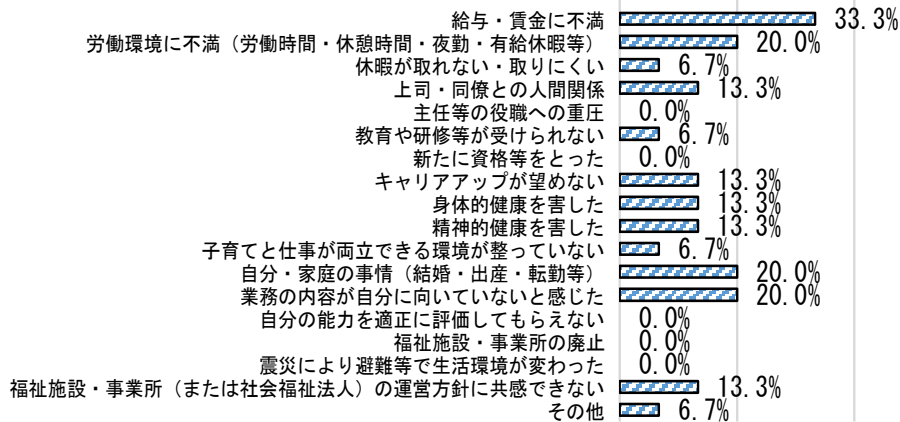
児童 (保育所・
認定こども園)



児童
(保育所以外)



その他



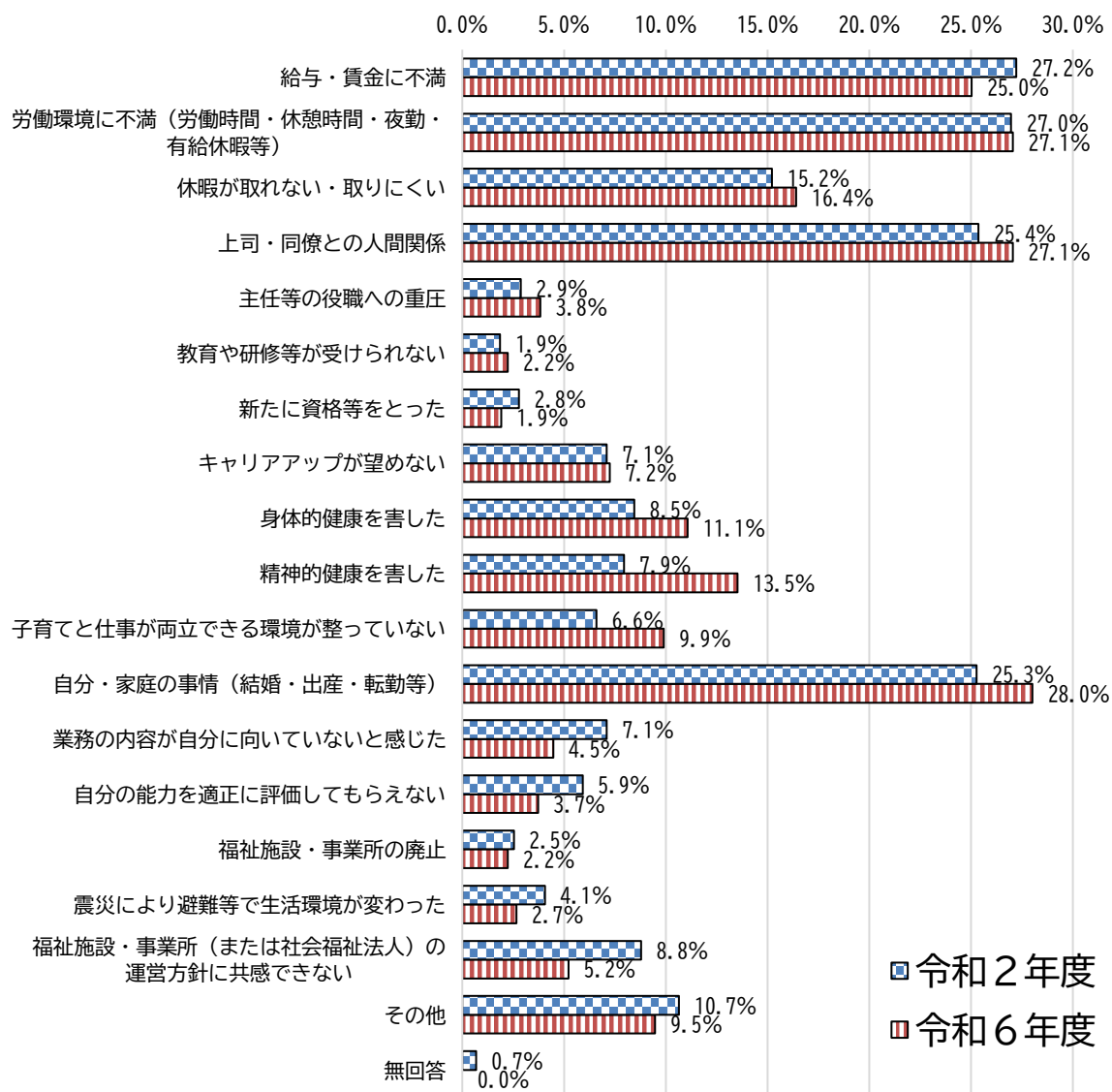
(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	給与・賃金 に不満	労働環境に不 満(労働時 間・休憩時 間・夜勤・有 給休暇等)	休暇が取れ ない・取り にくい	上司・同僚 との人間関 係	主任等の役 職への重圧	教育や研修 等を受けら れない	新たに資格 等をとった	キャリア アップが望 めない	身体的健康 を書した
全体	939 100.0%	235 25.0%	254 27.1%	154 16.4%	254 27.1%	36 3.8%	21 2.2%	18 1.9%	68 7.2%	104 11.1%
高齢者 (入所系)	253 100.0%	89 35.2%	71 28.1%	34 13.4%	84 33.2%	11 4.3%	5 2.0%	8 3.2%	22 8.7%	22 8.7%
高齢者 (通所系)	232 100.0%	50 21.6%	62 26.7%	43 18.5%	58 25.0%	9 3.9%	3 1.3%	4 1.7%	14 6.0%	32 13.8%
訪問介護	91 100.0%	20 22.0%	21 23.1%	13 14.3%	18 19.8%	5 5.5%	2 2.2%	2 2.2%	3 3.3%	11 12.1%
障害児・者 (入所系)	48 100.0%	19 39.6%	14 29.2%	6 12.5%	9 18.8%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	6 12.5%	8 16.7%
障害児・者 (通所系)	161 100.0%	30 18.6%	51 31.7%	37 23.0%	42 26.1%	9 5.6%	5 3.1%	3 1.9%	13 8.1%	15 9.3%
児童(保育所 ・認定こども園)	130 100.0%	22 16.9%	30 23.1%	20 15.4%	36 27.7%	2 1.5%	5 3.8%	1 0.8%	8 6.2%	14 10.8%
児童(保育所 以外)	9 100.0%	0 0.0%	2 22.2%	0 0.0%	5 55.6%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%
その他	15 100.0%	5 33.3%	3 20.0%	1 6.7%	2 13.3%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%	2 13.3%	2 13.3%

(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	精神的健康 を書した	子育てと仕 事が両立で きる環境が 整っていない	自分・家庭 の事情(結 婚・出産・ 転勤等)	業務の内容 が自分に向 いていない と感じた	自分の能力 を適正に評 価してもら えない	福祉施設・ 事業所の廃 止	震災により 避難等で生 活環境が変 わった	福祉施設・事 業所(または 社会福祉法 人)の運営方 針に共感でき ない	その他
全体	939 100.0%	127 13.5%	93 9.9%	263 28.0%	42 4.5%	35 3.7%	21 2.2%	25 2.7%	49 5.2%	89 9.5%
高齢者 (入所系)	253 100.0%	32 12.6%	21 8.3%	55 21.7%	14 5.5%	10 4.0%	3 1.2%	5 2.0%	19 7.5%	27 10.7%
高齢者 (通所系)	232 100.0%	33 14.2%	28 12.1%	71 30.6%	10 4.3%	8 3.4%	9 3.9%	6 2.6%	8 3.4%	17 7.3%
訪問介護	91 100.0%	8 8.8%	11 12.1%	27 29.7%	1 1.1%	2 2.2%	3 3.3%	4 4.4%	4 4.4%	10 11.0%
障害児・者 (入所系)	48 100.0%	5 10.4%	6 12.5%	14 29.2%	1 2.1%	1 2.1%	2 4.2%	2 4.2%	2 4.2%	4 8.3%
障害児・者 (通所系)	161 100.0%	18 11.2%	15 9.3%	45 28.0%	7 4.3%	8 5.0%	2 1.2%	4 2.5%	12 7.5%	13 8.1%
児童(保育所 ・認定こども園)	130 100.0%	25 19.2%	10 7.7%	46 35.4%	5 3.8%	6 4.6%	2 1.5%	4 3.1%	1 0.8%	16 12.3%
児童(保育所 以外)	9 100.0%	4 44.4%	1 11.1%	2 22.2%	1 11.1%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 11.1%	1 11.1%
その他	15 100.0%	2 13.3%	1 6.7%	3 20.0%	3 20.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 13.3%	1 6.7%

◆ 令和2年度との比較

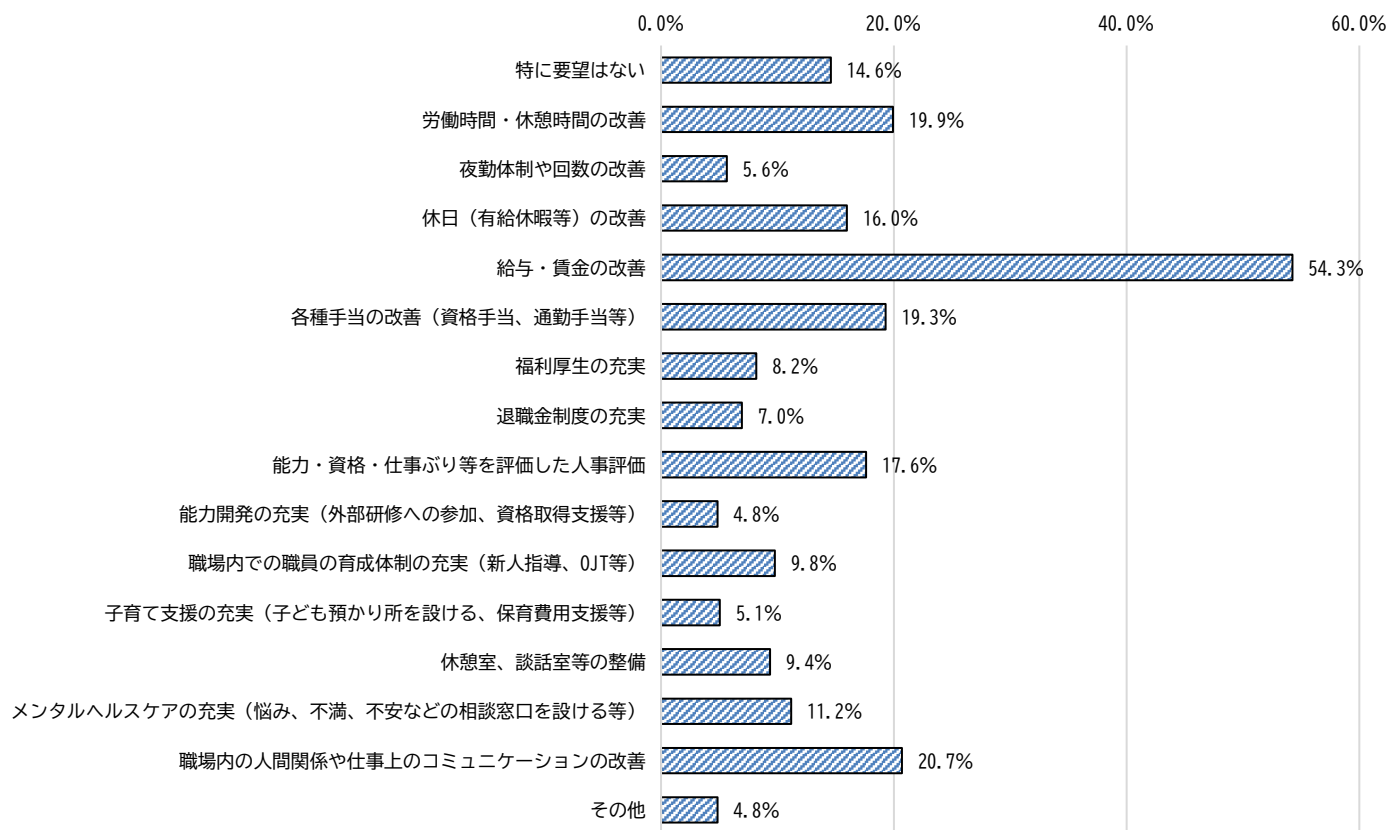


令和2年度の調査結果と比較して、「身体的健康を害した」が2.6ポイント、「精神的健康を害した」が5.6ポイント、「子育てと仕事が両立できる環境が整っていない」が3.3ポイント、「自分・家庭の事情 (結婚・出産・転勤等)」が2.7ポイント増加した。

問 17 現在勤務している福祉施設・事業所（または社会福祉法人）への要望

現在勤務している福祉施設・事業所（または社会福祉法人）への要望は、「給与・賃金の改善」が54.3%で割合が最も高く、次いで「職場内の人間関係や仕事上のコミュニケーションの改善」（20.7%）、「労働時間・休憩時間の改善」（19.9%）、「各種手当の改善（資格手当、通勤手当等）」（19.3%）と続いている。

<単純集計図表>



(複数回答)

	回答数	構成比
特に要望はない	346	14.6%
労働時間・休憩時間の改善	473	19.9%
夜勤体制や回数の改善	134	5.6%
休日（有給休暇等）の改善	379	16.0%
給与・賃金の改善	1,287	54.3%
各種手当の改善（資格手当、通勤手当等）	458	19.3%
福利厚生 of 充実	194	8.2%
退職金制度の充実	165	7.0%
能力・資格・仕事ぶり等を評価した人事評価	418	17.6%
能力開発の充実（外部研修への参加、資格取得支援等）	115	4.8%
職場内での職員の育成体制の充実（新人指導、OJT等）	232	9.8%
子育て支援の充実（子ども預かり所を設ける、保育費用支援等）	120	5.1%
休憩室、談話室等の整備	222	9.4%
メンタルヘルスキアの充実（悩み、不満、不安などの相談窓口を設ける等）	265	11.2%
職場内の人間関係や仕事上のコミュニケーションの改善	491	20.7%
その他	115	4.8%

年代別では、70代以上を除くすべての年代で「給与・賃金の改善」の割合が最も高い。70代以上は「特に要望はない」の割合が最も高い。

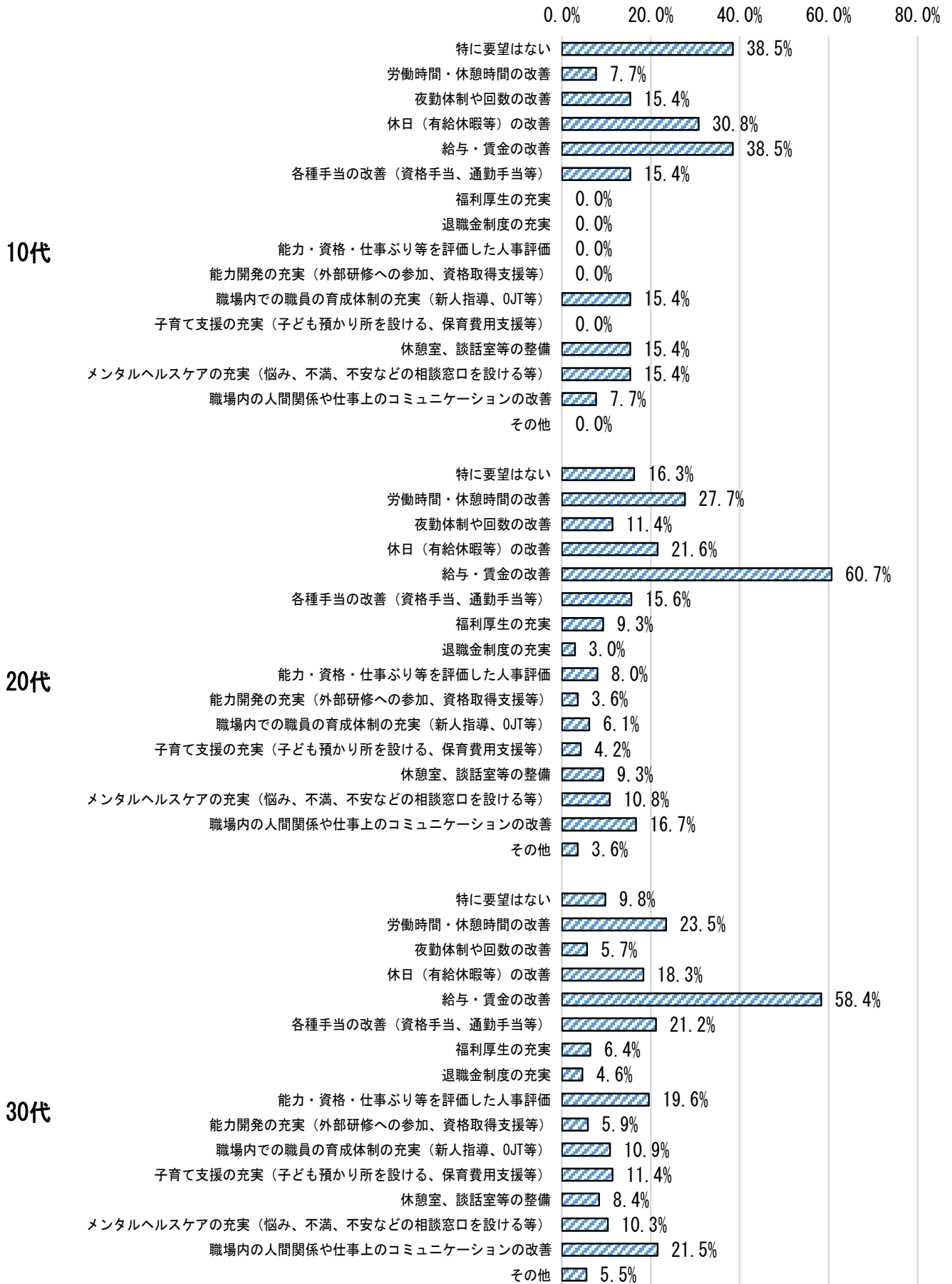
<年代別集計図表>

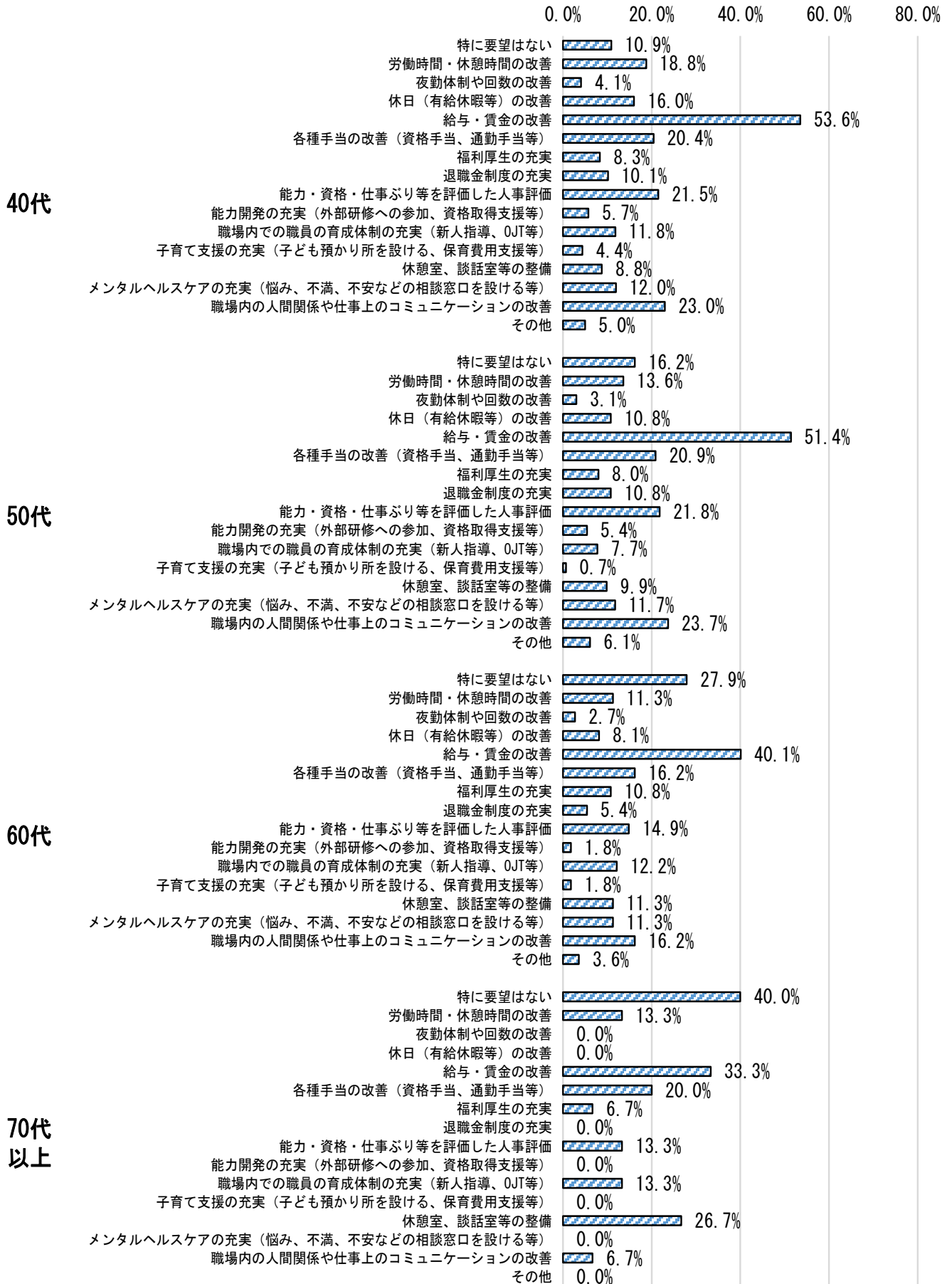
(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	特に要望はない	労働時間・ 休憩時間の 改善	夜勤体制や 回数の改善	休日（有給 休暇等）の 改善	給与・賃金 の改善	各種手当の 改善（資格 手当、通勤 手当等）	福利厚生 の充実	退職金制度 の充実
全体	2,372 100.0%	346 14.6%	473 19.9%	134 5.6%	379 16.0%	1,287 54.3%	458 19.3%	194 8.2%	165 7.0%
10代	13 100.0%	5 38.5%	1 7.7%	2 15.4%	4 30.8%	5 38.5%	2 15.4%	0 0.0%	0 0.0%
20代	473 100.0%	77 16.3%	131 27.7%	54 11.4%	102 21.6%	287 60.7%	74 15.6%	44 9.3%	14 3.0%
30代	562 100.0%	55 9.8%	132 23.5%	32 5.7%	103 18.3%	328 58.4%	119 21.2%	36 6.4%	26 4.6%
40代	661 100.0%	72 10.9%	124 18.8%	27 4.1%	106 16.0%	354 53.6%	135 20.4%	55 8.3%	67 10.1%
50代	426 100.0%	69 16.2%	58 13.6%	13 3.1%	46 10.8%	219 51.4%	89 20.9%	34 8.0%	46 10.8%
60代	222 100.0%	62 27.9%	25 11.3%	6 2.7%	18 8.1%	89 40.1%	36 16.2%	24 10.8%	12 5.4%
70代以上	15 100.0%	6 40.0%	2 13.3%	0 0.0%	0 0.0%	5 33.3%	3 20.0%	1 6.7%	0 0.0%

(複数回答)

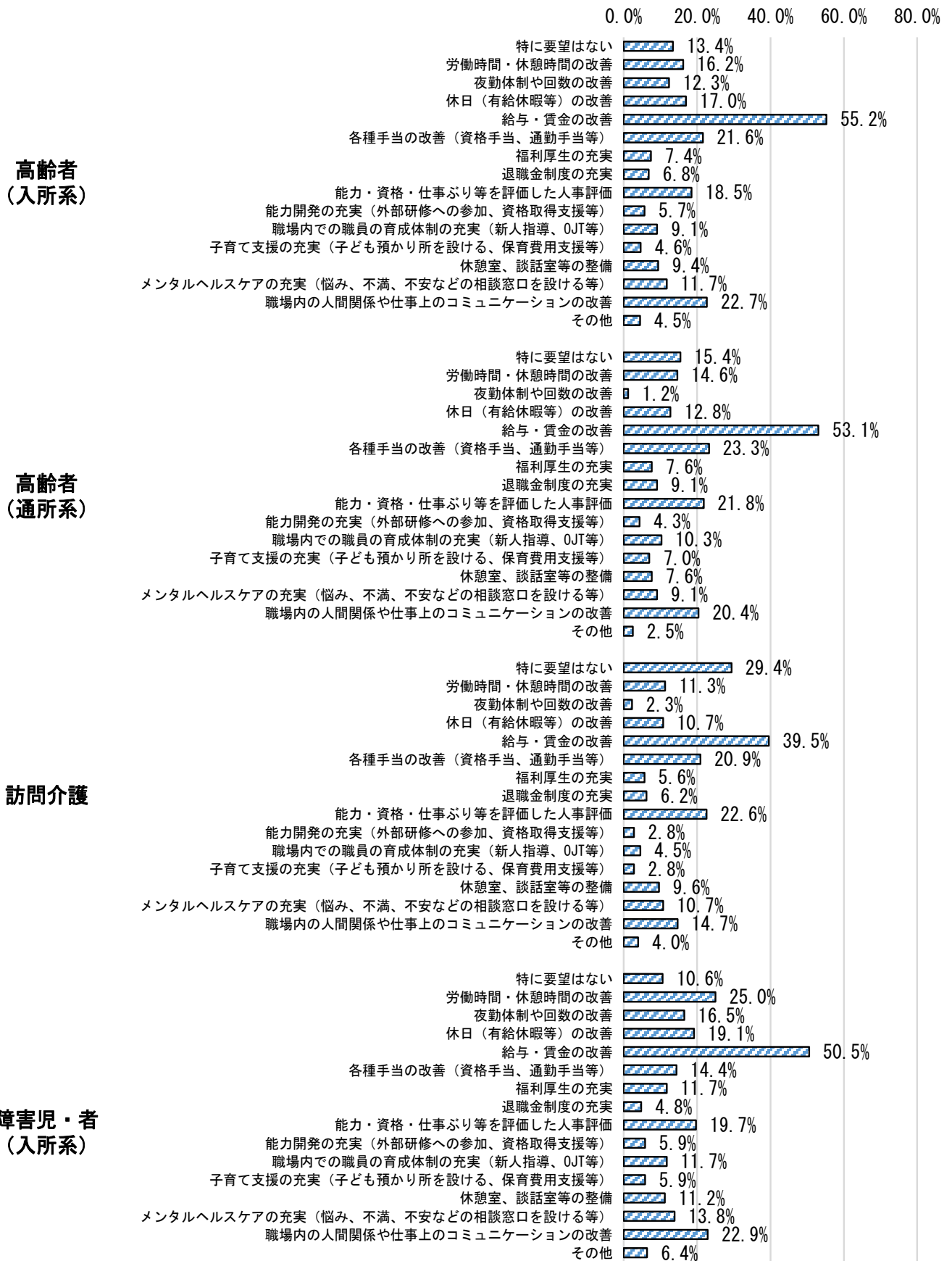
上段：回答数 下段：構成比	合計	能力・資 格・仕事ぶ り等を評価 した人事評 価	能力開発 の充実（外部 研修への参 加、資格取 得支援等）	職場内での 職員の育成 体制の充実 （新人指 導、OJT等）	子育て支援 の充実（子 ども預かり 所を設ける 、保育費 用支援等）	休憩室、談 話室等の整 備	メンタルヘル スケアの充 実（悩み、不 満、不安な どの相談窓 口を設ける 等）	職場内の人 間関係や仕 事上のコミ ュニケーシ ョンの改善	その他
全体	2,372 100.0%	418 17.6%	115 4.8%	232 9.8%	120 5.1%	222 9.4%	265 11.2%	491 20.7%	115 4.8%
10代	13 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 15.4%	0 0.0%	2 15.4%	2 15.4%	1 7.7%	0 0.0%
20代	473 100.0%	38 8.0%	17 3.6%	29 6.1%	20 4.2%	44 9.3%	51 10.8%	79 16.7%	17 3.6%
30代	562 100.0%	110 19.6%	33 5.9%	61 10.9%	64 11.4%	47 8.4%	58 10.3%	121 21.5%	31 5.5%
40代	661 100.0%	142 21.5%	38 5.7%	78 11.8%	29 4.4%	58 8.8%	79 12.0%	152 23.0%	33 5.0%
50代	426 100.0%	93 21.8%	23 5.4%	33 7.7%	3 0.7%	42 9.9%	50 11.7%	101 23.7%	26 6.1%
60代	222 100.0%	33 14.9%	4 1.8%	27 12.2%	4 1.8%	25 11.3%	25 11.3%	36 16.2%	8 3.6%
70代以上	15 100.0%	2 13.3%	0 0.0%	2 13.3%	0 0.0%	4 26.7%	0 0.0%	1 6.7%	0 0.0%

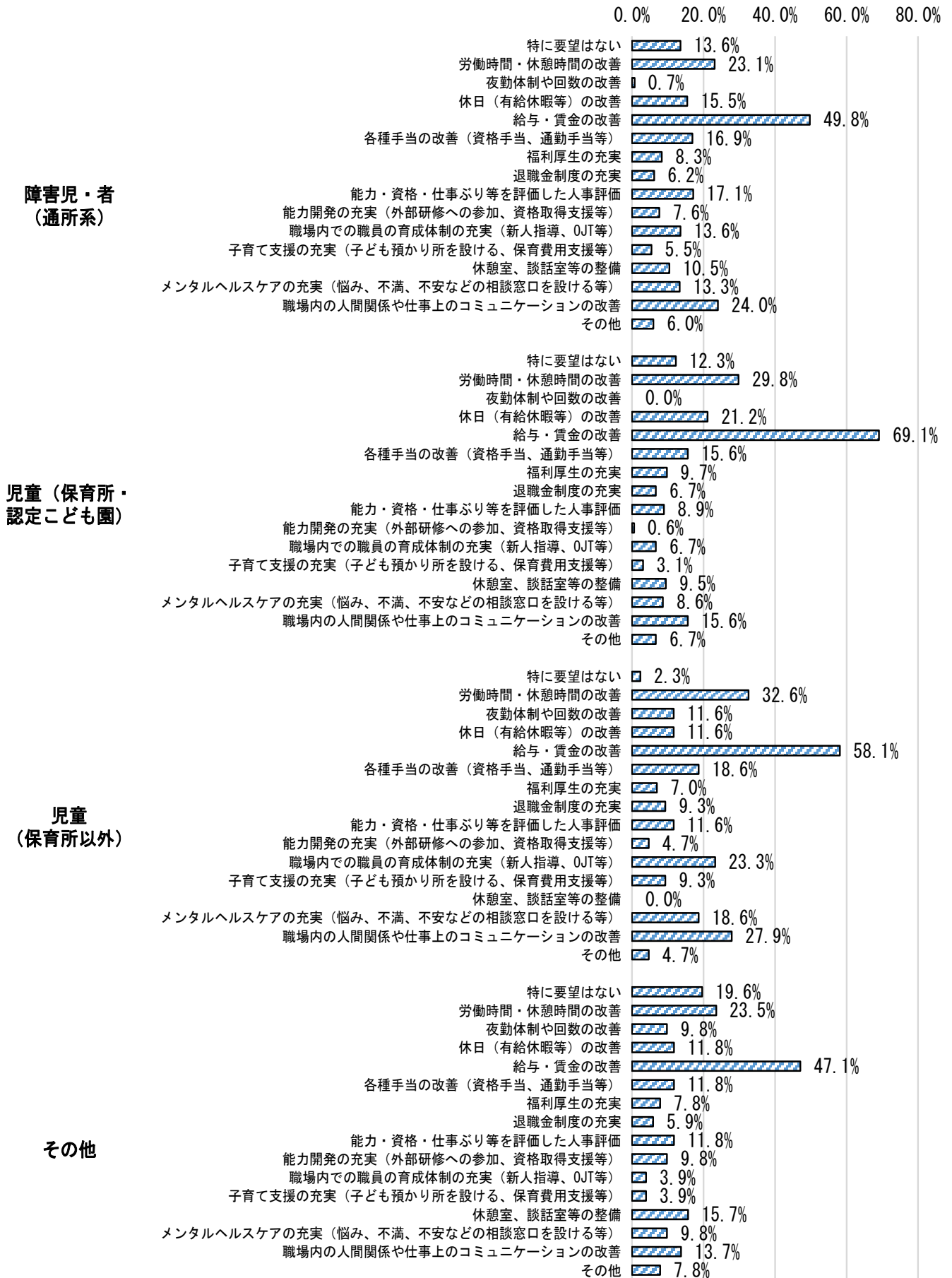




福祉施設・事業所別では、すべての福祉施設・事業所で「給与・賃金の改善」の割合が最も高い。

<福祉施設・事業所別集計図表>





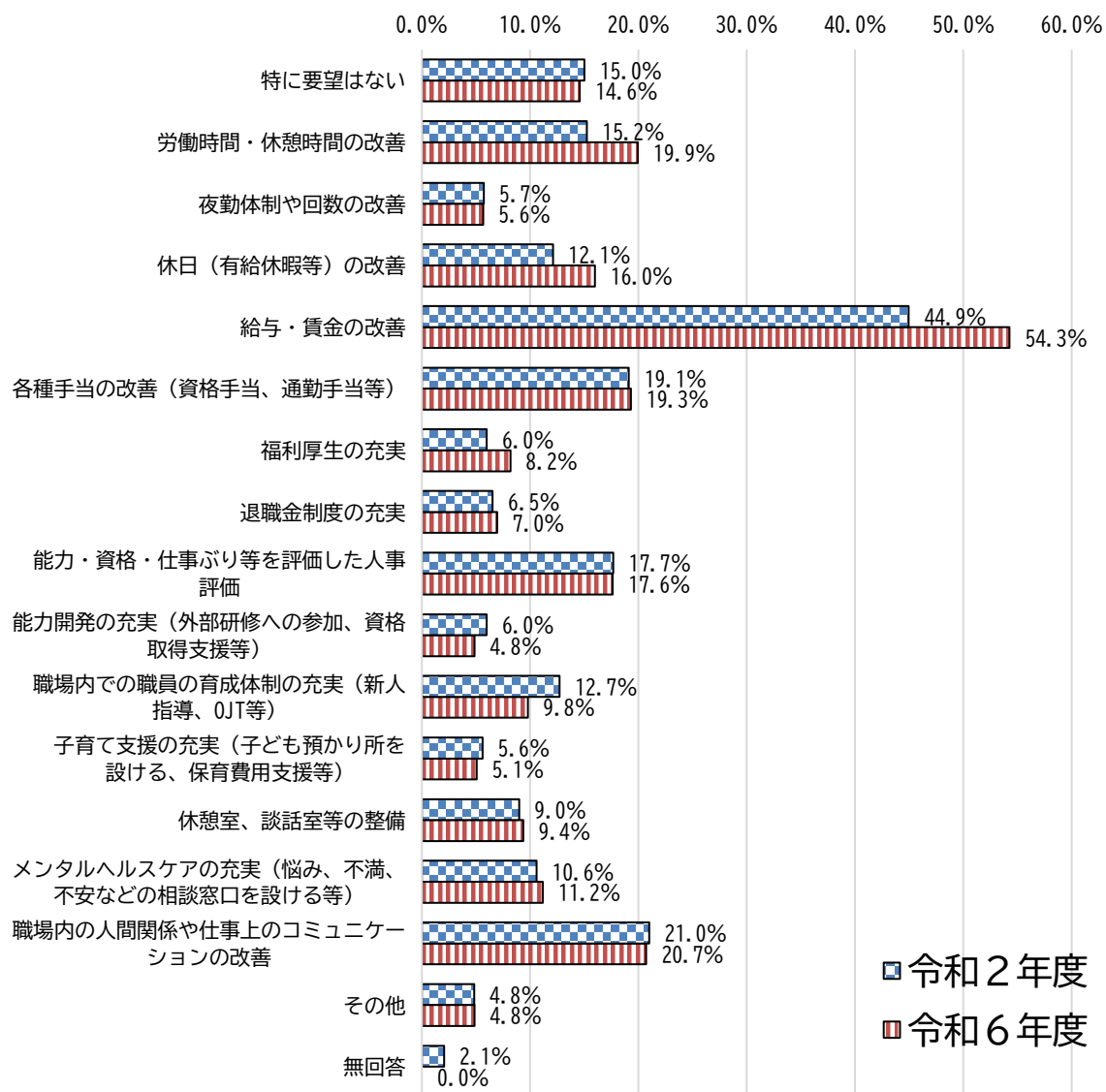
(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	特に要望はない	労働時間・ 休憩時間の 改善	夜勤体制や 回数の改善	休日（有給 休暇等）の 改善	給与・賃金 の改善	各種手当の 改善（資格 手当、通勤 手当等）	福利厚生 の充実	退職金制度 の充実
全体	2,372 100.0%	346 14.6%	473 19.9%	134 5.6%	379 16.0%	1,287 54.3%	458 19.3%	194 8.2%	165 7.0%
高齢者 （入所系）	648 100.0%	87 13.4%	105 16.2%	80 12.3%	110 17.0%	358 55.2%	140 21.6%	48 7.4%	44 6.8%
高齢者 （通所系）	486 100.0%	75 15.4%	71 14.6%	6 1.2%	62 12.8%	258 53.1%	113 23.3%	37 7.6%	44 9.1%
訪問介護	177 100.0%	52 29.4%	20 11.3%	4 2.3%	19 10.7%	70 39.5%	37 20.9%	10 5.6%	11 6.2%
障害児・者 （入所系）	188 100.0%	20 10.6%	47 25.0%	31 16.5%	36 19.1%	95 50.5%	27 14.4%	22 11.7%	9 4.8%
障害児・者 （通所系）	420 100.0%	57 13.6%	97 23.1%	3 0.7%	65 15.5%	209 49.8%	71 16.9%	35 8.3%	26 6.2%
児童（保育所 ・認定こども園）	359 100.0%	44 12.3%	107 29.8%	0 0.0%	76 21.2%	248 69.1%	56 15.6%	35 9.7%	24 6.7%
児童（保育所 以外）	43 100.0%	1 2.3%	14 32.6%	5 11.6%	5 11.6%	25 58.1%	8 18.6%	3 7.0%	4 9.3%
その他	51 100.0%	10 19.6%	12 23.5%	5 9.8%	6 11.8%	24 47.1%	6 11.8%	4 7.8%	3 5.9%

(複数回答)

上段：回答数 下段：構成比	合計	能力・資 格・仕事ぶ り等を評価 した人事評 価	能力開発の 充実（外部 研修への参 加、資格取 得支援等）	職場内での 職員の育成 体制の充実 （新人指 導、OJT等）	子育て支援 の充実（子 ども預かり 所を設ける 、保育費 用支援等）	休憩室、談 話室等の整 備	メンタルヘル スクアの充実 （悩み、不 満、不安な ど相談窓口 を設ける等）	職場内の人間 関係や仕事 上のコミュニ ケーションの 改善	その他
全体	2,372 100.0%	418 17.6%	115 4.8%	232 9.8%	120 5.1%	222 9.4%	265 11.2%	491 20.7%	115 4.8%
高齢者 （入所系）	648 100.0%	120 18.5%	37 5.7%	59 9.1%	30 4.6%	61 9.4%	76 11.7%	147 22.7%	29 4.5%
高齢者 （通所系）	486 100.0%	106 21.8%	21 4.3%	50 10.3%	34 7.0%	37 7.6%	44 9.1%	99 20.4%	12 2.5%
訪問介護	177 100.0%	40 22.6%	5 2.8%	8 4.5%	5 2.8%	17 9.6%	19 10.7%	26 14.7%	7 4.0%
障害児・者 （入所系）	188 100.0%	37 19.7%	11 5.9%	22 11.7%	11 5.9%	21 11.2%	26 13.8%	43 22.9%	12 6.4%
障害児・者 （通所系）	420 100.0%	72 17.1%	32 7.6%	57 13.6%	23 5.5%	44 10.5%	56 13.3%	101 24.0%	25 6.0%
児童（保育所 ・認定こども園）	359 100.0%	32 8.9%	2 0.6%	24 6.7%	11 3.1%	34 9.5%	31 8.6%	56 15.6%	24 6.7%
児童（保育所 以外）	43 100.0%	5 11.6%	2 4.7%	10 23.3%	4 9.3%	0 0.0%	8 18.6%	12 27.9%	2 4.7%
その他	51 100.0%	6 11.8%	5 9.8%	2 3.9%	2 3.9%	8 15.7%	5 9.8%	7 13.7%	4 7.8%

◆ 令和2年度との比較



令和2年度の調査結果と比較して、「労働時間・休憩時間の改善」が4.7ポイント、「休日（有給休暇等）の改善」が3.9ポイント、「給与・賃金の改善」が9.4ポイント増加した。

令和6年度 「福祉施設・事業所職員就労意識調査」 調査票

福祉施設・事業所の職員の方へ

調査について

- この調査は、福祉の職場においてサービスを提供する人材の確保が緊急の課題となっている状況をふまえ、県内の福祉施設・事業所で働く職員の就労に関する考え方や意見・意向、仕事の魅力、就業継続の要件等を把握し、今後の福祉人材の確保・育成・定着に関する対策に活用させていただくことを目的に実施するものです。
- この調査は、社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センターが福島県の委託を受けて実施するものです。
- 調査の対象は、県内の社会福祉法人が運営する福祉施設・事業所に勤務し、日常的に利用者の支援に直接あたっている職員の方とさせていただきます。
※「派遣職員」を除く「正規職員」と「非正規職員」。
- 回答は無記名であり、個人が特定されることはありません。
- 回答は、下記アドレスもしくは二次元バーコードから Google フォームにアクセスし、令和6年11月16日(土)までにご回答ください。

<https://forms.gle/RnD9tpYVvk5kU3g2x5>



- ご多忙の折とは存じますが、調査の趣旨をご理解いただき、調査票の回答へご協力くださいますよう、よろしくお願いいたします。

社会福祉法人福島県社会福祉協議会 福島県福祉人材センター

-----以下、調査内容（Google フォーム内に入力してください）-----

問1 性別 男・女・その他

問2 年代 10代・20代・30代・40代・50代・60代・70代以上 (R6.11.1現在)

問3 現在勤務している福祉施設・事業所の種別は何ですか。(選択は1つ。兼務している場合は主たる業務)

- | | | |
|--------------|--------------|------------------|
| 1 高齢者（入所系） | 2 高齢者（通所系） | 3 訪問介護 |
| 4 障害児・者（入所系） | 5 障害児・者（通所系） | 6 児童（保育所・認定こども園） |
| 7 児童（保育所以外） | 8 その他（ | ） |

問4 現在勤務している福祉施設・事業所の所在地域はどこですか。(選択は1つ)

- | | | | |
|-------|------|-------|------|
| 1 県北 | 2 県中 | 3 県南 | 4 会津 |
| 5 南会津 | 6 相双 | 7 いわき | |

問5 現在の雇用形態は何ですか。(選択は1つ)

※非正規職員の常勤とは正規職員と同様フルタイム勤務、非常勤とはパート、アルバイトなど

- | | | |
|--------|-------------|--------------|
| 1 正規職員 | 2 非正規職員（常勤） | 3 非正規職員（非常勤） |
|--------|-------------|--------------|

問6 現在の職種は何ですか。(選択は1つ。兼務している場合は主たる業務)

- | | | |
|----------------|---------|--------------|
| 1 介護職 | 2 訪問介護員 | 3 保育士・児童指導員等 |
| 4 相談員・支援員・指導員等 | 5 看護職 | 6 その他（ |

問7 残業時間は、毎月の平均で何時間ぐらいありますか。(選択は1つ)

- | | | |
|-------------|-------------|-------------|
| 1 0～10時間未満 | 2 10～20時間未満 | 3 20～30時間未満 |
| 4 30～40時間未満 | 5 40時間以上 | |

問8 有給休暇（代休以外）は取りやすいですか。(選択は1つ)

- | | | |
|---------|--------------|------------|
| 1 取れている | 2 取ろうとすれば取れる | 3 取ることが難しい |
|---------|--------------|------------|

問9 福祉分野での業務経験年数はどれくらいですか。(選択は1つ)

(現在の勤務先以外も合わせる、R6.11.1現在)

- | | | | |
|--------|---------------|---------------|---------|
| 1 5年未満 | 2 5年以上から10年未満 | 3 10年以上～15年未満 | 4 15年以上 |
|--------|---------------|---------------|---------|

問10 あなたが福祉の仕事を目指そうと思った時期はいつ頃ですか。(選択は1つ)

- | | | | |
|-------------|--------|--------|--------------|
| 1 小学校 | 2 中学校 | 3 高等学校 | 4 専門学校・短大・大学 |
| 5 福祉系以外に就職後 | 6 その他（ | ） | |

問11 あなたが福祉の職場に就職した理由は何ですか。(選択は3つまで)

- | | |
|-----------------------|------------------------|
| 1 人とかかわる仕事をしたかったから | 2 福祉全般に興味があったから |
| 3 福祉に関する資格が取りたかったから | 4 身近に障がいを持つ方や高齢者等がいたから |
| 5 身近に福祉の仕事をしている人がいたから | 6 福祉施設等でボランティア経験があったから |
| 7 学校の先生に勧められたから | 8 家族に勧められたから |
| 9 これから発展する分野だと思ったから | 10 その他 () |

問12 現在勤務している福祉施設・事業所でやりがいを感じることは何ですか。(選択は2つまで)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 1 専門性が発揮できる | 2 利用者の援助・支援や生活改善に繋がる |
| 3 利用者やその家族に感謝される | 4 組織・チームに貢献できる |
| 5 自分が成長している実感がある | 6 その他 () |

問13 福祉の仕事をする上で、能力・適性として必要と思われることは何ですか。(選択は2つまで)

- | | | |
|------------------|---------------|------------|
| 1 介護福祉士・看護師などの資格 | 2 業務経験 | 3 礼儀等の一般常識 |
| 4 やる気・向上心等の意欲 | 5 コミュニケーション能力 | 6 健康管理・体力 |
| 7 その他 () | | |

問14 福祉の仕事の良い点と思われることは何ですか。(選択は3つまで)

- | | | |
|-----------------|------------------------|----------------|
| 1 生きがい・社会参加となる | 2 資格・技能が活かせる | 3 やりがいのある仕事である |
| 4 知識・技能を身につけられる | 5 これからの時代に必要な仕事である | |
| 6 人や社会に役立つ仕事である | 7 自分や家族の都合のよい時間(日)に働ける | |
| 8 家計を維持できる | 9 労働条件(給与・福利厚生等)が良い | |
| 10 特にない | 11 その他 () | |

問15 現在勤務している福祉施設・事業所(または社会福祉法人)で働き続けたいですか。(選択は1つ)

- | | |
|-------------------------------|------------------------------|
| 1 ずっと働き続けたい(問15-1にも回答) | 2 1,2年での転職を検討している(問15-2にも回答) |
| 3 すぐではないが転職を検討している(問15-2にも回答) | 4 わからない |

問15-1 問15で「1」を選んだ方のみお答えください。働き続けたい理由は何ですか。(選択は3つまで)

- | | | |
|------------------------------------|-----------------|--------------------|
| 1 生計維持のため | 2 やりがいがあるから | 3 人間関係(上司、同僚)がよいから |
| 4 他に仕事がないから | 5 給与・賃金がよいから | 6 子育てと仕事が両立できるから |
| 7 労働条件(労働時間・残業・夜勤等)がよいから | 8 キャリアアップが望めるから | |
| 9 福祉施設・事業所(または社会福祉法人)の運営方針に共感できるから | | |
| 10 自分の能力を適正に評価してもらえるから | 11 その他 () | |

問15-2 問15で「2」または「3」を選んだ方のみお答えください。

転職先としてお考えの分野は何ですか。(選択は1つ)

- | | |
|---------------------|---------------------|
| 1 同じ分野(福祉関係)での転職を検討 | 2 他分野(一般企業等)への転職を検討 |
|---------------------|---------------------|

**令和6年度
福祉施設・事業所職員就労意識調査
報告書**

発行: 令和7年3月

発行者: 社会福祉法人福島県社会福祉協議会

福島県福祉人材センター

〒960-8141 福島市渡利字七社宮111

(福島県総合社会福祉センター内)

電話 024-521-5662 Fax 024-521-5663

<https://f-fjc.com>



E-mail: jinzai@fukushimakenshakyo.or.jp

集計・印刷: タカラ印刷株式会社

〒960-8141 福島市渡利字絵馬平86-9

電話 024-526-4303 Fax 024-526-4302